

横須賀美術館

年報

ANNUAL
REPORT

YOKOSUKA
MUSEUM OF ART

令和 5 年度版 [2023.4.1-2024.3.31]

目 次

1 事業

- 1-1 展覧会事業…………… 5
 - 1 企画展
 - 2 所蔵品展
 - 3 谷内六郎館
- 1-2 教育普及事業…………… 45
 - 1 展覧会関連の教育普及事業
 - 2 単独開催の教育普及事業
 - 3 学校との連携
 - 4 ボランティアの活動
 - 5 託児サービス
- 1-3 広報関連事業…………… 60

2 刊行物

- 2-1 出版物…………… 61
- 2-2 配布物…………… 62

3 調査・研究活動

- 3-1 論文等…………… 64

4 収集・管理

- 4-1 作品収集…………… 65
- 4-2 保存・修復…………… 98
 - 1 保存
 - 2 修復・額装
- 4-3 作品の貸出…………… 100

5 図書室

- 5-1 図書室…………… 101
 - 1 所蔵資料数
 - 2 利用統計

6 記録

- 6-1 組織…………… 102
 - 1 外部組織
 - 2 委員会の開催記録
 - 3 職員等
- 6-2 開館日数・観覧者数…………… 103
- 6-3 歳入・歳出…………… 103
 - 1 歳入
 - 2 歳出

7 資料

- 7-1 条例等…………… 104
 - 1 美術館条例
 - 2 美術館条例施行規則
 - 3 美術館運営評価委員会条例
 - 4 美術館美術品評価委員会条例

8 紀要

- 8-1 横須賀美術館の谷内六郎コレクション：
その成立と充実…………… 110
立浪佐和子

1 事業

1-1 展覧会事業

横須賀美術館令和5年度展覧会事業は、下記一覧のとおりである。

なお、P.6以降に各展覧会の概要を掲載する。

1-1-1 企画展 (P.6)、1-1-2 所蔵品展 (P.18)、1-1-3 谷内六郎館 (P.37)

*開催日数は休館日を除く。

1-1-1 企画展

名 称	会 期	開催日数	観覧者数 (人)	一日平均 (人/日)
没後40年 朝井閑右衛門展	2023年4月22日(土)～6月18日(日)	55	12,826	233.9
new born 荒井良二 いつもしらないところへ たびするきぶんだった	2023年7月1日(土)～9月3日(日)	63	35,117	557.4
日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ	2023年9月16日(土)～11月5日(日)	50	18,608	372.1
となりの国の絵本 躍動する韓国イラストレーションの世界	2023年11月18日(土)～12月24日(日)	36	8,997	249.9
第76回児童生徒造形作品展	2024年1月11日(木)～1月29日(月)	19	16,479	867.3
日本の巨大ロボット群像 —巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現—	2024年2月10日(土)～4月7日(日)	56	31,369	560.1

*観覧者数は企画展会期中の発券数

1-1-2 所蔵品展

名 称	会 期	開催日数	観覧者数 (人)	一日平均 (人/日)
第1期所蔵品展 特集：アートでつなぐ山と海：箱根・横須賀連携 企画第1弾 箱根ラリック美術館所蔵「明日への 祈り展 ラリックと戦禍の時代」 特集：令和4年度新収蔵品展	2023年4月8日(土)～7月2日(日)	84	13,643	162.4
第2期所蔵品展 特集：没後20年 若林奮	2023年7月8日(土)～10月1日(日)	84	30,524	363.4
第3期所蔵品展 特集：勝又豊子 不在の向こう—白い余白	2023年10月7日(土)～12月24日(日)	77	18,281	237.4
第4期所蔵品展 特集：YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 往古来今/見えない泉をさまよいさがす	2024年1月6日(土)～3月3日(日)	56	11,893	143.3

1-1-3 谷内六郎館

名 称	会 期	開催日数	観覧者数 (人)	一日平均 (人/日)
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 影のイメージーション	2023年4月8日(土)～7月2日(日)	84	10,274	122.3
荒井良二が選ぶ 谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉 展 毎週ぼくは谷内六郎に会っていた	2023年7月8日(土)～10月1日(日)	84	19,126	227.7
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 建物いろいろ	2023年10月7日(土)～12月24日(日)	77	12,342	160.3
谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 ずっとともだち	2024年1月6日(土)～3月31日(日)	83	16,894	203.5

没後40年 朝井閑右衛門展

会 期	2023年4月22日(土)～6月18日(日) 開催日数55日間(休館日を除く)	
休 館 日	5月8日(月)、5月24日(水)、6月5日(月)	
観 覧 料	一般1,300円／高大・65歳以上1,100円	
主 催	横須賀美術館	
助 成	芸術文化振興基金	
事業概要	朝井閑右衛門(あさい かんえもん、1901～1983)は、戦後間もなく横須賀市田浦にアトリエを構え、約20年この地に住みながら独創的な作品を描き続けた洋画家です。1936年に大作《丘の上》を文部省美術展覧会に出品し、文部大臣賞を受賞、一躍画壇の寵児となりました。しかし時代が戦争へと向かう中、中国へと赴き、諧謔味のある水墨画や風景画を手掛けます。戦後は、厚塗りのガラス台鉢や電線風景など彼の代名詞となる連作や、詩人たちの肖像、ドン・キホーテなど空想の物語に遊ぶ人物や華麗な薔薇を生み出します。本展は油彩、水墨画や素描の代表作に加え、朝井の知られざる収集品かつ作品世界をかたちづくる骨董、人形や、自筆の手帳、制作のための写真など約200点を紹介し、新たな魅力を検証します。	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	12,826	233.9
主な展覧会評等	工藤香澄「朝井閑右衛門回顧展」(上)(中)(下)(神奈川新聞、5月22日、5月29日、6月5日) 芳垣文子「朝井閑右衛門の世界 魅力満載の小冊子」(朝日新聞、6月2日) 村田真「レビュー 没後40年朝井閑右衛門展」(artscape、6/1日号) 「横須賀美術館 五感で朝井作品の世界観」(タウンニュース横須賀版、6/16日号)	
印刷物	図録	
	内容	Introduction ごあいさつ 工藤香澄「朝井閑右衛門の作品と旧蔵品」 1章 小田原時代、そして《丘の上》まで コラム 《丘の上》 2章 戦中・水墨画の仕事 3章 横須賀の朝井閑右衛門 コラム 朝井閑右衛門と新樹会 4章 詩人の肖像、文学の楽しみ コラム 描かれなかった肖像画 5章 空想世界の小妖たち 6章 由比ガ浜、アトリエの風景 コラム 朝井閑右衛門の古陶磁蒐集 富田康子「朝井閑右衛門の陶磁器収集—横須賀美術館所蔵の朝井旧蔵品調査から」 作品解説 朝井閑右衛門年譜 主要参考文献目録 出品リスト
	版型／ページ数	B5変形／176ページ ※解説イラストブック(A6／16ページ)付き
	価格(税込)	1,600円
	製作	編集：工藤香澄(横須賀美術館) 執筆：沓沢耕介、工藤香澄、富田康子(横須賀美術館) 翻訳：小川紀久子、Kate Beckwitt 印刷・製本：ニューカラー写真印刷株式会社 発行：横須賀美術館
	その他	
	ポスター	B2判 900枚／B1判 120枚／インターサイズ 830枚／A3判 550枚
	チラシ	A4判 40,000枚
	チケット	一般 15,000枚／高大生・65歳以上 10,000枚／無料 20,000枚
	DMハガキ	1,200枚
作品目録	2,000枚	
製作	ニューカラー写真印刷株式会社	

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



インターサイズポスター



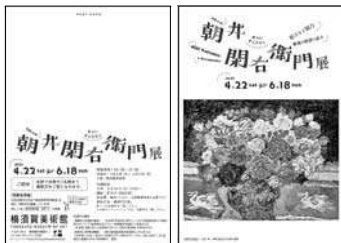
A4チラシ (表)



A3ポスター



A4チラシ (裏)



DMハガキ



チケット

会 期	2023年7月1日(土)～9月3日(日) 開催日数63日間(休館日を除く)	
休 館 日	7月3日(月)、8月7日(月)	
観 覧 料	一般1,300円／高大生・65歳以上1,100円	
主 催	横須賀美術館、朝日新聞社	
協 力	偕成社、積水ハウス株式会社、宮本武典	
巡 回 館	千葉市美術館(2023年10月4日～12月17日)、刈谷市美術館(2024年4月20日～6月15日)、アーツ前橋(2024年6月29日～8月25日)、いわき市立美術館(2024年9月7日～10月20日)	
事業概要	<p>2005年に児童文学のノーベル賞と称されるアストリッド・リンドグレン記念文学賞を日本人として初めて受賞し、「斬新、大胆、気まぐれ、全く独自の発光力を持つ画家」と世界的な評価を受けた荒井良二さん(1956-)は、絵本作家であり、同時に、イラストレーション、絵画、音楽、舞台美術と、幅広く活動を展開するアーティストです。</p> <p>絵本やイラスト、音楽など、様々なジャンルの壁を超越して飛び込んだ先の、ルールも分からない「知らないところ」で、それでも自分なりの仕事をする。</p> <p>こうした荒井さんの創作に向かう姿勢は、チャレンジングで、かつ困難や制約をも楽しむような、まさしく旅をする時の前向きな気持ちに溢れたものです。</p> <p>「new born いつも しらないところへ たびするきぶんだった」と題した本展では、旅をするような気分の日々あらたに作品を生み出してきた荒井さんの創作活動を、新作や過去作約300点を織り交ぜて紹介します。</p> <p>展覧会で出会うのは、大きな絵画や絵本原画、イラストレーション、そして新作となる立体作品や小さなガラクタたち。これらは、絵を描くのが好きという、荒井さんの創作の根底にある気持ちを物語っています。荒井さんは、これまでどんなところを旅して、次はどこへ出かけていくのか。ここからまた新しい荒井良二さんが誕生=new bornする展覧会を、一緒に体感しましょう。</p>	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	35,117	557.4
主な展覧会評等	<p>絵本作家と市民が物語をくみ出す 横須賀美術館(朝日新聞、6月25日)</p> <p>絵本作家・荒井良二さんを紹介 横須賀美術館で企画展(神奈川新聞、7月7日)</p>	
印刷物	図録	
	内容	<p>謝辞 ごあいさつ 開催会場・会期 目次 凡例</p> <p>new born 旅する名前のない家たちを ぼくたちは古いバケツをもって追いかけて 湧く水を汲み出す 会場写真(横須賀美術館) 宮本武典「Aの出山形記」</p> <p>作品 2023-2009</p> <p>荒井良二とわたし</p> <p>荒井リモ「父について」、いしいしんじ、江崎文武、小野明、クリス智子、古賀鈴鳴、小澤基弘、最果タビ、俵万智、寺尾紗穂、土井章史、中嶋朋子、野村誠、広松健児、前田エマ、森絵都</p> <p>作品 2009-1982</p> <p>インタビュー「旅のゆくえを巡りながら」</p> <p>掲載作品リスト 主要著作リスト</p>
	版型／ページ数	B5 / 392頁
	価格(税込)	4,200円
	製作	<p>編集：横須賀美術館、千葉市美術館、刈谷市美術館、朝日新聞社</p> <p>執筆：荒井良二、宮本武典</p> <p>インタビュー：松本育子(刈谷市美術館)、山根佳奈(千葉市美術館)、菅原良美(akaoni)</p> <p>構成・デザイン：小坂橋基希(akaoni)</p> <p>印刷・製本：光村印刷</p> <p>発行：朝日新聞社</p>
	その他	
	ポスター	B2判 900枚／B1判 130枚／A3判 500枚
	チラシ	A4判 100,000枚
	チケット	一般 30,000枚／高大生・65歳以上 10,000枚／無料 30,000枚
	DMハガキ	1,200枚
出品目録	5,000枚	
製作	株式会社気生堂印刷所	

展示風景



印刷物



B1ポスター



B2ポスター



A4チラシ (表)



A4チラシ (裏)



A3ポスター



DMハガキ



チケット

日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ

会 期	2023年9月16日(土)～11月5日(日) 開催日数50日間(休館日を除く)		
休 館 日	10月2日(月)		
観 覧 料	一般1,300円/高大生・65歳以上1,100円 ※11月3日(金・祝)は無料観覧日		
主 催	横須賀美術館		
後 援	デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館		
協 賛	一般財団法人シティサポートよこすか		
企画協力	株式会社ブレントラスト		
巡 回 館	郡山市立美術館(2024年1月30日～3月24日)、奥田元宋・小由女美術館(2024年4月27日～6月23日)		
事業概要	冬の長い北欧では、家の中での暮らしを大切にしてきました。本展では、デンマークとスウェーデンに焦点をあて、19世紀末から20世紀の陶磁器、銀器、ガラス器を中心に、北欧デザインの魅力を紹介します。デンマーク王立磁器製作所を起源とするロイヤル コペンハーゲンは、上質な磁器の生産で早くから国際的な評価を得、19世紀には技術とデザインの革新によって北欧アール・ヌーヴォーの先駆けとなりました。同時期に人気を競い合った窯にビング オー グレンダールがあり、そこで陶工としてキャリアをスタートしたジェンセンは、のちに銀製品で名高いジョージ・ジェンセンを創業しました。いっぽう、スウェーデンには北欧最古の陶窯とされるロールストランドがあり、品格ある製品を送り出しています。また同国のスモーランド地方では古くからガラス工芸が盛んであり、1950年代のオレフォスやコスタによる探究を経て、芸術品として高い評価を受けるようになりました。本展では、国内外の個人による稀少なヴァインテージ・コレクションからおよそ200点をあつめてご紹介します。北欧デザインの魅力をたっぷり味わえる展覧会です。		
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)	
	18,608	372.1	
主な展覧会評等	高橋川「陶磁器デザインの魅力堪能 「ロイヤルコペンハーゲンと北欧デザインの煌めき」展」(神奈川新聞、10月30日)		
印刷物	図録		
	内容	謝辞 ごあいさつ 目次 塩川博義「魅惑の北欧アール・ヌーヴォー装飾磁器」 マイケル・ホワイトウェイ「オレフォスとスウェーデンのアートガラス」 カタログ ロイヤル コペンハーゲン コラム アーノルド・クローとジャポニスム、ロイヤル コペンハーゲンとハマー スホイ兄弟、ロイヤル コペンハーゲンのライバルたち ビング オー グレンダール コラム 芸術監督 ビエトロ・クロン、万国博覧会と北欧デザイン、ストロ イエのビング オー グレンダール ジョージ ジェンセン コラム 黎明期のジョージ ジェンセン、黄金期を迎えたデンマーク・デザイン フィギュリン コラム 3匹の眠り猫 ロールストランド コラム 芸術監督 アルフ・ヴァランデル、ノーベル賞の晩餐会 オレフォス/コスタ コラム オレフォス、コスタと芸術家たち、スモーランドのガラス王国、ス ウェーデンのデザイン運動 バックスタンプ デンマーク王国、ス ウェーデン王国 年表 作品リスト	
		版型/ページ数	B5変形(257×184mm) / 192ページ
	価格(税込)	2,500円	
	製作	エッセイ執筆：塩川博義、マイケル・ホワイトウェイ 執筆：沓沢耕介(横須賀美術館)、佐藤秀彦(美術史家)、立花昭(岐阜県現代 陶芸美術館)、塚本敬介(郡山市立美術館)、富田康子(横須賀美術館)、 新田量子(郡山市立美術館) 翻訳：沓沢耕介、塚本敬介、新田量子 編集：株式会社ブレントラスト 編集協力(陶磁器)：立花昭 発行：「日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザイン の煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ」カタログ実行委員会	
		その他	
	ポスター	B2判 900枚 / B1判 80枚 / A3判 500枚	
	チラシ	A4判 50,000枚	
	チケット	一般 15,000枚 / 高大生・65歳以上 10,000枚 / 無料 22,000枚	
	DMハガキ	1,000枚	
作品目録	3,000枚		
製作	半七写真印刷工業株式会社		

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



A3ポスター



A4チラシ (表)



DMハガキ



A4チラシ (裏)



チケット

会 期	2023年11月18日(土)～ 2023年12月24日(日) 開催日数36日間(休館日を除く)	
休 館 日	12月4日(月)	
観 覧 料	一般1,300円／高大・65歳以上1,100円	
主 催	横須賀美術館	
後 援	駐日韓国大使館 韓国文化院	
企画協力	株式会社イデッフ	
協 力	申明浩	
助 成	公益財団法人 韓昌祐・哲文化財団	
事業概要	この展覧会は、現代韓国の絵本の世界を代表する9人の作家の作品約200点をご紹介します。KPOPやK文学など、日本でも、韓国の様々な現代文化が支持を集めていますが、絵本も例外ではありません。韓国絵本は近年、国際的な絵本コンペの場で受賞を重ね、国境を超えて、ますますその存在感を強めています。特に2020年代に入ってから、国際アンデルセン賞画家賞を受賞したスージー・リー、ブラチスラバ世界絵本原画展 金のりんご賞を受賞したイ・ミョンエなど、多数の韓国人絵本作家が話題をさらいました。本展は、このような活況を呈する韓国絵本を日本で初めて、まとまった規模で紹介する展覧会です。上記の作家をはじめ、韓国絵本の躍進を支える9人の作家に焦点をあて、絵本原画とその制作過程のスケッチなど約200点を展示いたします。出品作家は、1990年代から絵本の世界で活躍し、日本でも親しまれているイ・ヨンギョン、ハン・ビョンホ、キム・ドンソン、キム・ジェホンから、前述のような現代の国際的な活躍を牽引する作家たち、また、その活躍が知られていながら日本では未翻訳のパク・チョルミン、ソ・ヒョン、イ・ギフンまで、韓国発の絵本の世界の最新の見取り図をご紹介します。	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	8,997	249.9
主な展覧会評等	「韓国の絵本作家の原画展 神奈川 横須賀」(NHK首都圏ニュース、11月19日) 「韓国絵本の最前線 初日に日韓音楽家が演奏」(タウンニュース、11月24日) 「チョアヘヨ!韓国の絵本」『月刊MOE』(12月号) 「郷愁、思索、不穏……。韓流絵本のいま」『芸術新潮』(1月号) 「作家の世界に触れて 韓国絵本テーマに企画展」(神奈川新聞、12月20日)	
印刷物	図録	
	内容	ごあいさつ 謝辞 目次 図版 ハン・ビョンホ／パク・チョルミン／イ・ヨンギョン／キム・ドンソン／キム・ジェホン／スージー・リー／ソ・ヒョン／イ・ギフン／イ・ミョンエ 資料編 申明浩「世界的な関心が集まる韓国絵本の歩みと魅力」 富田康子「日本における韓国絵本の受容」 富田康子編「韓国絵本翻訳・出版史年表」 日本で出版された朝鮮半島の民話等の絵本 日韓の作家と出版社のコラボレーション絵本 出品リスト
	版型／ページ数	A4変形(280×210mm) / 144ページ
	価格(税込)	2,640円
	製作	執筆：富田康子(横須賀美術館)、申明浩 編集：佐野恵津子、富田康子、日野原清水(横須賀美術館)、柴田勢津子(株式会社イデッフ) アートディレクター：柿木原政広(株式会社10) デザイナー：河村まゆみ(株式会社10)、今村まり子(株式会社10) 印刷：株式会社サンニチ印刷 発行：株式会社イデッフ
	その他	
	ポスター	B2判 900枚／B1判 80枚／A3判 460枚
	チラシ	A4判 40,000枚
	イベントチラシ	A4判 1,500枚
	チケット	一般 10,000枚／高大生・65歳以上 8,000枚／無料 15,000枚
DMハガキ	1,000枚	
製作	半七写真印刷工業株式会社	

展示風景



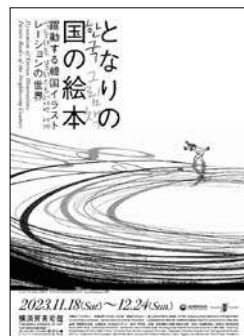
印刷物



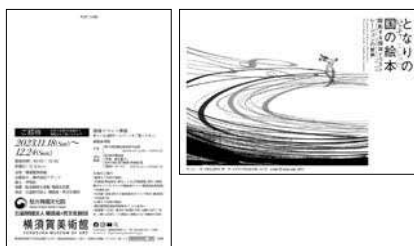
B1・B2ポスター



A3ポスター



A4チラシ (表)



DMハガキ



A4チラシ (裏)



チケット

第76回児童生徒造形作品展

会 期	2024年1月11日(木)～2024年1月29日(月) 開催日数19日間	
休 館 日	なし	
観 覧 料	無料	
主 催	横須賀市教育委員会・横須賀美術館・横須賀市造形教育研究会	
事業概要	<p>横須賀市では図工・美術教育において60数年にわたり小学校・中学校・高等学校と教育委員会が連携して、意欲的な表現や自分らしい工夫のできる子どもの育成を目指し、研究を深めてきました。毎年その成果の一部である日々の授業の中で制作された作品を「児童生徒造形作品展」として発表しています。市立幼・小・中・高・ろう・養護学校、73校園より選抜された平面作品（一部半立体）や立体作品、共同作品等約3,000点（平面：1,830点、立体：818点、計2,648点）を展示し、子ども達の夢あふれる作品を保護者の皆様をはじめ、市内外の多くの方々にご紹介します。学校と美術館の教育普及活動の連携をさらに深め、子どもたちへの造形教育・美術館教育を推進する展覧会です。（小学校の立体作品は委託題材から各校が選択し、研究成果を題材別に展示。平面作品は各学校園ごとに展示しました）</p>	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	16,479	867.3
印刷物	ポスター	B2判 450枚
	チラシ	A4判 36,000枚
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社

展示風景



印刷物



B2ポスター



A4チラシ (表)



A4チラシ (裏)

会 期	2024年2月10日(土)～4月7日(日) 開催日数56日間(休館日を除く)	
休 館 日	3月4日(月)、4月1日(月)	
観 覧 料	一般1,300円／高大生・65歳以上1,100円 ※2月18日(日)は無料観覧日	
主 催	横須賀美術館	
協 力	AIC、AICライツ、エイケン、エディット、KADOKAWA、キングレコード、クロスメディア、KOBE 鉄人PROJECT、シグナル・エムディ、スタジオぬえ、創通、ダイナミック企画、東映、東映アニメーション、東北新社、トムス・エンタテインメント、博報堂DYミュージック&ピクチャーズ、バンダイナムコフィルムワークス、光プロダクション、ビックウエスト、フライングドッグ、Production I.G、メディアウェーブ、ライツ・イン	
企 画	西日本新聞イベントサービス、ぴあ	
企画協力	廣田恵介、タルカス(五十嵐浩司)	
事業概要	『鉄人28号』(1963年)をロボットアニメの嚆矢として、その後『マジンガーZ』(1972年)の大ヒット、新風を吹き込んだ『機動戦士ガンダム』(1979年)の影響下、現在に至るまで多数のロボットアニメが制作され、魅力的なロボットがデザインされてきました。日本独自ともいえる進化と広がりを見せてきたそのデザインの変遷には、空想上の荒唐無稽なロボットという存在に、映像的な「リアリティ」を与えるために、デザインや設定上での創意工夫が凝らされ、多くのファンを魅了し続けてきました。本展では、近年までのロボットアニメ約45タイトルを取り上げ、原画や豊富な資料等約200点により、そのデザインと映像表現の歴史を、それらの「リアリティ」形成において重要な役割を果たした設定上の「メカニズム」と「大きさ」を軸に検証していきます。その上で「巨大ロボットとは何か?」を観覧者の皆さんとともに考えていきたいと思います。	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	31,369	560.1
主な展覧会評等	<p>「等身大ガンダム圧巻」(神奈川新聞、2月10日)</p> <p>「横須賀美術館 創造が技術の未来拓いた『日本の巨大ロボット群像』展」(タウンニュース横須賀、2月16日)</p> <p>「巨大ロボット」アニメ展示が横須賀美術館 4月7日まで」(星条旗新聞、2月16日)</p> <p>「宮武一貴さん熱筆の巨大絵画も初公開!!『日本の巨大ロボット群像』展、横須賀美術館で開催中!!(五十嵐浩司〈アニメーション研究者〉)」(電ホビ(カドカワ) webアフターレポート、2月20日)</p> <p>・「横須賀でアニメ展 巨大ロボット迫力体感 劇中と同じ高さ18メートル 床に平面図」(東京新聞TOKY web、2月22日)</p> <p>「ロボットアニメ歴史紹介 横須賀鉄人28号、ガンダム 模型や床に等身大の絵」(読売新聞オンライン、2月24日)</p> <p>「日本の巨大ロボット群像」展 横須賀美術館(上) 鉄人28号 後に影響与える「元祖」(神奈川新聞、2月26日)</p> <p>「日本の巨大ロボット群像」展 横須賀美術館(中) マジンガーZ “革命”もたらした「合体」(神奈川新聞、3月4日)</p> <p>(かながわ美の手帖)「『大きさ』を実体験 日本人の『ロマン』」(産経新聞、3月4日)</p> <p>「『日本の巨大ロボット群像』展 横須賀美術館(下) 機動戦士ガンダム 10代以上の視聴者に衝撃」(神奈川新聞、3月11日)</p> <p>「日本の巨大ロボット群像」レポート(インターネットミュージアム、3月13日)</p>	
印 刷 物	図録	
	内容	巨大ロボットを巨大に描く 宮武一貴 インタビュー 宮武一貴 謝辞 展覧会データ 主催者挨拶 目次／図録凡例 第1章 日本全国で“現実化”した巨大ロボットたち 第2章 巨大ロボットの元祖『鉄人28号』の変遷 第3章 搭乗、強化、合体、変形——70年代巨大ロボットの想像力 第4章 ロボットが現実に「いる」世界——『機動戦士ガンダム』 第5章 「大きさ」から巨大ロボットのリアリティを実感する 第6章 ロボットの「内部メカ」、1980年代以降の大発展 第7章 荒唐無稽なロボットたちの帰還——アニメ本来の楽しさとは? 最終章 巨大ロボットについて語る——60年の旅路の終わりに インタビュー 加藤直之／押井守／中島かずき／瓦重郎／岩坂照之／小侯貴之／オリー・バーダー エッセイ「日本の巨大ロボット群像展」、意義と構成について ロボットアニメ年表 出品リスト
	版型／ページ数	B5変型(260×183mm) / 208頁
	価格(税込)	3,630円
	製作	編集：タルカス 執筆・構成：五十嵐浩司 執筆：山口洋三、廣田恵介 谷崎あきら、島田康治、池田元気、井上雄史、赤尾将義、加納遵 印刷・製本：光村印刷 発行：ぴあ株式会社
	その他	
	ポスター	B2判 940枚／B1判 55枚／A3判 490枚／中吊り 2,500枚
	チラシ	A4判 48,000枚
	チケット	一般 20,000枚／高大生・65歳以上 10,000枚／無料 22,000枚
	DMハガキ	1,100枚
製作	半七写真印刷工業株式会社	

展示風景



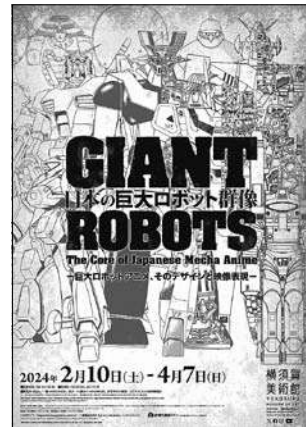
印刷物



B1ポスター



B1ポスター (満喫きっぷ)



B2ポスター



A3ポスター



A4チラシ (表)



A4チラシ (裏)



DMハガキ

チケット

1-1-2 所蔵品展の記録

展覧会名

令和5年度第1期所蔵品展

会 期	2023年4月8日(土)～7月2日(日) 開催日数84日間 (休館日を除く)	
休 館 日	5月8日(月)、6月5日(月)、7月3日(月)	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主 催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4 特集：アートでつなぐ山と海：箱根・横須賀連携企画第1弾 箱根ラリック美術館所蔵「明日への祈り展 ラリックと戦禍の時代」 展示室5 横須賀美術館の日本画コレクション1940's-1990's 展示室6・7 朝井閑右衛門室「古陶磁蒐集から見る朝井閑右衛門の交友関係」 北側展示ギャラリー、展示室8 特集：令和4年度新収蔵品展	
観覧者数	実績 (人)	一日平均 (人)
	13,643	162.4

展示風景



第1期所蔵品展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
1	矢崎千代二	秋の園	1900 (明治33) 年	油彩・画布	81.3×60.8
2	藤島武二	夢想	1904 (明治37) 年	油彩・画布	45.7×33.4
3	有島生馬	西洋婦人像	1909 (明治42) 年頃	油彩・画布	40.0×32.0
4	赤松麟作	水辺裸婦	不詳	油彩・画布	33.5×45.0
5	梅原龍三郎	モレー	1911 (明治44) 年	油彩・画布	60.5×73.7
6	藤田嗣治	ル・アープルの港	1917 (大正6) 年	油彩・画布	45.8×60.9

◆展示室4 特集:アートでつなぐ山と海:箱根・横須賀連携企画第1弾 箱根ラリック美術館所蔵「明日への祈り展 ラリックと戦禍の時代」

I. フランスが歩んだ苦難の歴史

7	ルネ・ラリック	脚付杯《パリ市》	1907-1912年	無色ガラス・型吹き、パチネ他	27.0×Φ17.3 (口径) ×Φ14.5 (底径)
8	ルネ・ラリック	灰皿《カラベル船》	1930年	無色ガラス・プレス、フロスト、パチネ他	6.0×Φ10.0 (底径)
9	ルネ・ラリック	コサージュ《アザミ》	1905-06年頃	金、色ガラス・エマイユ、アメシスト	5.7×14.3×1.3
10	ルネ・ラリック	チョーカー《アザミ》	1898-1901年頃	金・エマイユ、ダイヤモンド、ケシ真珠	5.5×30.5
11	ルネ・ラリック	デザイン画/チョーカーヘッド《アザミ》	1899-1900年頃	紙・鉛筆、インク、グアッシュ	11.8×14.6
12	ルネ・ラリック	デザイン画/ペンダント《アザミ》	不詳	紙・鉛筆、グアッシュ	15.0×12.5
13	ルネ・ラリック	飾り襟《アザミ》	1905-06年頃	革、ガラス・刺繍	41.0×43.5
14	ルネ・ラリック	花器《ドンレミー (別名「アザミ」)》	1926年	色ガラス・型吹き、パチネ	21.2×Φ18.3
15	ドーム兄弟	ランプ《楓文ランプ》	1906年	被せガラス・グラヴユール、エッチング他	全高: 49.0 シェード: Φ16.0 台座: Φ15.0 (底径)
16	ドーム兄弟	ランプ《テーブル・ランプ》	1904-14年頃	色ガラス他	39.0×27.5 シェード: Φ15.0 (最大径) 台座: 18.5×13.5
17	不詳	ポストカード 《ロレーヌの女性》	1914年頃	紙・インク	
18	不詳	ポストカード 《アルザスの女性》	1914年頃	紙・インク	
19	不詳	ポストカード 《アルザスの女性》	1914年頃	紙・インク	

II. 第一次世界大戦とラリック

20	ルネ・ラリック	鏡 (パリ市から英国王妃への贈答品)《バラ》	1913年	無色ガラス・プレス、パチネ	45.5×38.0×16.0
21	ルネ・ラリック	カーマスコット 《ウーダンの鶏》	1929年	無色ガラス・プレス他	全体: 27.3×12.5 本体: 18.5×Φ6.0 (底径) 台: 8.8
22	ルネ・ラリック	ガラス《エドワード (別名「小さな雄鶏の切り抜き」)》	1924年	無色ガラス・型吹き他	15.0×Φ7.0 (口径) ×Φ6.3 (底径)
23	ルネ・ラリック	ガラス《エドワード (別名「小さな雄鶏の切り抜き」)》	1924年	無色ガラス・型吹き他	15.0×Φ7.0 (口径) ×Φ6.4 (底径)
24	ルネ・ラリック	デザイン画/バックル 《二羽の雄鶏》	1898-1900年頃	紙・鉛筆、水彩、グアッシュ	28.0×21.9
25	ルネ・ラリック	デザイン画/表紙《エドモン・ロスタン著「シャントクレール」》	1909年	紙・鉛筆	23.7×16.4
26	ルネ・ラリック	花器《プレス》	1931年	彩色ガラス・型吹き他	10.5×Φ10.5
27	ルネ・ラリック	花器《ル・マン》	1931年	青色ガラス・型吹き他	10.4×Φ10.0
28	ルネ・ラリック	カーマスコット《雄鶏の頭》	1928年	色ガラス・プレス他	18.2×7.7×16.7
29	ルネ・ラリック	ブローチ《雄鶏》	1912年	色ガラス・プレス、金属	Φ3.8×1.3
30	ルネ・ラリック	ブローチ《雄鶏》	1897-98年	金・エマイユ、ダイヤモンド	5.5×5.2×2.4
31	ルネ・ラリック	メダル《戦争孤児の日》	1915年	金属・プレス、リボン	3.3×3.0
32	ルネ・ラリック	メダル《戦争孤児の日》	1915年	紙・インク、型押し、リボン	3.0×2.6
33	ルネ・ラリック	メダルの型《戦争孤児の日》	1915年	粘土	12.6×10.8×0.7

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
34	ルネ・ラリック	メダルの型《戦争孤児の日》	1915年	金属	12.8×11.3×0.7
35	アルフレッド・ロル	広告《戦争孤児の日》	1915年	紙・インク	21.3×25.9
36	不詳	ポストカード《戦争孤児の日》	1915年	紙・インク	13.8×9.0
37	不詳	ポストカード《戦争孤児の日》	1915年	紙・インク	13.8×8.9
38	不詳	ポストカード《フランスのジュルネ(「～の日)」の記念品》	1915年	紙・インク	9.0×13.8
39	不詳	フラッグピン《戦争孤児の日》	1915年	紙・インク、金属	旗:1.8×2.7 ピン:3.1
40	不詳	フラッグピン《戦争孤児の日》	1915年	紙・インク、金属	旗:2.0×2.0 ピン:4.0
41	不詳	フラッグピン《戦争孤児の日》	1915年	紙・インク、金属	旗:2.1×3.0 ピン:3.5
42	シャルル=リュシアン・レアンドル	ポスター《兵隊さんの日》	1915年	紙・インク	
43	ルネ・ラリック	ブローチ《兵隊さんの日》	1915年	ブロンズに金メッキ・プレス	3.5×3.5
44	ルネ・ラリック	ブローチ《兵隊さんの日》	1915年	ブロンズに金メッキ・プレス	3.5×3.5
45	ルネ・ラリック	タイピン《兵隊さんの日》	1915年	ブロンズに金メッキ・プレス	1.7×7.0
46	フランシスク・プールボ	ポストカード《兵隊さんの日》	1915年	紙・インク	13.8×9.0
47	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	ポストカード《兵隊さんの日》	1915年	紙・インク	13.8×9.0
48	ルシアン・ジョナス	ポストカード《兵隊さんの日》	1915年	紙・インク	13.8×9.0
49	シャルル=リュシアン・レアンドル	ポストカード《兵隊さんの日》	1915年	紙・インク	13.8×9.0
50	シャルル=リュシアン・レアンドル	ポストカード《兵隊さんの日》	1915年	紙・インク	13.8×9.0
51	不詳	バッジ《兵隊さんの日》	1915年	厚紙・インク、リボン	3.5×3.5
52	不詳	バッジ《兵隊さんの日》	1915年	厚紙・インク、リボン	3.5×3.5
53	不詳	バッジ《兵隊さんの日》	1915年	厚紙・インク、リボン	3.5×3.5
54	不詳	バッジ《兵隊さんの日》	1915年	厚紙・インク、リボン	3.8×3.8
55	不詳	フラッグピン《兵隊さんの日》	1915年	厚紙・インク、金属	3.0×2.5
56	ルネ・ラリック	ペンダント《全国結核患者の日》	1917年頃	真鍮・プレス	Φ3.1
57	ルネ・ラリック	ペンダント《全国結核患者の日》	1917年頃	真鍮・プレス、リボン	Φ3.1
58	ルネ・ラリック	ブローチ《全国結核患者の日》	1917年頃	ブロンズ・プレス、鋼	Φ2.8
59	ルネ・ラリック	ペンダント《全国結核患者の日》	1917年頃	真鍮に銀メッキ・プレス	Φ2.7
60	ルネ・ラリック	ペンダント《全国結核患者の日》	1917年頃	真鍮・プレス	Φ3.1
61	リュシアン・レヴィ=デュルメル	ポスター《全国結核患者の日》	複製(オリジナルは1917年)	紙・インク	20.3×30.4
62	アベル・フェーブル	ポスター《全国結核患者の日》	複製(オリジナルは1916年)	紙・インク	42.0×29.6
63	不詳	バッジ《全国結核患者の日》	1914-17年	厚紙・インク、リボン	4.6×4.4
64	不詳	バッジ《全国結核患者の日》	1914-17年	厚紙・インク、リボン	5.0×3.5
65	不詳	バッジ《全国結核患者の日》	1914-17年	厚紙・インク、リボン	5.4×3.2
66	不詳	バッジ《全国結核患者の日》	1914-17年	厚紙・インク、リボン	5.0×4.0
Ⅲ. ワクチン接種という予防法を開発 パスツールの功績					
67	ルネ・ラリック	メダル《パスツール》	1922年	無色ガラス・プレス、パチネ	Φ10.0 ケース:14.5×14.5
68	ル・リヴラン、アンリ・ドシー	週刊新聞『イリュストラシオン』《狂犬病ワクチン接種》	1885年11月7日付	紙・インク	
Ⅳ. 愛する家族を心の支えに 愛する家族を想って					
69	ルネ・ラリック	香水瓶《シダ》	1912年	無色ガラス・型吹き、パチネ他	9.4×6.9×3.1
70	ルネ・ラリック	香水瓶《クレールフォンテーヌ》	1931年	無色ガラス・型吹き他	全高:11.8 本体:5.4×Φ5.5 栓:7.5×9.8
71	ルネ・ラリック	蓋物《ジオルジェット》	1922年	オバルセントガラス・プレス他	4.0×Φ20.8
Ⅴ. 祈りをかたちに					
72	ルネ・ラリック	ペンダントヘッド《修道女が行進》	1900-02年頃	金、貝、ダイヤモンド、真珠	6.0×2.2
73	ルネ・ラリック	ヘアピン《二人の天使》	1902-03年頃	角、象牙、トパーズ、金	13.6×3.7×0.8
74	ルネ・ラリック	鉢《天使》	1930年	色ガラス・プレス	36.8×9.5

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
75	ルネ・ラリック	カーマスコット《聖クリストフ》	1928年	無色ガラス・プレス、部分的にフロスト	本体：10.6×Φ10.4 (最大径)
76	ルネ・ラリック	ランプ《キリスト》	1930年	無色ガラス・プレス、部分的にフロスト	高さ38.0
エピローグ					
77	ルネ・ラリック	ブローチ《二人の女性の半身像》	1898-1900年頃	象牙、金	5.1×4.2×3.3
78	中川紀元	カフェ	1920 (大正9) 年	油彩・画布	115.7×80.0
79	里見勝蔵	オーヴェルの雪	1924 (大正13) 年頃	油彩・画布	33.3×45.5
80	青山義雄	ドーヴィル海岸	1924 (大正13) 年	油彩・画布	32.0×41.0
81	海老原喜之助	海と船	1927 (昭和2) 年	油彩・画布	45.0×60.0
82	佐伯祐三	窓のある建物 (パリ風景)	1925 (大正14) 年	油彩・画布	65.2×80.3
83	原勝郎	パストゥール通り	1938 (昭和13) 年	油彩・画布	53.0×65.0
84	井上長三郎	王朝の森 (巴里)	1941 (昭和16) 年	油彩・画布	131.0×162.0
85	鬨光	グラジオラス	1942 (昭和17) 年頃	油彩・板	33.1×23.7
86	伊藤久三郎	花	1935 (昭和10) 年	油彩・画布	115.6×90.9
87	阿部金剛	風景	1933 (昭和8) 年	油彩・画布	46.0×38.0
88	飯田操朗	作品五	1936 (昭和11) 年	油彩・画布	45.5×53.2

◆展示室5 特集：横須賀美術館の日本画コレクション1940's-1990's

89	三上誠	戦災風物誌	1949 (昭和24) 年	グワッシュ・紙	60.3×84.5
90	三上誠	作品	1957 (昭和32) 年	麻紙着色	121.6×165.8
91	山本丘人	草上の秋	1949 (昭和24) 年	絹本着色	161.7×258.8
92	上野泰郎	押し流される民族	1964 (昭和39) 年	顔彩麻紙	162.0×227.1
93	小嶋悠司	群像	1972 (昭和47) 年	金箔、膠彩、デトランプ・麻紙	200.0×366.0
94	山中雪人	仏	1983 (昭和58) 年	紙本着色	169.0×214.0
95	水谷愛子	山陰の家	1968 (昭和43) 年	紙本着色	130.5×162.5
96	月岡榮貴	風神雷神	1985 (昭和60) 年	紙本着色	182.0×297.0
97	吉田多最	黒いトタン屋根	1975 (昭和50) 年	紙本着色	163.0×205.0
98	山中總	遊子	1993 (平成5) 年	紙本着色	182.0×228.0
99	菅野圭介	ピレネー	不詳	油彩・画布	60.6×72.4
100	山口薫	水と畑と残雪	1952 (昭和27) 年	油彩・画布	80.2×99.8
101	山田正亮	Still Life No.43	1952 (昭和27) 年	油彩・画布	91.0×116.5

◆展示室6・7 朝井閑右衛門室 古陶磁蒐集から見る朝井閑右衛門の交友関係

102	伝・川合玉堂	小服茶碗(朝井閑右衛門旧蔵)	1930-40年代頃?	陶	5.2×Φ9.5 ~ 9.6 (口径)
103	伝・木米	急須及び箱蓋 (朝井閑右衛門旧蔵)	18-19世紀?	陶	9.5×11.2×9.8
104		染付牡丹文丸壺及び箱蓋 (朝井閑右衛門旧蔵)	19世紀 (朝鮮時代)	陶	13.9×Φ16.9 (胴径)
105	小山富士夫	首里花生 (朝井閑右衛門旧蔵)	1960年代末頃?	陶	14.3 ~ 15.6×Φ20.0 (口径)
106	木内克	刻線文壺 (朝井閑右衛門旧蔵)	不詳	陶 (テラコッタ)	15.3×Φ14.1 (胴径)
107	朝井閑右衛門	白サツマ大壺を見る三好達治	1960 (昭和35) 年	油彩・紙	24.5×18.5
108	朝井閑右衛門	陶片額 [箸置き (トルソ) / 18個]	不詳	陶	
109	朝井閑右衛門	染付虎人物文大皿 (朝井閑右衛門旧蔵)	1940年代後半- 60年代半ば?	陶	6.5×Φ48.6 (口径)
110		赤絵三竜筆架 (朝井閑右衛門旧蔵)	16-17世紀 (明時代・万暦頃)	陶	9.5×13.7×4.4
111		古染付筏人物長角合子 (朝井閑右衛門旧蔵)	17世紀 (明時代末)	陶	7.2×6.0×3.6
112		瀬戸黒茶碗及び箱蓋 (朝井閑右衛門旧蔵)	16-17世紀	陶	9.9 ~ 10.3×Φ11.2 ~ 13.0 (口径)
113		絵唐津茶碗 (朝井閑右衛門旧蔵)	16世紀末-17世紀 初頭	陶	7.7×Φ11.0 (口径)

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
114		赤絵花鳥文長壺 (朝井閑右衛門旧蔵)	16-16世紀 (明時代・万暦)	陶	48.6×Φ12.0 (口径)
115		呉州赤絵双竜文大皿及び箱 (朝井閑右衛門旧蔵)	17世紀末 (明時代・万暦頃)	陶	9.3×Φ39.0 (口径)
116	島田章三	花鳥A	1965 (昭和40) 年	油彩・画布	161.5×112.0
117	島田章三	花鳥B	1965 (昭和40) 年	油彩・画布	162.4×112.0
118	島田章三	ついばむとり	1963 (昭和38) 年	油彩・画布	89.5×130.0
119	島田章三	鳥放つ	1983 (昭和58) 年	油彩・画布	162.1×130.3
120	向井良吉	発掘した言葉Ⅱ	1958 (昭和33) 年	ブロンズ	47.3×48.0×29.5
121	堀内正和	Exercice 3	1956 (昭和31) 年	鉄	67.0×40.1×40.1
122	川端実	絵画No.2	1963 (昭和38) 年	油彩・画布	194.0×259.0
123	白髪一雄	天敗星活閻羅	1960 (昭和35) 年	油彩・画布	182.0×272.3
124	加納光於	繁み・運動・エレメント-G	1988 (昭和63) 年	油彩・画布	227.0×162.0
125	嶋田しづ	オリゾン・ヴェール	1993 (平成5) 年	油彩・画布	194.6×259.2
126	糸園和三郎	古い壁	1960 (昭和35) 年	油彩・画布	145.3×112.7
127	脇田和	鳩と静物	1966 (昭和41) 年	油彩・画布	116.5×91.2
128	磯辺行久	Work 62-18	1962 (昭和37) 年	ミクストメディア (油彩、大理石粉など)・板	137.0×121.5
129	植松眞治	イタリー旅行記	1976 (昭和51) 年	油彩・画布	110.0×100.0
130	島田鮎子	アールデコ風の部屋	2006 (平成18) 年	油彩・画布	162.1×130.0
131	江口週	十字のあるカリアティード	1988 (昭和63) 年	樟	170.0×63.5×58.0

◆展示室8・北側ギャラリー 特集：令和4年度新収蔵品展

132	鳥海青児	石の街 (インカ)	1961 (昭和36) 年	油彩・画布	91.0×116.0
133	原精一	〔三人の女〕	1970-75 (昭和45-50) 年頃	油彩・画布	100.0×100.0
134	杉本賢司	仮面 (狐火)	1987 (昭和62) 年	油彩・画布	130.5×162.0
135	天野純治	the warm snow #02011	2020 (令和2) 年	アクリル、鉛・紙	80.5×110.5
136	天野純治	the warm snow #02015	2020 (令和2) 年	アクリル、鉛・紙	80.5×110.5
137	天野純治	field of water #19051	2019 (平成31/令和元) 年	シルクスクリーン、ステンシル・紙	81.0×110.5
138	天野純治	field of water #20502	2020 (令和2) 年	シルクスクリーン、ステンシル・紙	81.0×110.5
139	内田あぐり	分水界	2020 (令和2) 年	岩絵具、顔料、墨、膠・楮紙、紙漉、雲肌麻紙	180.0×800.0
140	長沢明	Mother III	2017 (平成29) 年	岩絵具、土、石膏、墨・寒冷紗	366.0×184.0
141	野見山暁治	重い時間	2009 (平成21) 年	油彩・画布	162.0×194.0

◆屋外設置作品

142	若林奮	Valleys (2nd stage)	1989 (平成元) 年	鉄	305.0×150.0×4586.0
143	鈴木昭男	点音	2013 (平成25) 年	コンクリート	Φ45.0

展覧会名

令和5年度第2期所蔵品展

会 期	2023年7月8日(土)～10月1日(日) 開催日数84日間 (休館日を除く)	
休 館 日	8月7日(月)、9月4日(月)	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主 催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4 若林奮 Valleys関連ドローイング Part1 展示室5 若林奮 Valleys関連ドローイング Part2 展示室6・7 若林奮 飛葉と振動 2003 展示室8 朝井閑右衛門室 朝井閑右衛門の相撲絵	
観覧者数	実績 (人)	一日平均 (人)
	30,524	363.4
印刷物	没後20年 若林奮	
	チラシ	A4チラシ 25,000枚
	図録	B5変形60ページ 800冊
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社

展示風景



印刷物



A4チラシ (表)

A4チラシ (裏)

第2期所蔵品展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
1	中川紀元	カフェ	1920 (大正9)	油彩・画布	115.7×80.0
2	三岸節子	室内	1941 (昭和16)	油彩・画布	162.1×130.3
3	林武	うつむく女	1953 (昭和28) 頃	油彩・画布	80.0×64.7
4	猪熊弦一郎	三人の娘	1954 (昭和29)	油彩・画布	100.0×80.5
5	朝井閑右衛門	港 (帰らぬ船)	1956 (昭和31)	油彩・画布	61.0×80.0
6	鶴岡政男	たたかい	1955 (昭和30)	油彩・画布	50.0×65.5

◆展示室4 若林奮 Valleys関連ドローイング Part1

7	若林奮	VALLEYS再生	2002 (平成14)	鉛筆・紙	21.0×14.8
8	若林奮	“VALLEYS” について	2003 (平成15)	ペン、色鉛筆・紙	各29.8×21.2
9	若林奮	「VALLEYS」	2003 (平成15)	鉛筆・紙	各25.2×17.5
10	若林奮	89-25	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.6×36.0
11	若林奮	89-34	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.0
12	若林奮	89-51	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.0
13	若林奮	89-55	1989 (平成元)	鉛筆、フロッタージュ・紙	25.7×36.0
14	若林奮	89-89	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.0
15	若林奮	89-39	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.0
16	若林奮	89-41	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.2
17	若林奮	89-45	1989 (平成元)	インク、鉛筆・紙	25.7×36.0
18	若林奮	89-109	1989 (平成元)	鉛筆、ボールペン・紙	25.7×36.0
19	若林奮	89-117	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.1
20	若林奮	89-108	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.0
21	若林奮	89-112	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.1
22	若林奮	89-113	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.0
23	若林奮	89-114	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.1
24	若林奮	89-115	1989 (平成元)	鉛筆・紙	25.7×36.1
25	若林奮	89-140	1989 (平成元)	鉛筆、ボールペン・紙	27.0×25.5
26	若林奮	89-125	1989 (平成元)	ボールペン・紙	25.6×36.1
27	若林奮	90-1	1990 (平成2)	鉛筆・紙	25.7×36.1
28	若林奮	90-2	1990 (平成2)	鉛筆、ボールペン・紙	25.7×36.1
29	若林奮	90-154	1990 (平成2)	ボールペン・紙	36.2×25.8
30	若林奮	90-3	1990 (平成2)	鉛筆、ボールペン、フェルトペン・紙	25.7×36.1
31	若林奮	90-149	1990 (平成2)	ペン、ボールペン・紙	18.3×25.8
32	若林奮	90-141	1990 (平成2)	ペン・紙	18.2×25.7
33	若林奮	90-157	1990 (平成2)	ペン・紙	13.0×18.2
34	若林奮	90-142	1990 (平成2)	鉛筆・紙	28.0×21.2
35	若林奮	90-143	1990 (平成2)	鉛筆・紙	23.0×21.1
36	若林奮	90-144	1990 (平成2)	鉛筆・紙	23.0×21.1
37	若林奮	93-2	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	29.7×21.0
38	若林奮	93-4	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.3×25.7
39	若林奮	93-9	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	36.4×25.7
40	若林奮	93-42	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7
41	若林奮	93-43	1993 (平成5)	鉛筆、フロッタージュ・紙	36.1×25.7
42	若林奮	93-44	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7
43	若林奮	93-65	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.8
44	若林奮	93-66	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.3×25.9
45	若林奮	93-67	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.3×25.9
46	若林奮	93-68	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.3×25.9
47	若林奮	93-69	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.3×25.9
48	若林奮	93-70	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7
49	若林奮	93-71	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7
50	若林奮	93-72	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
51	若林奮	93-73	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7
52	若林奮	93-74	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.8
53	若林奮	93-77	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7
54	若林奮	93-82	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7
55	若林奮	93-78	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7
56	若林奮	93-79	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.7
57	若林奮	93-87	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3
58	若林奮	93-88	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3
59	若林奮	93-89	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3
60	若林奮	93-90	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3
61	若林奮	93-91	1993 (平成5)	鉛筆・紙	21.1×29.8
62	若林奮	93-93	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3
63	若林奮	93-94	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3
64	若林奮	93-96	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3
65	若林奮	93-97	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.2
66	若林奮	93-99	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.1×24.1
67	若林奮	93-98	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3
68	若林奮	93-100	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3
69	若林奮	93-112	1993 (平成5)	鉛筆・紙	36.2×25.8
70	若林奮	93-140	1993 (平成5)	鉛筆・紙	30.2×24.3

71	柳原義達	バルザックのモデルたりし男	1957 (昭和32)	ブロンズ	42.5×22.8×28.4
72	鬮嘸	クレーンと人	1954 (昭和29)	油彩・板	77.3×92.0
73	川端実	工事	1953 (昭和28)	油彩・画布	130.3×97.4
74	島田章三	ノイローゼ	1957 (昭和32)	油彩・合板	162.1×90.0
75	渡辺恂三	仏滅	1958 (昭和33)	油彩・合板	175.0×221.0
76	山口長男	象B	1947 (昭和22)	油彩・画布	116.5×74.5

77	白髪一雄	天敗星活閻羅	1960 (昭和35)	油彩・画布	182.0×272.3
78	元永定正	無題	1963 (昭和38)	エナメル、アクリル絵具・画布	112.0×146.0
79	堂本尚郎	連続の溶解#16	1966 (昭和41)	油彩・画布	114.5×147.5
80	宮脇愛子	作品	1962 (昭和37)	油彩、大理石粉・合板	90.7×116.8

◆展示室5 若林奮 Valleys関連ドローイング Part2

81	若林奮	93-132	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	24.6×21.0
82	若林奮	93-133	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	24.6×21.0
83	若林奮	93-150	1993 (平成5)	鉛筆・紙	29.1×21.0
84	若林奮	93-155	1993 (平成5)	鉛筆・紙	24.2×19.6
85	若林奮	93-158	1993 (平成5)	鉛筆、水彩・紙	36.2×25.7
86	若林奮	93-156	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	30.2×24.3
87	若林奮	93-157	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	24.2×19.7
88	若林奮	93-160	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	36.2×25.7
89	若林奮	93-161	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	36.2×25.7
90	若林奮	93-192	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	21.8×14.5
91	若林奮	93-197	1993 (平成5)	鉛筆、色鉛筆・紙	20.6×14.0
92	若林奮	94-20	1994 (平成6)	鉛筆・紙	36.2×25.8
93	若林奮	94-30	1994 (平成6)	鉛筆、水彩・紙	36.1×25.7
94	若林奮	94-31	1994 (平成6)	ボールペン・紙	36.3×25.8
95	若林奮	94-32	1994 (平成6)	ボールペン・紙	36.3×25.8
96	若林奮	94-33	1994 (平成6)	ボールペン・紙	36.3×25.8
97	若林奮	94-50	1994 (平成6)	鉛筆・紙	25.8×18.1
98	若林奮	94-51	1994 (平成6)	鉛筆、色鉛筆・紙	25.8×18.1
99	若林奮	94-52	1994 (平成6)	水彩・紙	16.1×12.0
100	若林奮	95-88	1995 (平成7)	インク・紙	25.8×18.3

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
101	若林奮	95-1	1995 (平成7)	鉛筆・紙	29.8×21.0
102	若林奮	95-2	1995 (平成7)	鉛筆・紙	29.7×21.0
103	若林奮	95-3	1995 (平成7)	鉛筆・紙	29.7×21.0
104	若林奮	95-4	1995 (平成7)	鉛筆・紙	29.7×20.9
105	若林奮	95-22	1995 (平成7)	鉛筆・紙	29.7×20.1
106	若林奮	95-18	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆(オイルパステル)・紙	29.7×20.2
107	若林奮	95-21	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	25.7×18.1
108	若林奮	95-23	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	25.8×18.2
109	若林奮	95-24	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	25.7×18.0
110	若林奮	95-25	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	25.8×18.2
111	若林奮	95-26	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	28.4×21.5
112	若林奮	95-27	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	29.7×20.9
113	若林奮	95-35	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	29.7×20.9
114	若林奮	95-47	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	29.7×20.2
115	若林奮	95-48	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	29.8×20.3
116	若林奮	95-36	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	29.8×20.3
117	若林奮	95-58	1995 (平成7)	鉛筆・紙	29.8×21.0
118	若林奮	95-40	1995 (平成7)	水彩・紙	28.3×21.4
119	若林奮	95-41	1995 (平成7)	水彩・紙	28.3×21.4
120	若林奮	95-28	1995 (平成7)	鉛筆・紙	29.7×20.9
121	若林奮	95-29	1995 (平成7)	鉛筆・紙	29.7×20.9
122	若林奮	95-69	1995 (平成7)	鉛筆・紙	25.8×18.2
123	若林奮	95-70	1995 (平成7)	鉛筆・紙	29.8×20.4
124	若林奮	95-71	1995 (平成7)	鉛筆・紙	25.8×18.1
125	若林奮	95-78	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	20.1×29.8
126	若林奮	95-79	1995 (平成7)	鉛筆、色鉛筆・紙	20.3×29.7
127	若林奮	95-80	1995 (平成7)	鉛筆・紙	25.8×36.3
128	若林奮	96-1	1996 (平成8)	鉛筆・紙	14.9×10.5
129	若林奮	96-2	1996 (平成8)	鉛筆・紙	14.8×10.5
130	若林奮	96-9	1996 (平成8)	鉛筆・紙	25.8×18.2
131	若林奮	96-10	1996 (平成8)	鉛筆・紙	25.8×18.2
132	若林奮	96-14	1996 (平成8)	鉛筆・紙	27.2×22.8
133	若林奮	96-83	1996 (平成8)	鉛筆、色鉛筆・紙	29.8×21.0
134	若林奮	96-13	1996 (平成8)	鉛筆、水彩・紙	36.2×26.1
135	若林奮	96-42	1996 (平成8)	鉛筆、ボールペン、水彩・紙	25.7×36.3
136	若林奮	96-44	1996 (平成8)	鉛筆、ボールペン・紙	20.1×29.8
137	若林奮	96-45	1996 (平成8)	鉛筆、水彩・紙	27.3×22.2
138	若林奮	96-57	1996 (平成8)	鉛筆、水彩・紙	34.3×31.0
139	若林奮	96-58	1996 (平成8)	鉛筆、水彩、ボールペン・紙	29.2×20.9
140	若林奮	96-68	1996 (平成8)	鉛筆・紙	25.1×21.6
141	若林奮	96-11	1996 (平成8)	鉛筆・紙	27.3×22.8
142	若林奮	96-12	1996 (平成8)	鉛筆・紙	27.4×22.7
143	若林奮	96-17	1996 (平成8)	鉛筆・紙	27.5×22.8
144	若林奮	96-25	1996 (平成8)	鉛筆、水彩・紙	29.6×20.9
145	若林奮	96-53	1996 (平成8)	鉛筆、水彩・紙	27.5×18.6
146	若林奮	96-54	1996 (平成8)	水彩・紙	27.3×23.0
147	若林奮	96-55	1996 (平成8)	水彩・紙	27.1×22.3
148	若林奮	96-56	1996 (平成8)	鉛筆、水彩・紙	35.6×24.0
149	若林奮	96-31	1996 (平成8)	色鉛筆、水彩・紙	35.6×14.2
150	若林奮	96-37	1996 (平成8)	鉛筆・紙	27.5×23.0
151	若林奮	96-38	1996 (平成8)	鉛筆・紙	27.5×23.0
152	若林奮	97-40	1997 (平成9)	鉛筆・紙	24.5×14.6
153	若林奮	98-49	1998 (平成10)	水性ペン・紙	20.8×14.8
154	若林奮	98-50	1998 (平成10)	水性ペン、色鉛筆・紙	20.8×14.6

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
155	若林奮	98-52	1998 (平成10)	水性ペン・紙	20.7×14.7
156	若林奮	98-51	1998 (平成10)	水性ペン・紙	20.8×14.8
157	若林奮	98-53	1998 (平成10)	水性ペン・紙	20.8×14.0
158	若林奮	98-90	1998 (平成10)	水彩、色鉛筆・紙	27.4×13.0
159	若林奮	98-91	1998 (平成10)	水彩、色鉛筆・紙	18.0×16.4
160	若林奮	98-148	1998 (平成10)	鉛筆・紙	21.0×21.0
161	若林奮	98-149	1998 (平成10)	鉛筆・紙	29.8×21.0
162	若林奮	98-150	1998 (平成10)	鉛筆、スタンプ・紙	29.8×21.1
163	若林奮	99-42	1999 (平成11)	ペン・紙	22.8×13.7
164	若林奮	99-57	1999 (平成11)	鉛筆、水彩・紙	24.2×25.0
165	若林奮	99-51	1999 (平成11)	鉛筆・紙	36.2×25.7
166	若林奮	99-64	1999 (平成11)	ボールペン、水彩・紙	13.5×10.8
167	若林奮	99-65	1999 (平成11)	水彩、ペン・紙	25.7×18.1
168	若林奮	99-66	1999 (平成11)	水彩、鉛筆・紙	25.7×18.0
169	若林奮	99-72	1999 (平成11)	水彩、ペン・紙	22.8×19.1
170	若林奮	99-88	1999 (平成11)	水彩、鉛筆・紙	24.5×21.1
171	若林奮	99-281	1999 (平成11)	色鉛筆、鉛筆、水彩・紙	24.3×20.8

172	磯辺行久	Work 62-18	1962 (昭和37)	ミクストメディア (油彩、大理石粉など)・板	137.0×121.5
173	中西夏之	山頂の石蹴り No.6	1970 (昭和45)	油彩・画布	73.0×91.5
174	中西夏之	絵の形 13-j	1974 (昭和49)	油彩・鉛板、ガラス板	54.5×39.3
175	中西夏之	絵の形 13-k	1974 (昭和49)	油彩・鉛板、ガラス板	53.0×39.0

◆展示室6・7 若林奮 飛葉と振動 2003

176	若林奮	2003年5月27日①	2003 (平成15)	色鉛筆、油性ボールペン・紙	23.4×18.1
177	若林奮	2003年5月27日②	2003 (平成15)	鉛筆、色鉛筆、油性ボールペン・紙	20.0×21.0
178	若林奮	2003年5月28日①	2003 (平成15)	鉛筆・紙	23.5×21.2
179	若林奮	2003年5月28日②	2003 (平成15)	鉛筆・紙	23.5×21.2
180	若林奮	2003年5月29日①	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	23.5×21.2
181	若林奮	2003年5月29日②	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	23.5×21.2
182	若林奮	2003年5月31日	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	23.5×21.2
183	若林奮	2003年6月1日①	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	23.5×21.2
184	若林奮	2003年6月1日②	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	23.5×21.2
185	若林奮	2003年6月1日③	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	23.5×21.2
186	若林奮	2003年6月1日④	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	23.5×21.2
187	若林奮	2003年6月3日	2003 (平成15)	鉛筆・紙	29.7×21.0
188	若林奮	2003年6月4日①	2003 (平成15)	色鉛筆・紙	26.0×20.7
189	若林奮	2003年6月4日②	2003 (平成15)	色鉛筆、油性ボールペン・紙	21.9×16.0
190	若林奮	2003年6月5日	2003 (平成15)	色鉛筆、水性ボールペン・紙	29.7×21.1
191	若林奮	2003年6月6日①	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	22.0×22.0
192	若林奮	2003年6月6日②	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	26.3×21.0
193	若林奮	飛葉と振動 II	2003 (平成15)	水彩絵具・木、紙	15.8×29.7×10.5
194	若林奮	飛葉と振動 IV	2003 (平成15)	水彩絵具・木、紙	11.7×25.2×10.8
195	若林奮	飛葉と振動 VI	2003 (平成15)	水彩絵具、アクリル・木、綿布	17.9×37.0×19.5

196	若林奮	2003年6月7日	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	25.7×18.2
197	若林奮	2003年6月9日	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	21.0×14.8
198	若林奮	2003年6月11日①	2003 (平成15)	色鉛筆、油性ボールペン、水性ボールペン・紙	22.0×22.0
199	若林奮	2003年6月11日②	2003 (平成15)	色鉛筆、油性ボールペン、水性ボールペン・紙	23.4×20.9
200	若林奮	2003年6月13日	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	25.5×19.9
201	若林奮	2003年6月14日①	2003 (平成15)	鉛筆、油性ボールペン・紙	25.8×18.4
202	若林奮	2003年6月14日②	2003 (平成15)	鉛筆、油性ボールペン・紙	25.9×18.3
203	若林奮	2003年6月14日③	2003 (平成15)	鉛筆、油性ボールペン・紙	26.0×18.3

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
204	若林奮	2003年6月14日④	2003 (平成15)	油性ボールペン・紙	25.8×18.2
205	若林奮	2003年6月14日⑤	2003 (平成15)	色鉛筆、油性ボールペン・紙	24.2×19.3
206	若林奮	2003年6月15日	2003 (平成15)	色鉛筆、油性ボールペン、水性ボールペン・紙	26.0×15.7
207	若林奮	2003年6月16日	2003 (平成15)	色鉛筆、油性ボールペン・紙	29.7×15.4
208	若林奮	2003年6月18日	2003 (平成15)	色鉛筆、水性ボールペン・紙	29.7×21.1
209	若林奮	飛葉と振動	2003 (平成15)	ジェッソ・木、布	20.5×18.2×29.1
210	若林奮	飛葉と振動 サント・ヴィクトワールを見る	2003 (平成15)	ジェッソ・木、布	17.6×14.9×69.8
211	高松次郎	紙の単体#324	1971 (昭和46)	紙、麻布・パネル	122.5×220.5
212	加納光於	繁み・運動・エレメント-G	1988 (昭和63)	油彩・画布	227.0×162.0
213	李禹煥	線より	1977 (昭和52)	岩彩・画布	162.0×194.0
214	堀浩哉	ローマで鳥を見た1	1991 (平成3)	墨、アクリル、岩絵具、和紙・画布	227.3×361.8
215	淀井彩子	SOUTH I.	1981 (昭和56)	油彩・画布	112.1×162.1
216	淀井彩子	地図	2011 (平成23)	油彩・画布	162.0×194.0
217	若林砂絵子	Untitled [Works13]	2008 (平成20)	油彩・画布	195.0×115.0

◆展示室8 朝井閑右衛門室 朝井閑右衛門の相撲絵

218	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷下絵	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	48.5×93.0
219	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷下絵	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	51.8×87.0
220	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷1	1952 (昭和27)	紙本墨、淡彩	48.0×86.8
221	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	47.7×87.0
222	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	48.0×86.5
223	朝井閑右衛門	大相撲蔵前絵巻4	1952 (昭和27)	紙本墨、淡彩	48.2×85.6
224	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷下絵	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	51.5×86.6
225	朝井閑右衛門	大相撲蔵前絵巻2	1952 (昭和27)	紙本墨、淡彩	47.8×86.6
226	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷下絵	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	46.6×86.6
227	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	47.4×92.0
228	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷5	1952 (昭和27)	紙本墨、淡彩	48.2×86.5
229	朝井閑右衛門	大相撲蔵前絵巻3	1952 (昭和27)	紙本墨、淡彩	49.0×83.8
230	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷下絵	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	51.3×32.6
231	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷下絵	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	52.0×36.2
232	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷下絵	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	51.5×30.5
233	朝井閑右衛門	大相撲蔵前画卷下絵	1952 (昭和27)	紙本墨、水彩	51.3×88.6
234	朝井閑右衛門	相撲絵6	1952 (昭和27) 頃	紙本墨、淡彩	51.0×87.5
235	朝井閑右衛門	電線風景 (トンネル)	1952 (昭和27) 頃	油彩・画布	45.8×53.1
236	朝井閑右衛門	やけ跡	1952 (昭和27)	油彩・画布	116.6×90.9
237	島田章三	鳥たちのエリア	1995 (平成7)	油彩・画布	162.1×130.3
238	島田章三	夏	1994 (平成6)	油彩・画布	162.0×194.0
239	島田章三	水槽の魚	1987 (昭和62)	油彩・画布	112.1×145.5
240	島田章三	流れのかたち	1993 (平成5)	油彩・画布	130.3×162.1
241	島田章三	灯台島眺望景	1997 (平成9)	油彩・画布	182.0×227.0

◆屋外設置作品

242	若林奮	Valleys (2nd stage)	1989 (平成元)	鉄	305.0×150.0×4586.0
243	高田安規子・政子	修復 (通路)	2019 (平成31)	インスタレーション	
244	高田安規子・政子	修復 (中庭)	2019 (平成31)	インスタレーション	
245	鈴木昭男	点音	2013 (平成25)	インスタレーション	

展覧会名

令和5年度第3期所蔵品展

会期	2023年10月7日(土)～12月24日(日) 開催日数77日間(休館日を除く)	
休館日	11月7日(月)、12月5日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円 ※11月3日(金・祝)は無料観覧日	
主催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4 日本画 展示室5 朝井閑右衛門と道化 展示室6 原田和男「シデロイホス」 展示室7 池田龍雄、菅野陽 北側展示ギャラリー、展示室8 特集：勝又豊子 不在の向こう-白い余白	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	18,281	237.4

展示風景



印刷物



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)

第3期所蔵品展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)	備考
1	高田安規子・政子	修復(中庭)	2019(平成31)	写真	50.9×76.5	撮影: 長塚秀人
2	高田安規子・政子	修復(通路)	2019(平成31)	写真	50.9×76.5	撮影: 長塚秀人
3	藤島武二	夢想	1904(明治37)	油彩・画布	45.7×33.4	
4	赤松 麟作	水辺裸婦	不詳	油彩・画布	33.5×45.0	
5	原撫松	男二人	ca.1907-08 (明治40-41頃)	油彩・画布	37.9×50.7	
6	中村彝	少女	ca.1913(大正2頃)	油彩・画布	53.5×45.5	
7	岸田劉生	木村莊八像	1913(大正2)	油彩・板	34.0×23.5	
8	満谷国四郎	軀津魚市場時代	1915(大正4)	油彩・画布	53.5×65.0	

◆展示室4 日本画

9	今村紫紅	黄石公・張良	1911(明治44)	絹本着色	各130.3×56.2	
10	横山大観	陶靖節	ca.1919(大正8頃)	絹本着色	各113.5×40.5	
11	川端龍子	自画像・草露行	1920(大正9)	絹本着色	141.3×85.3	
12	中村岳陵	白狗	1929(昭和4)	紙本着色	172.5×182.5	
13	朝井閑右衛門	豊干入国清寺	1942(昭和17)	紙本着色	85.1×40.6	
14	朝井閑右衛門	寒山拾得	不詳	絹本着色	各67.5×29.4	
15	古賀春江	房州風景	1919(大正8)	水彩・紙	135×292.7	
16	古賀春江	橋のある風景	ca.1923(大正12頃)	水彩・紙	29.0×38.3	
17	守屋多々志	ベリー浦賀来航	1994(平成6)	絹本着色	145.7×72.9	
18	水谷愛子	黒牛	ca.1960(昭和35頃)	紙本着色	165.0×206.0	
19	上野泰郎	いのちへの道	1983(昭和58)	岩彩、金泥他・絹本	107.5×129	
20	麻田鷹司	海角	1961(昭和36)	紙本着色	135.0×162.0	
21	小嶋悠司	群像L	1968(昭和43)	紙本着色	145.2×200.0	
22	中川紀元	カフェ	1920(大正9)	油彩・画布	115.7×80.0	
23	青山義雄	廃墟	1923(大正12)	油彩・画布	90.9×116.7	
24	児島善三郎	婦人	1925-28 (大正14-昭和3)	油彩・画布	80.5×65.0	
25	飯田操朗	作品五	1936(昭和11)	油彩・画布	45.5×53.2	
26	鬮光	グラジオラス	1942(昭和17)	油彩・板	33.1×23.7	
27	国吉康雄	毛皮の女	1930(昭和5)	油彩・画布	71.5×64.3	
28	今西中通	裸婦	1938(昭和13)	油彩・画布	45.2×27.5	
29	三岸節子	室内	1941(昭和16)	油彩・画布	162.1×130.3	
30	鬮嘸	クレーンと人	1954(昭和29)	油彩・板	77.3×92.0	
31	鶴岡政男	たたかい	1955(昭和30)	油彩・板	50.0×65.5	
32	小山田二郎	食卓	1954(昭和29)	油彩・画布	116.7×80.3	
33	山田正亮	Still Life No.43	1952(昭和27)	油彩・画布	91.0×116.5	

◆展示室5 朝井閑右衛門と道化

34	朝井閑右衛門	素描する人	ca.1934(昭和9頃)	油彩・画布	91.0×72.5	
35	朝井閑右衛門	ギタリスト	1937(昭和12)	油彩・画布	99.8×72.7	
36	朝井閑右衛門	人形(A)	1975(昭和50)	油彩・画布	60.5×72.9	
37	朝井閑右衛門	[フランス人形]	不詳	油彩・画布	60.7×73.0	
38	朝井閑右衛門	栄誉人間と人形(A)	1966(昭和41)	油彩・画布	72.8×91.0	
39	朝井閑右衛門	人形使いの肖像	1954(昭和29)	油彩・画布	116.6×80.5	
40	朝井閑右衛門	人形使いの肖像	1954(昭和29)	鉛筆・紙	26.2×19.0	
41	朝井閑右衛門	道化と人形使い	ca.1956(昭和31頃)	水彩・墨・紙	34.0×40.0	
42	朝井閑右衛門	サーカス人形	1965(昭和40)	油彩・紙	19.0×26.7	

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)	備考
43	朝井閑右衛門	ダルマストーブのある画室	不詳	色鉛筆、鉛筆、バス テル・紙	50.0×60.0	
44	朝井閑右衛門	サーカス人形	1965 (昭和40)	油彩・画布	50.9×70.3	
45	朝井閑右衛門	人形	不詳	油彩・板	24.3×33.4	
46	朝井閑右衛門	人形	不詳	油彩・板	23.1×37.0	
47	朝井閑右衛門	〔ファルス (C)〕	ca.1959 (昭和34)	油彩・紙	94.0×60.5	
48	朝井閑右衛門	楽土とピエロ	不詳	油彩・厚紙	20.2×13.0	
49	朝井閑右衛門	〔ピエロ〕	不詳	油彩・厚紙	20.7×14.3	
50	朝井閑右衛門	〔ピエロ〕	不詳	油彩・紙	22.5×15.4	
51	朝井閑右衛門	三人の道化	1965 (昭和40)	油彩・画布	72.5×90.7	
52	鳥海青児	道化	ca.1939 (昭和14頃)	油彩・ボード	40.4×31.5	

53	難波田龍起	コンポジション 黄	1972 (昭和47)	油彩・画布	90.8×72.5	
54	オノサト・トシノブ	一つの円 (作品C-B)	1965 (昭和40)	油彩・画布	130.9×162.3	
55	堂本尚郎	連続の溶解 #16	1966 (昭和41)	油彩・画布	114.5×147.5	
56	村井正誠	四人	1972 (昭和47)	油彩・画布	162.2×130.6	

◆展示室6 原田和男

57	原田和男	KOMOREBI コモレビ(こもれび)	1995 (平成7)	鉄		個人蔵
58	原田和男	ΒΡΑΧΟΣ ブラホス (岩)	1987 (昭和62)	鉄		個人蔵

◆展示室7

59	池田龍雄	H.R.氏の肖像	1955 (昭和30)	インク、水彩、油彩他・紙	37.5×27.2	
60	池田龍雄	ユートピアI	1956 (昭和31)	インク、水彩、油彩他・紙	37.3×28.5	
61	池田龍雄	仮面	1959 (昭和34)	インク、水彩、油彩他・紙	37.0×26.5	
62	菅野陽	おどりI	1954 (昭和29)	エッチング、アクワチ ント・紙	25.3×19.0	
63	菅野陽	寄らないで (b)	1955 (昭和30)	アクワチント・紙	22.5×17.9	
64	菅野陽	だだっこ	1960 (昭和35)	ディープエッチ、サル ファチント、アクワチ ント、雁皮刷・紙	19.0×38.0	
65	菅野陽	夜のおつかい	1957 (昭和32)	エッチング、サルファ チント、アクワチント・紙	21.2×22.6	
66	菅野陽	いじめっこ	1957 (昭和32)	ソフトグランドエッチ ング、サルファチント、 アクワチント、雁皮刷・紙	24.0×38.0	
67	菅野陽	鬼子母	1959 (昭和34)	エッチング、サルファ チント、アクワチント、 雁皮刷・紙	33.1×25.2	
68	菅野陽	裸婦たち	1963 (昭和38)	ディープエッチ、サル ファチント・紙	29.1×18.9	
69	菅野陽	想う	1963 (昭和38)	サルファチント、アク ワチント・紙	23.6×18.5	
70	菅野陽	かお (赤蛇)	不詳	ディープエッチ、アク ワチント、多色刷・紙	25.0×23.5	

71	島田章三	スザンナの部屋	1967 (昭和42)	油彩・画布	162.0×130.5	
72	島田章三	灯台島眺望景	1997 (平成9)	油彩・画布	182.0×227.0	
73	島田章三	鳥たちのエリア	1995 (平成7)	油彩、カラージュ・ 画布	162.1×130.3	
74	李禹煥	線より	1977 (昭和52)	岩彩・画布	162.0×194.0	
75	堀浩哉	ローマで鳥を見た1	1991 (平成3)	墨、アクリル、岩絵具、 和紙・画布	227.3×361.8	
76	井上悟	メインストリート	1989 (平成元)	油彩・画布	186.5×232.0	
77	上條陽子	ベッド	1987 (昭和62)	油彩・画布	91.0×73.0	
78	宮脇愛子	作品 (白)	1962 (昭和37)	油彩、大理石粉・合板	90.7×116.8	
79	高松次郎	紙の単体#324	1971 (昭和46)	紙、麻布・パネル	122.5×220.5	
80	中西夏之	山頂の石蹴り No.6	1970 (昭和45)	油彩・画布	73.0×91.5	

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	---------	----

◆特集：勝又豊子 不在の向こう—白い余白

81	勝又豊子	おとぎばなし	2019 (令和1)	写真、鉄	92.5×123	個人蔵
82	勝又豊子	切り取られた部屋	2023 (令和5)	鉄、鏡、ビデオ、蠟	可変	個人蔵

◆展示室8

83	勝又豊子	養分	2003 (平成15)	映像、鉄、デジタル カウンター		個人蔵
84	勝又豊子	不在の向こうA	2021 (令和3)	写真、鉄	92.5×123	個人蔵
85	勝又豊子	不在の向こうB	2021 (令和3)	写真、鉄	92.5×123	個人蔵
86	勝又豊子	不在の向こうC	2021 (令和3)	写真、鉄	92.5×123	個人蔵
87	勝又豊子	孤独の部屋	2016 (平成28)	写真、鉄	各137×164	個人蔵
88	勝又豊子	気配	2023 (令和5)	写真、鉄	117×156	個人蔵
89	勝又豊子	不在の向こう	2021 (令和3)	写真、鉄	117×156	個人蔵
90	勝又豊子	赤の線	2023 (令和5)	紙、鉄の額		個人蔵
91	勝又豊子	私を見る	2008 (平成20)	写真、鉄	61.0×24.4	個人蔵

◆屋外設置作品

92	若林奮	Valleys (2nd stage)	1989 (平成元)	鉄	305.0×150.0×4586.0	
93	高田安規子・政子	修復 (通路)	2019 (平成31)	インスタレーション		
94	高田安規子・政子	修復 (中庭)	2019 (平成31)	インスタレーション		
95	鈴木昭男	点音	2013 (平成25)	インスタレーション		

展覧会名

令和5年度第4期所蔵品展

会 期	2024年1月6日(土)～3月3日(日) 開催日数56日間(休館日を除く)	
休 館 日	2024年1月9日(月)、2月5日(月)	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円 ※2月18日(日)は無料観覧日	
主 催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4 朝井閑右衛門室 骨董コレクション 展示室5 海 展示室6・7 島田章三 北側展示ギャラリー、展示室8 YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 往古来今／見えない泉をさまよいさがす	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	11,893	143.3

展示風景



第4期所蔵品展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
1	矢崎千代二	秋の園	1900 (明治33)	油彩・画布	81.3×60.8
2	藤島武二	夢想	1904 (明治37)	油彩・画布	45.7×33.4
3	藤島武二	アッシジ風景	1908-09 (明治41-42)	油彩・板	23.3×33.0
4	梅原龍三郎	モレー	1911 (明治44)	油彩・画布	60.5×73.7
5	木村莊八	畑 (雑司ヶ谷)	1913 (大正2)	油彩・画布	61.0×46.3
6	岸田劉生	木村莊八像	1913 (大正2)	油彩・板	34.0×23.5

7	中村不折	道	1912 (大正元年)	油彩・画布	117.0×80.7
---	------	---	-------------	-------	------------

◆展示室4 朝井閑右衛門室 骨董コレクション

8	朝井閑右衛門	染付虎人物文大皿	日本 / 20世紀		径48.6、高6.5
9	不詳	絵唐津茶碗	日本 / 16世紀末-17世紀初頭		口径11.0、高台径6.3、高7.7
10	不詳	瀬戸黒茶碗	日本 / 16-17世紀?		口径11.2 ~ 13.0、高台径6.6 ~ 6.7、高9.9 ~ 10.3
11	不詳	木米急須	日本 / 18-19世紀		最大幅11.2、最大奥行9.8、本体高9.5
12	不詳	常滑壺	日本 / 桃山-江戸16-17世紀		胴径44.5、高52.5
13	不詳	赤絵竜文水甕	中国 / 明・万歴16-17世紀		口径55.0 ~ 58.0、高54.7
14	不詳	マジョリカ染付人物文皿	イタリア / 17世紀頃		口径33.0×高9.0
15	不詳	赤絵虎文小壺	中国 / 明16-17世紀		胴径7.5×高8.3
16	小山富士夫	首里花生	日本 / 20世紀		径20.0、高14.3 ~ 15.6
17	木内克	線刻文壺	日本 / 20世紀		胴径14.1、高15.3
18	朝井閑右衛門	陶製不動明王像	日本 / 20世紀		
19	朝井閑右衛門	白サツマ大壺を見る三好達治	1960 (昭和35)	油彩・紙	24.5×18.5
20	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・板	17.5×26.0
21	朝井閑右衛門	[赤絵壺と人形]	不詳	油彩・板	16.5×25.2
22	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・板	18.4×18.7
23	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・板	10.5×24.5
24	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・画布	10.0×22.6
25	朝井閑右衛門	[赤絵壺と人形]	不詳	油彩・板	15.2×30.3
26	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・画布	22.6×22.8
27	朝井閑右衛門	[赤絵壺]	不詳	油彩・画布	28.8×34.3
28	朝井閑右衛門	[赤絵壺と人形]	不詳	油彩・画布	28.0×27.5
29	木内克	裸婦	1956 (昭和31)	テラコッタ	32.5×35.5×22.0

30	脇田和	中国の少年	1937 (昭和12) 頃	油彩・画布	55.0×46.0
31	小磯良平	ビルマの婦人	1943 (昭和18) 頃	油彩・画布	60.5×41.0
32	大河内信敬	座像	1939 (昭和14) 頃	油彩・画布	116.5×91.0
33	朝井閑右衛門	汪兆銘肖像	1940 (昭和15)	油彩・画布	60.5×45.2

34	上野泰郎	押し流される民族	1964 (昭和39)	岩彩他・和紙	162.0×227.1
----	------	----------	-------------	--------	-------------

35	松本俊介	お濠端	1940 (昭和15)	油彩・画布	65.0×90.0
36	巖光	グラジオラス	1942 (昭和17) 頃	油彩・板	33.1×23.7
37	鶴岡政男	二人で唄う	1947 (昭和22)	油彩・板	53.0×46.0

38	井上長三郎	スエズ	1943 (昭和18)	油彩・画布	60.5×80.0
----	-------	-----	-------------	-------	-----------

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
◆展示室5 海					
39	高橋由一	相州江之島図	1875 (明治8)	油彩・麻布	52.2×73.4
40	藤田嗣治	ル・アーブルの港	1917 (大正6)	油彩・画布	45.8×60.9
41	矢崎千代二	上海風景	1918 (大正7)	油彩・画布	33.2×45.2
42	矢崎千代二	海景	不詳	油彩・画布	31.6×40.8
43	青山義雄	ドーヴィル海岸	1924 (大正13)	油彩・画布	32.0×41.0
44	海老原喜之助	海と船	1927 (昭和2)	油彩・画布	45.0×60.0
48	山崎省三	海珠橋	1938 (昭和13)	油彩・画布	24.3×33.4
49	山崎省三	波	1939 (昭和14)	油彩・画布	70.2×90.8
50	山崎省三	慶鼓双岸	不詳	油彩・画布	45.5×53.0
45	鹿子木孟郎	潮の岬焼景	ca.1924 (大正13)	油彩・画布	100.0×136.0
57	南薫造	風景	不詳	油彩・画布	73.0×100.0
46	安井曾太郎	外房風景 (太海)	1932 (昭和7)	油彩・画布	34.3×42.5
47	児島善三郎	伊豆の海	不詳	油彩・画布	45.5×53.0
52	高島達四郎	網代遠望	1949 (昭和24)	油彩・画布	60.0×80.0
51	田崎廣助	太平洋	1940 (昭和15)	油彩・画布	41.0×53.0
54	深澤孝哉	熱海風景	1961 (昭和36)	油彩・画布	73.0×60.6
53	森芳雄	冬の海岸	1952 (昭和27)	油彩・画布	80.5×100.0
55	五味秀夫	黒い海	1978 (昭和53)	油彩・画布	53.0×73.0
56	田中淳	北の海	2007 (平成19)	油彩、墨・画布	130.7×194.0
58	刑部人	東尋坊海岸	不詳	油彩・画布	60.7×80.5

◆展示室6・7 島田章三

59	島田章三	花をいける(『島田章三版画集』より)	1972 (昭和47) 年	孔版、手彩色・紙	20.0×14.5
60	島田章三	猫と少女(『島田章三版画集』より)	1972 (昭和47) 年	リノカット・紙	23.0×17.0
61	島田章三	浴后(『島田章三版画集』より)	1972 (昭和47) 年	エッチング、アクアチント・紙	22.5×14.5
62	島田章三	採果(『島田章三版画集』より)	1972 (昭和47) 年	エッチング、アクアチント・紙	23.0×16.0
63	島田章三	乗馬(『島田章三版画集』より)	1972 (昭和47) 年	リトグラフ・紙	23.0×17.0
64	島田章三	海辺脱衣(『島田章三版画集』より)	1972 (昭和47) 年	リトグラフ・紙	22.0×17.0
65	島田章三	化粧	1971 (昭和46) 年	エッチング、手彩色・紙	5.2×4.2
66	島田章三	森にて	1971 (昭和46) 年	ドライポイント・紙	16.7×12.7
67	島田章三	椅子(『線で生れた女たち 島田章三版画集』より)	1975 (昭和50) 年	ドライポイント・紙	21.8×15.7
68	島田章三	盛花(『線で生れた女たち 島田章三版画集』より)	1975 (昭和50) 年	ドライポイント・紙	21.8×15.7
69	島田章三	読書(『線で生れた女たち 島田章三版画集』より)	1975 (昭和50) 年	ドライポイント・紙	21.8×15.7
70	島田章三	灯台(『線で生れた女たち 島田章三版画集』より)	1975 (昭和50) 年	ドライポイント・紙	21.8×15.7
71	島田章三	化粧(『線で生れた女たち 島田章三版画集』より)	1975 (昭和50) 年	ドライポイント・紙	21.8×15.7
72	島田章三	花の鉢(『線で生れた女たち 島田章三版画集』より)	1975 (昭和50) 年	ドライポイント・紙	21.8×15.7
73	島田章三	わなげ	1977 (昭和52) 年	油彩・画布	130.3×162.1
74	島田章三	鳥たちのエリア	1995 (平成7) 年	油彩・画布	162.1×130.3
75	島田章三	ミナトヨコスカ	2007 (平成19) 年	油彩・画布	162.0×194.0

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法 (cm)
◆展示室8 YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 往古来今／見えない泉をさまよいさがす					
	水戸部春菜	(布を用いたインスタレーション)			
	山本愛子	(絹糸を用いたインスタレーション)			
	薬王寺太一	(土器の展示)			
	折原みと	イラスト原画			

◆屋外設置作品

	若林奮	Valleys (2nd stage)	1989 (平成元)	鉄	305.0×150.0×4586.0
	高田安規子・政子	修復 (通路)	2019 (平成31)	インスタレーション	
	高田安規子・政子	修復 (中庭)	2019 (平成31)	インスタレーション	
	鈴木昭男	点音	2013 (平成25) 年	インスタレーション	

1-1-3 谷内六郎館の記録

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 影のイメージネーション

会 期	2023年4月8日(土)～7月2日(日) 開催日数84日間(休館日を除く)	
休 館 日	5月8日(月)、5月24日(水)、6月5日(月)	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主 催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	10,274	122.3

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 影のイメージーション

No.	作品名	材質・技法	寸法 (cm)	発行年月日	備考
1	ビー玉の影は昔のあそび	水彩、コラージュ・紙	40.8×29.9	1977 (昭和52) 年12月1日号	★
2	西陽 ドイツにて	水彩・厚紙	40.3×29.7	1978 (昭和53) 年4月6日号	
3	手袋も投げた失敗	水彩・厚紙	41.0×30.5	1979 (昭和54) 年2月15日号	
4	静かな燈台	水彩・厚紙	40.5×30.0	1970 (昭和45) 年7月25日号	
5	雲のかげ	水彩・紙	35.1×24.5	1959 (昭和34) 年6月22日号	
6	赤とんぼ	水彩・紙	39.0×27.5	1964 (昭和39) 年9月14日号	
7	影	水彩・厚紙	40.6×29.4	1977 (昭和52) 年8月25日号	
8	ぼたん雪の影	水彩・厚紙	41.1×30.4	1979 (昭和54) 年3月1日号	
9	夜中のトイレ行	水彩・厚紙	40.5×28.5	1969 (昭和44) 年4月5日号	
10	かげの踊り	水彩・厚紙	37.8×27.0	1960 (昭和35) 年7月18日号	★
11	葉のレントゲン	水彩・厚紙	40.3×29.0	1977 (昭和52) 年6月30日号	
12	影絵の季節	水彩・厚紙	40.8×28.0	1980 (昭和55) 年11月6日号	
13	ヤバイ 低空で見に来た	水彩・厚紙	40.9×29.5	1979 (昭和54) 年3月29日号	
14	となりの坊やの影法師	水彩・厚紙	39.1×28.0	1963 (昭和38) 年3月18日号	
15	燈台の子	水彩・厚紙	40.5×29.5	1975 (昭和50) 年9月4日号	
16	くらま天狗の出るところ	水彩・厚紙	40.5×28.5	1973 (昭和48) 年2月22日号	
17	海坊主	水彩、コラージュ・厚紙	40.5×29.3	1968 (昭和43) 年9月7日号	
18	走る雲のかげ 浜岡大砂丘にて	水彩・厚紙	41.2×29.5	1976 (昭和51) 年7月1日号	
19	パトカーの光	水彩・厚紙	40.5×29.5	1971 (昭和46) 年10月9日号	
20	秋の夜長	水彩・厚紙	37.5×27.0	1961 (昭和36) 年10月30日号	
21	車窓のフィルム	水彩・厚紙	42.0×30.5	1974 (昭和49) 年2月14日号	
22	陽ざし	水彩・厚紙	40.7×29.5	1970 (昭和45) 年11月7日号	
23	いじめっこがかくれている	水彩・厚紙	41.4×30.5	1974 (昭和49) 年10月17日号	
24	影のシロホン	水彩・厚紙	40.2×30.0	1980 (昭和55) 年5月15日号	
25	雪の影	水彩・厚紙	40.7×30.0	1976 (昭和51) 年2月5日号	
26	夜中のヘッドライト	水彩、コラージュ・厚紙	39.4×28.8	1967 (昭和42) 年9月9日号	
27	影武者	水彩・厚紙	40.0×30.0	1980 (昭和55) 年10月23日号	
28	白い土蔵の思い出	水彩・厚紙	40.4×29.5	1978 (昭和53) 年4月13日号	
29	ライトの中の幻想	水彩・厚紙	40.6×30.0	1973 (昭和48) 年10月18日号	
30	影だよ	水彩・厚紙	40.5×29.8	1966 (昭和41) 年8月14日号	
31	UFO	水彩・厚紙	40.3×30.2	1979 (昭和54) 年5月24日号	
32	夜更の踊り	水彩・厚紙	40.5×30.0	1970 (昭和45) 年7月18日号	★
33	かげふみの記憶	水彩・厚紙	39.3×28.8	1966 (昭和41) 年10月29日号	
34	かにの燈台長	水彩、コラージュ・厚紙	38.9×28.0	1966 (昭和41) 年6月25日号	
35	工事場の影	水彩・厚紙	40.6×29.0	1971 (昭和46) 年3月6日号	
36	夜行の影	水彩・厚紙	39.3×28.5	1965 (昭和40) 年12月11日号	
37	夜ふけの幻想	水彩・厚紙	39.1×27.9	1963 (昭和38) 年11月18日号	
38	レンガの町 デンマークにて	水彩・厚紙	40.7×29.5	1976 (昭和51) 年9月9日号	
39	かげに乗る子	水彩・厚紙	39.0×27.9	1963 (昭和38) 年10月7日号	
40	光の中	水彩・厚紙	38.0×26.8	1960 (昭和35) 年8月22日号	
41	冬のとんぼ	水彩・厚紙	39.1×28.3	1962 (昭和37) 年1月22日号	
42	UFOだ	水彩・厚紙	40.8×29.7	1980 (昭和55) 年8月14日号	

令和4年度新収蔵品 谷内六郎「映画タイトルバック」

43	〔雑居ビルと信号機〕	クレヨン・紙	48.5×93.7	1957-58 (昭和32-33) 年頃	根津淑子氏寄贈
44	〔カウンターバーと婦人小物〕	クレヨン、水彩・紙	48.3×93.5	1957-58 (昭和32-33) 年頃	根津淑子氏寄贈
45	〔社長と部下〕	クレヨン、水彩・紙	48.0×93.5	1957-58 (昭和32-33) 年頃	根津淑子氏寄贈
46	〔都会〕	クレヨン・紙	46.5×91.5	1957-58 (昭和32-33) 年頃	根津淑子氏寄贈
47	〔悠然たる社長と忙しい職場〕	クレヨン、水彩・紙	46.5×91.5	1957-58 (昭和32-33) 年頃	根津淑子氏寄贈
48	〔邸宅と屋台〕	クレヨン、水彩	46.5×90.5	1957-58 (昭和32-33) 年頃	根津淑子氏寄贈

* 谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

* 出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

* 作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

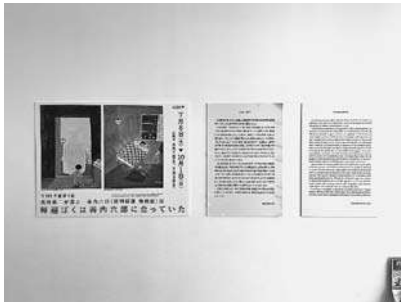
* 「発行年月日」に★をつけた号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

展覧会名

荒井良二が選ぶ 谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展
毎週ぼくは谷内六郎に会っていた

会 期	2023年7月8日(土)～10月1日(日) 開催日数84日間(休館日を除く)	
休 館 日	8月7日(月)、9月4日(月)	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主 催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	19,126	227.7

展示風景



荒井良二が選ぶ 谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 毎週ぼくは谷内六郎に会っていた

No.	作品名	技法・支持体	寸法 (cm)	発行年月日	備考
1	なまずの釣れた日	水彩・紙	31.9×22.8	1956 (昭和31) 年3月4日号	
2	春の音	水彩・紙	30.5×21.8	1956 (昭和31) 年4月8日号	
3	午後の埠頭	水彩、砂石・紙	32.0×21.5	1956 (昭和31) 年4月15日号	
4	アパートの廊下	水彩・紙	30.0×21.1	1956 (昭和31) 年4月22日号	
5	青い曲	水彩、紙・紙	29.5×20.7	1956 (昭和31) 年6月26日号	
6	窓の中の月	水彩・紙	31.9×22.4	1956 (昭和31) 年10月15日号	
7	歸り道	水彩・紙	27.7×19.6	1957 (昭和32) 年5月20日号	
8	はじまり	水彩・紙	32.1×21.9	1957 (昭和32) 年4月8日号	
9	雨の波止場	水彩・紙	33.3×22.7	1957 (昭和32) 年6月3日号	
10	ひぐらし	水彩・紙	31.1×21.2	1957 (昭和32) 年8月5日号	
11	朝	水彩・厚紙	38.5×26.8	1959 (昭和34) 年12月21日号	
12	みかん岬	水彩・紙	30.5×39.4	1958 (昭和33) 年6月9日号	
13	夜の蝶	水彩・紙	28.3×20.0	1957 (昭和32) 年8月19日号	
14	雨の道路	水彩・紙	41.4×30.6	1958 (昭和33) 年7月7日号	
15	雲のまつ毛 波のまつ毛	水彩・紙	29.5×20.2	1958 (昭和33) 年9月29日号	
16	夜の果実店	水彩・紙	31.4×22.0	1958 (昭和33) 年12月22日号	
17	熔接の光	水彩、紙、砂石・厚紙	34.6×25.0	1959 (昭和34) 年5月18日号	
18	夜の公衆電話	水彩・厚紙	39.5×27.6	1959 (昭和34) 年11月16日号	
19	停電小僧	水彩・厚紙	38.0×26.8	1960 (昭和35) 年8月15日号	
20	みかんの灯る晩 (2枚組)	水彩・厚紙	38.0×28.0	1960 (昭和35) 年2月29日号	
21	早いお客	水彩・厚紙	39.5×28.0	1962 (昭和37) 年7月16日号	
22	月光の曲	水彩・厚紙	38.7×27.5	1962 (昭和37) 年10月1日号	
23	空にのぼった櫻貝	水彩・厚紙	38.5×27.6	1963 (昭和38) 年7月29日号	
24	夜ふけの幻想	水彩・厚紙	39.1×27.9	1963 (昭和38) 年11月18日号	
25	迷い子になった夢	水彩・厚紙	39.3×28.4	1964 (昭和39) 年4月13日号	
26	あわてる子	水彩・厚紙	39.0×27.8	1964 (昭和39) 年7月27日号	
27	小さな遊園地	水彩・厚紙	39.4×27.4	1965 (昭和40) 年10月9日号	
28	水底	水彩、紙、毛・厚紙	39.1×28.4	1966 (昭和41) 年7月2日号	
29	コオロギ忍者が笛を吹く	水彩・厚紙	39.3×29.0	1966 (昭和41) 年9月17日号	
30	陽なたの夢	水彩・厚紙	39.0×29.0	1967 (昭和42) 年3月25日号	★
31	霧のミルクも来てた	水彩・厚紙	40.7×29.3	1970 (昭和45) 年4月11日号	★
32	泳ぎすぎた夜	水彩・厚紙	40.5×29.8	1970 (昭和45) 年8月29日号	
33	夜中のヘッドライト	水彩、紙・厚紙	39.4×28.8	1967 (昭和42) 年9月9日号	
34	炎	水彩・厚紙	39.0×28.0	1967 (昭和42) 年12月2日号	
35	天井の記憶	水彩・厚紙	39.0×28.5	1968 (昭和43) 年4月13日号	★
36	こずえの音	水彩・厚紙	41.5×28.5	1968 (昭和43) 年11月30日号	★
37	夢の中の道	水彩・厚紙	40.7×28.8	1969 (昭和44) 年10月11日号	
38	光の戦争	水彩・厚紙	40.5×29.0	1969 (昭和44) 年12月12日号	
39	工事場の影	水彩・厚紙	40.6×29.0	1971 (昭和46) 年3月6日号	
40	小さなミステリー	水彩・厚紙	40.6×29.1	1971 (昭和46) 年6月5日号	
41	あッ見つかった	水彩・厚紙	40.7×29.5	1971 (昭和46) 年9月4日号	
42	秋の宿	水彩・厚紙	40.3×30.0	1976 (昭和51) 年10月7日号	
43	犬が沢山吠える夜	水彩・厚紙	40.8×30.0	1972 (昭和47) 年2月19日号	
44	霧笛の音はふるえる	水彩・厚紙	40.5×29.5	1973 (昭和48) 年3月15日号	
45	船の子のクリスマス	水彩・厚紙	40.5×29.8	1977 (昭和52) 年12月22・29日号	
46	西陽 ドイツにて	水彩・厚紙	40.3×29.7	1978 (昭和53) 年4月6日号	
47	風の日 木立の影	水彩・厚紙	40.4×29.6	1978 (昭和53) 年10月26日号	
48	大きな時計の記憶	水彩・厚紙	40.2×30.4	1980 (昭和55) 年4月17日号	
49	虹のうつすカラー映画 オアフ島にて	水彩・厚紙	41.0×29.0	1980 (昭和55) 年4月24日号	

*谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

*出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

*作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

*「発行年月日」に★をつけた号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 建物いろいろ

会 期	2023年10月7日(土)～12月24日(日) 開催日数77日間(休館日を除く)	
休 館 日	11月6日(月)、12月4日(月)	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円 ※11月3日(金・祝)は無料観覧日	
主 催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	12,342	160.3

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 建物いろいろ

No.	作品名	技法・支持体	寸法 (cm)	発行年月日	備考
1	秋の陽ざし	水彩・紙	30.5×21.5	1957 (S32) 年9月30日号	
2	たまには降りて押してよ	水彩・厚紙	40.8×28.7	1969 (S44) 年6月21日号	
3	迷った町の知らない子	水彩・厚紙	40.5×29.8	1971 (S46) 年11月13日号	
4	古い家	ろうけつ染、着色・布	39.0×27.7	1965 (S40) 年4月12日号	
5	陽	水彩、筆の毛・厚紙	39.0×29.0	1966 (S41) 年12月17日号	
6	みかん場に陽が残る	水彩・厚紙	41.8×30.5	1973 (S48) 年12月6日号	
7	雪の迷い子	水彩・厚紙	39.0×28.4	1965 (S40) 年12月18日号	
8	海辺早春	水彩・厚紙	39.5×28.8	1966 (S41) 年2月12日号	
9	まつりのある町	水彩・厚紙	36.0×26.0	1961 (S36) 年9月11日号	
10	雲の父さん 酒屋の上	水彩・厚紙	39.0×27.2	1965 (S40) 年5月22日号	
11	光りの踊り	水彩・厚紙	39.3×28.5	1962 (S37) 年4月16日号	
12	バンガロー	水彩・厚紙	40.5×30.0	1970 (S45) 年6月20日号	
13	赤い電燈	水彩・厚紙	40.5×28.5	1969 (S44) 年6月28日号	
14	だあれもない変電所	水彩・厚紙	40.7×29.7	1969 (S44) 年9月20日号	
15	UFOと宇宙人が出る場所	水彩・厚紙	43.0×30.3	1975 (S50) 年6月19日号	
16	月の思い出	水彩・紙	38.2×27.3	1959 (S34) 年10月5日号	
17	アイスクリームの風	水彩・厚紙	37.3×26.5	1960 (S35) 年12月19日号	★
18	赤とんぼ	水彩・紙	39.0×27.5	1964 (S39) 年9月14日号	
19	静かな燈台	水彩・厚紙	40.5×30.0	1970 (S45) 年7月25日号	
20	静かな水族館	水彩・厚紙	40.5×29.0	1971 (S46) 年4月17日号	
21	とくい気なからす	水彩、筆の毛・厚紙	39.0×29.2	1966 (S41) 年11月26日号	
22	工場にいた魚	水彩・厚紙	34.3×24.8	1959 (S34) 年6月1日号	
23	西洋の記憶	水彩・厚紙	42.0×30.4	1974 (S49) 年5月16日号	
24	教会の坂道	水彩・紙	28.0×19.5	1957 (S32) 年11月11日号	
25	はじまるよ	水彩・厚紙	38.4×27.4	1960 (S35) 年7月4日号	
26	大失敗	水彩・厚紙	39.0×28.6	1966 (S41) 年2月26日号	
27	スズメの椅子	水彩・厚紙	39.0×28.7	1966 (S41) 年2月19日号	
28	芸術の秋	水彩・厚紙	41.0×29.4	1970 (S45) 年10月24日号	
29	雨の日は光の子が騒ぐ	水彩・厚紙	39.0×27.5	1962 (S37) 年10月15日号	
30	赤い雪 青い雪	水彩・厚紙	39.0×28.0	1964 (S39) 年1月27日号	
31	空にのぼった看板	ろうけつ染、着色・布	41.8×29.7	1972 (S47) 年7月15日号	
32	かえてきたボール	水彩・厚紙	40.5×30.3	1972 (S47) 年3月11日号	
33	キツツキ	水彩・厚紙	40.9×29.5	1971 (S46) 年10月23日号	
34	かま場の子	ろうけつ染、着色・布	41.0×30.0	1973 (S48) 年6月7日号	
35	コオロギもフイゴふく	水彩・厚紙	39.0×27.7	1963 (S38) 年9月23日号	
36	絵馬の悲しみ	水彩・厚紙	37.5×26.1	1960 (S35) 年2月8日号	★
37	蝶のいる場所	水彩・厚紙	39.0×29.0	1967 (S42) 年5月13日号	
38	江戸時代からある家	水彩・厚紙	40.5×29.7	1971 (S46) 年8月21日号	
39	陽なたの夢	水彩・厚紙	40.6×30.3	1976 (S51) 年1月8・15日合併号	
40	奈良	水彩・紙	31.2×23.1	1959 (S34) 年2月2日号	
41	夜明け 空は眠り外燈が起きてる パリにて	水彩・厚紙	42.8×29.3	1976 (S51) 年5月27日号	
42	西陽とガラス看板 パリにて	水彩・厚紙	40.6×29.8	1978 (S53) 年9月7日号	
43	ブリキの一番星 ドイツにて	水彩・厚紙	42.9×29.4	1975 (S50) 年9月25日号	★
44	波のライト ベニスにて	水彩・厚紙	41.4×30.3	1975 (S50) 年11月6日号	
45	陽のライト デンマークにて	水彩・厚紙	41.7×29.8	1979 (S54) 年8月2日号	
46	煙のわっか デンマークにて	水彩・厚紙	41.0×29.4	1976 (S51) 年7月8日号	★
47	古い城の話 スウェーデンにて	水彩・厚紙	40.4×29.6	1977 (S52) 年5月19日号	
48	ランプの中にだけ星があるの 白夜のスウェーデンにて	水彩・厚紙	41.3×29.8	1975 (S50) 年9月11日号	
49	風車のような花 スウェーデンにて	水彩・厚紙	41.0×29.8	1976 (S51) 年9月30日号	
50	わらぶきの家 スウェーデンにて	水彩・厚紙	42.5×29.8	1977 (S52) 年9月8日号	

*特に記載のない谷内六郎表紙絵作品は横須賀美術館所蔵です。
 *出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。
 *パネル内の誤字脱字は当時のままとしてあります。
 *リストに★のついた『週刊新潮』をケース内に展示しています。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 ずっとともだち

会 期	2024年1月6日(土)～3月31日(日) 開催日数83日間(休館日を除く)	
休 館 日	2024年1月9日(月)、2月5日(月)、3月4日(月)	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円 ※2月18日(日)は無料観覧日	
主 催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	16,894	203.5

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 ずっとともだち

No.	作 品 名	技法・支持体	寸法 (cm)	発行年月日	備考
1	記念写真	水彩・紙	31.5×22.5	1957 (昭和32) 年2月25日号	
2	遠足	水彩・紙	32.9×22.9	1958 (昭和33) 年5月5日号	
3	遠足	水彩・厚紙	39.2×27.4	1962 (昭和37) 年4月30日号	
4	みんな待って、	水彩・厚紙	40.5×29.6	1970 (昭和45) 年5月16日号	
5	遠足	水彩・厚紙	40.3×28.4	1960 (昭和35) 年4月4日号	
6	山間電車 緑の光も満員	水彩・厚紙	40.7×30.0	1976 (昭和51) 年5月13日号	
7	あの船はどこか生徒	水彩・厚紙	39.3×27.5	1962 (昭和37) 年11月26日号	
8	島も走る	水彩・厚紙	40.8×30.1	1976 (昭和51) 年4月22日号	
9	夏の音	水彩・厚紙	36.2×25.6	1959 (昭和34) 年8月10日号	
10	はじまるよ	水彩・厚紙	38.4×27.4	1960 (昭和35) 年7月4日号	
11	屋外映画は流れ星がうつしたの	水彩・厚紙	41.5×30.4	1974 (昭和49) 年7月18日号	
12	店先	水彩・厚紙	39.4×28.0	1964 (昭和39) 年8月10日号	
13	かげ	水彩・紙	27.9×19.8	1956 (昭和31) 年5月15日号	
14	雨後	水彩、砂など・紙	32.5×21.7	1956 (昭和31) 年6月5日号	
15	なわとび	水彩・紙	32.3×22.5	1956 (昭和31) 年9月17日号	
16	炭やさん	水彩・厚紙	30.8×21.2	1956 (昭和31) 年12月31日号	
17	かくれんぼの記憶	水彩・厚紙	39.0×27.5	1963 (昭和38) 年5月20日号	
18	かげふみの記憶	水彩・厚紙	39.3×28.8	1966 (昭和41) 年10月29日号	
19	海辺早春	水彩・厚紙	39.5×28.8	1966 (昭和41) 年2月12日号	
20	太鼓の音	水彩・厚紙	39.3×28.0	1962 (昭和37) 年1月15日号	
21	たりないカルタ	水彩・厚紙	39.0×28.0	1965 (昭和40) 年1月18日号	
22	小さな劇場	水彩・厚紙	39.2×27.7	1963 (昭和38) 年4月15日号	
23	はだしのお客は誰かしら	水彩・厚紙	39.0×27.8	1963 (昭和38) 年9月16日号	
24	おひなさま	水彩・紙	30.5×21.6	1958 (昭和33) 年3月3日号	★
25	本番3時間前	水彩・厚紙	39.3×28.0	1963 (昭和38) 年7月15日号	
26	おいしい宿題	水彩・厚紙	42.0×30.0	1970 (昭和45) 年4月25日号	
27	忍者のワッペン	水彩・厚紙	39.0×27.0	1965 (昭和40) 年5月3日号	
28	ボール拾い係	水彩・厚紙	39.2×28.7	1966 (昭和41) 年4月9日号	
29	試合中止	水彩・厚紙	39.2×28.5	1967 (昭和42) 年2月4日号	★
30	ぬすみぎき	水彩・厚紙	39.3×29.0	1967 (昭和42) 年10月14日号	
31	火星人だ	水彩・厚紙	40.5×29.5	1971 (昭和46) 年9月25日号	
32	おどかすつもりがコワクなる	水彩・厚紙	40.6×29.5	1977 (昭和52) 年9月1日号	
33	いじめっこがかくれている	水彩・厚紙	41.4×30.5	1974 (昭和49) 年10月17日号	
34	みの虫のお家	水彩・紙	38.0×27.2	1959 (昭和34) 年10月26日号	
35	陽なたぼっこ	水彩・厚紙	37.7×27.0	1960 (昭和35) 年12月12日号	
36	陽なたと共に登る	水彩・厚紙	40.6×28.6	1970 (昭和45) 年11月21日号	
37	雀も子供も寒い朝	水彩・厚紙	39.5×28.0	1963 (昭和38) 年12月9日号	
38	霜の朝	水彩・厚紙	39.3×29.5	1963 (昭和38) 年2月4日号	
39	会議場	水彩・厚紙	41.3×29.7	1981 (昭和56) 年2月26日号	
40	人形のリフト	水彩・厚紙	39.5×27.8	1965 (昭和40) 年1月25日号	★
41	アメリカ生まれのミルクのみ	水彩・紙	29.3×21.0	1957 (昭和32) 年5月27日号	
42	金髪の子	水彩・紙	34.0×24.0	1958 (昭和33) 年4月21日号	
43	冬の蝶	水彩、鉛筆・厚紙	38.2×27.5	1960 (昭和35) 年2月1日号	
44	女学生	水彩・厚紙	37.0×24.6	1958 (昭和33) 年12月8日号	
45	団地の秋	水彩・厚紙	37.5×27.8	1961 (昭和36) 年10月9日号	
46	貨車もゆびきり別れ道	水彩・厚紙	37.0×28.0	1961 (昭和36) 年11月27日号	
47	雪と一緒に来た子	水彩・厚紙	39.0×27.7	1963 (昭和38) 年11月4日号	
48	越して来た子	水彩・厚紙	41.5×29.0	1968 (昭和43) 年11月23日号	
49	引越してってしまった子	水彩・厚紙	39.4×28.0	1963 (昭和38) 年4月1日号	
50	就職 島もテーブルふってる	水彩・厚紙	41.8×29.6	1970 (昭和45) 年4月18日号	

*谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

*出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

*作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

*★のある号および、1967 (昭和42) 年1月7日号 (《新年》) の「週刊新潮」をケース内に展示しています。

1-2 教育普及事業

横須賀美術館令和5年度教育普及事業および関連するその他の事業について、下記の分類に基づき掲載する。

- 1-2-1 展覧会関連の教育普及事業
- 1-2-2 単独の教育普及事業
- 1-2-3 学校等との連携
- 1-2-5 教育普及に関連するその他の事業

凡例) 場所/A:展示室、B:ワークショップ室、C:エントランスホール、D:海の広場、
E:山の広場、F:オンライン(ZOOM)、G:オンライン(Youtube)、H:オンライン(SNS)、
I:情報スペース
参加方法/a. 当日自由参加、b. 当日先着制、c. 事前申込制
参加料/※印:要観覧券

1-2-1 展覧会関連の教育普及事業(展覧会ごと)

展覧会名 没後40年 朝井閑右衛門展

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	出演者	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 5月5日(金・祝)	13:00～ 15:00	ワークショップ 「ビーズ刺繍のプローチ づくり」	洋輔 (手芸家・NHK Eテ レ「すてきにハンド メイド」司会)	B	18	中学生以 上	6,600円	c
2	2023年 5月14日(日)	14:00～ 15:00	講演会 「めくるめき田浦の時代」	原田光 (美術史家)	B	22	一般	無料※	c
3	2023年 ①5月20日(土) ②6月3日(土)	14:00～ 14:40	学芸員によるギャラリー トーク	当館学芸員	A	①10 ②10	一般	無料※	a
4	2023年 6月11日(日)	18:30～ 20:00	コンサート 「中世・ルネサンス音楽会」 カテリーナ古楽合奏団	〈カテリーナ古楽 合奏団〉 松本雅隆:ハーディ ガーディ、クルム ホルン、バグパイ プ 他 上野哲生:ブサルテ リウム、サントウ ル、リュート 他 斉藤和久:フィーデ ル、ヴィオラ、ダ ガンバ 他 松本更紗:ヴィオラ、 ダガンバ、レベッ ク、踊り 他 蔡怡雄:トンバク、 ダルブッカ、ダフ、 中世ドラム 他	A	52	一般	3,000円	c

展覧会名 new born 荒井良二

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	出演者・講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 6月24日(土)、 25日(日)	各日 13:00～ 18:00	荒井良二展ワークショッ プ&アーティストサポート 荒井良二と「物語を汲み 出す」2日間	荒井良二 (出品作家・アーテ ィスト、絵本作家) 宮本武典 (キュレーター、東京 藝術大学准教授)	A	23	高校生 以上	無料	c
2	2023年 7月1日(土)	18:30～ 20:00	LIVE & PAINTING 荒井良二と野村誠の「横 須賀じゃあにいい・出航」	荒井良二 (出品作家・アーテ ィスト、絵本作家) 野村誠(作曲家)	A	40	一般	1,500円	c

展覧会名 **ロイヤル コペンハーゲンと北欧デザインの煌めき**

No.	公開日	時間	タイトル	出演者	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 9月24日(日)	14:00 ~ 15:30	講演会「ロイヤル コペンハーゲン ビング オーグレンダール」	塩川博義 (日本大学教授、コレクター)	B	35	一般	無料※	c
2	2023年 9月30日(土)	①10:00 ~ 12:30 ②14:00 ~ 16:30	ワークショップ 「ポーセラーツで描く! 夢のうつわ」	各務有香 (白金ポーセラーツサロン・品川教室主宰)	B	24	一般	3,000円	c
3	2023年 ①10月7日(土) ②10月21日(土)	14:00 ~ 14:40	学芸員によるギャラリートーク	当館学芸員	A	①12 ②15	一般	無料※	b

展覧会名 **となりの国の絵本 躍動する韓国イラストレーションの世界**

No.	日にち	時間	タイトル	出演者	場所・公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 11月18日(土)	14:00 ~ 15:00	音楽とダンスと絵本で楽しむ韓国フェス@横須賀美術館 第1回 「日韓の音楽家によるクラシックコンサート」	〈神奈川県韓国総合教育院招聘音楽家〉 声楽:ベ・ウンギョン、ベ・ウンヨン、パク・ソンビン ピアノ:イ・ボンジン、イ・サン Chol ヴァイオリン:チェ・フェジョン 〈横須賀の音楽家〉 声楽:下園理恵、宮本史利 ピアノ:高梨壮一郎 ヴァイオリン:永田美智子 チェロ:安藤葉月	C	147	どなたでも	無料	a
2	2023年 11月19日(日)	14:00 ~ 15:30	スッキョン先生の韓国語講座「絵本のリズムで学ぶ韓国語」	新井淑慶 (韓国語講師、通訳、翻訳家)	B	13	高校生以上	1,500円	c
3	2023年 12月2日(土)	14:00 ~ 15:30	読書会:読んで語ろう! CHEKCCORIプロデュース 「わたなべなおこの“出張” クリムチェクイヤギ」	わたなべなおこ (翻訳家、絵本ナビゲーター)	B	15	小学4年生以上	1,500円	c
4	2023年 12月17日(日)	①13:00 ~ 13:30 ②14:30 ~ 15:00	音楽とダンスと絵本で楽しむ韓国フェス@横須賀美術館 第2回 「高校生ステージ:Kpopカバーダンスと絵本『大きくなった!』の韓国語による朗読」	横須賀市立横須賀総合高等学校ダンス部、同演劇部(絵本朗読韓国語指導:新井淑慶)	A	95	どなたでも	無料	a

展覧会名 **日本の巨大ロボット群像**

No.	日にち	時間	タイトル	出演者・講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 2月23日(金・祝)	①11:00 ~ 12:00 ②14:00 ~ 15:00	特別対談 宮武一貴×石渡マコト	宮武一貴 (スタジオぬえ)、 石渡マコト (ニトロプラス)	B	①74 ②66	一般	無料※	c

展覧会名 令和5年度第1期所蔵品展「特集：新収蔵品展」

No.	日にち	時間	タイトル	出演者・講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 5月20日(土)	10:30～ 12:30	子ども向けワークショップ 「日本画の絵具や墨で三 浦半島の植物を描こう！」	内田あぐり (日本画家)	B	13	小学生～ 高校生	1,000円	c

展覧会名 谷内六郎館

No.	日にち	時間	タイトル	出演者・講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 7月30日(日)	14:00～ 15:00	トークイベント「横須賀 美術館で辿るもう一つの “6×8コンビ”の名曲」 ここでしか聞けない 中村八大×谷内六郎“遠 い日の歌”エピソード	中村力丸(中村八 大長男、㈱八大コー ポレーション代表取 締役)、谷内広美 (谷内六郎長女)、 濱田高志(アンソ ロジスト)	B	46	一般	無料※	c

展覧会名 令和5年度第4期所蔵品展「YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU」

No.	日にち	時間	タイトル	出演者・講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 2月18日(日)	14:00～ 16:30	植物の色と脈をなぞって 自然科学と美術であそ ぶ バンドルダイ・ドロ ーイング・ワークショップ 水戸部春菜×横須賀美 術館	水戸部春菜 (美術家)	B	18	小学 5年生 以上	1,500円	c
2	2024年 2月24日(土)	14:00～ 15:00	アーティストトーク： 折原みと	折原みと (漫画家・小説家)	A	35	一般	無料※	a
3	2024年 2月25日(日)	14:00～ 16:30	パフォーマンストーク： 薬王寺太一×山本愛子 ×水戸部春菜	薬王寺太一(陶 芸家・土器作家)、 山本愛子(美術 家)、水戸部春菜 (美術家)	A, B	60	一般	無料※	a

1-2-2 単独開催の教育普及事業

◆ワークショップ

No.	開催日 公開時期	時間	タイトル	講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 7月23日(日)	①11:00 ～12:00 ②14:00 ～16:00	オトナ・ワークショップ 「ガラスのおさらをつくり ましょう」	935硝子堂 (ガラス職人)	B	20	18歳以上	5,000円	c
2	2023年 11月23日(木・祝)	①10:00 ～12:00 ②14:00 ～16:00	おやこワークショップ 「干支の絵付け教室(辰)」	五十嵐祐輔 (張子人形職人)	B	22	小学生以上の 親子	2,000円	c
3	2024年 3月3日(日)	①10:30 ～12:30 ②14:00 ～16:00	こどもワークショップ 「版画でカバン」	オガサワラマサコ (造形作家)	B	17	小学生	500円	c
4	2024年 3月10日(日)	11:00～ 16:00	オトナ・ワークショップ 「九谷焼大皿絵付け」	伊藤由紀子 (陶芸家)	B	14	18歳以上	6,000円	c

◆福祉関連事業

No.	開催日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 5月6日(土)	①10:15 ～12:15 ②14:00 ～16:00	アートに触れる鑑賞プロ グラム "スカビでおしゃべ り"「絵からひろがる初夏 の香り」	大高幸 (アート・エドゥケー ター) 協力: 吉武利文 (香りのデザイン研究 所)	B	14	小学生以上 (視覚障害 者含む)	無料※	c
2	2023年 ①11月10日(金) ②11月11日(土)	10:00～ 15:00の 間の2時 間程度	福祉とアートが出あうとき 「みんなでつくる ぶらぶ らゆらゆらガーランド」	HAD DESIGN (デザインユニット)	B	①35 ②49	障害のある方 が利用する施 設や団体(支援 施設・作業所・ 放課後デイベ リスなど)、障 害のある方を含 む家族(個人)	無料	c

◆障害児者ワークショップ みんなのアトリエ2023

No.	開催日	時間	タイトル	講師	公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 6月17日(土)	14:00～ 15:00	ハットするハット!〈紙をつかった造形活動〉	後藤敦史 (造形作家)	B	17	個別支援学級や特別支援学校などに通う障害のある子ども、きょうだいや保護者	無料	c
2	2023年 7月15日(土)	14:00～ 15:00	手で読む絵本をつくろう	ゆにここ (現代美術作家)	B	13			
3	2023年 8月19日(土)	14:00～ 15:00	えのぐのえ!〈絵具をつかった造形活動〉	後藤敦史 (造形作家)	B	28			
4	2023年 9月16日(土)	14:00～ 15:00	ヒラヒラルームへようこそ 〈ビニール紐をつかった造形活動〉	後藤敦史 (造形作家)	B	28			
5	2023年 10月21日(土)	14:00～ 15:30	くんくんラボ・秋～季節 のにおいを集めよう～	井上尚子(美術家)	B	18			
6	2023年 12月16日(土)	14:00～ 15:00	さわって楽しい ワクワク BOXをつくろう	ゆにここ (現代美術作家)	B	11			
7	2024年 1月20日(土)	14:00～ 15:00	おもしろ楽器で演奏会 〈箱などをつかった造形活動〉	後藤敦史 (造形作家)	B	13			
8	2024年 2月17日(土)	14:00～ 15:00	スポンジロボ誕生!〈スポンジをつかった造形活動〉	後藤敦史 (造形作家)	B	14			
9	2024年 3月16日(土)	14:00～ 15:00	くんくんラボ・春～季節 のにおいを集めよう～	井上尚子(美術家)	B	14			

◆その他

No.	開催日	時間	タイトル	講師・担当	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 7月28日(金)	13:00～ 14:00	中学生のための美術鑑賞教室2023 「特別講座 アートの最前線から」	齋藤精一(パノラマテイクス主宰)	B	33	中学生 (保護者も参加可)	無料※	c
2	2023年 8月11日(金・祝)、 8月12日(土)、8月13日(日)、8月14日(月)、8月15日(火)	各日 13:30～ 14:00	中学生のための美術鑑賞教室2023	当館学芸員	I	36	中学生 (保護者も参加可)	無料	a
3	2023年 8月21日(月)	13:30～ 16:30	横須賀美術館における 県立総合教育センター研修講座 「アートを通じたインクルーシブな授業づくり」 (神奈川県ともいきアートサポート事業)	ドゥイ (造形ユニット)	B	19	神奈川県内の特別支援教育に関わる教員等	無料	c
4	2023年 ①11月4日(土) ②11月5日(日)	10:00～ 15:00	KOYARTプロジェクト ～小屋とアートと地域の新鮮野菜に出会う～	koyart実行委員会 協力:横須賀市経済部農水産業振興課	D		どなたでも	無料 (各店舗で支払)	a

ボランティアイベント (美術館ボランティアすかび隊企画)

No.	開催日・公開時期	時間	タイトル	講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 4月30日(日)	①10:00 ～11:00 ②11:30 ～12:30 ③13:30 ～14:30	すかび隊16周年記念 「ダンボール1616 (いろいろ) ～ダンボール箱にお 絵かき」 ※ダンボール1616は雨天 のため中止		B	59	どなたでも	無料	c
2	2023年 10月15日(日)	①10:00 ～11:30 ②12:30 ～14:00 ③14:30 ～16:00	「ダンボール1616 (いろいろ) ～ダンボールタイル デコレーション」 ※ダンボール1616は雨天 のため中止		B	80	どなたでも	無料	c
3	2023年 12月10日(日)	①10:00 ～11:30 ②13:00 ～14:30 ③15:00 ～16:30 点灯式 17:00	海の広場のメリークリ スマス2023 「光る雪だるまをつくろ う!」		B、D	106	どなたでも	無料	c

シネマパーティー

No.	開催日・公開日	時間	タイトル	企画・出演	場所・公開場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2023年 ①8月26日(土) ②8月27日(日)	18:45～ 20:15	野外シネマパーティー 2023『劇場版 ムーミン 谷の彗星』	キノ・イグルー (移動映画館)	D	①290 ②257	どなたでも	無料	a
2	2024年 ①2月3日(土) ②2月4日(日)	18:00～ 20:15	冬のシネマパーティー 2024 in 横須賀美術館 『パブリック 図書館の奇 跡』	キノ・イグルー (移 動映画館)、トサカ ンムリフーズ(ケー タリング)	C	①32 ②30	どなたでも	2,000円 (フード代)	c

1-2-3 学校等との連携

横須賀美術館では、2007年（平成19年）の開館当初から、教育普及活動の一環として、学校連携の取り組みを積極的にすすめている。以下に、市立小・中学校をはじめとする学校等を対象とした事業について記載する。

令和6年度は小学校鑑賞会で学芸員、ボランティアによる引率を行った。学芸員によるガイダンスは行わず、教員による事前下見と来館前の事前学習（YouTube動画の視聴）で対応した。

◆小学生美術鑑賞会の受け入れ（平成19年度からの継続事業）

【内容】学芸員によるガイダンス、館内案内およびワークシートを用いた補助プログラムほか、鑑賞の前に、児童・生徒向けパンフレットを配付し鑑賞マナーについて啓発を行なう。平成20年度から始めたボランティアと学芸員との連携による児童の誘導および展示室での対話鑑賞に取り組む。

実施状況

No.	実施日	来館時間	学校名	クラス数	児童数(人)	教諭数(人)	合計(人)
1	2023年9月1日(金)	10:00～11:45	望洋小学校	2	48	2	50
2	2023年9月1日(金)	12:10～13:30	沢山小学校	1	18	3	21
3	2023年9月19日(火)	13:25～14:55	走水小学校	1	8	1	9
4	2023年9月21日(木)	13:00～14:30	北下浦小学校	2	46	4	50
5	2023年10月11日(水)	10:30～12:00	夏島小学校	2	56	4	60
6	2023年10月24日(火)	13:00～14:30	豊島小学校	2	56	3	59
7	2023年11月2日(金)	①10:30～12:00 ②12:30～14:00	浦郷小学校	5	157	7	164
8	2023年11月21日(火)	10:00～11:30	森崎小学校	4	116	6	122
9	2023年11月21日(火)	13:00～14:30	浦賀小学校	2	65	2	67
10	2023年11月24日(金)	13:00～14:30	大塚台小学校	2	72	4	76
11	2023年11月28日(火)	10:00～11:30	船越小学校	2	79	4	83
12	2023年11月30日(金)	13:00～14:30	城北小学校	2	81	4	85
13	2023年12月1日(金)	13:00～14:30	田戸小学校	3	86	5	91
14	2023年12月13日(水)	13:00～14:30	神明小学校	2	69	4	73
15	2023年12月14日(木)	10:00～11:30	明浜小学校	3	85	5	90
16	2023年12月14日(木)	13:00～14:30	鶴久保小学校	3	108	5	113
17	2023年12月15日(金)	13:00～14:30	公郷小学校	3	105	4	109
18	2023年12月19日(火)	10:00～11:30	諏訪小学校	2	53	4	57
19	2023年12月19日(火)	13:00～14:30	山崎小学校	2	63	4	67
20	2023年12月21日(木)	13:30～15:00	池上小学校	3	103	5	108
21	2024年1月11日(木)	10:00～11:30	野比東小学校	2	73	4	77
22	2024年1月11日(木)	13:20～14:40	富士見小学校	1	40	3	43
23	2024年1月12日(金)	10:00～11:30	荻野小学校	1	26	2	28
24	2024年1月15日(月)	10:00～11:00	長井小学校	2	48	4	52
25	2024年1月15日(月)	13:00～14:30	大矢部小学校	2	49	4	53
26	2024年1月16日(火)	10:00～11:30	馬堀小学校	2	46	4	50
27	2024年1月16日(火)	13:30～14:30	長浦小学校	1	17	2	19
28	2024年1月17日(水)	13:30～15:00	鷹取小学校	2	56	4	60
29	2024年1月18日(木)	10:00～11:30	久里浜小学校	3	93	5	98
30	2024年1月18日(木)	13:00～14:30	小原台小学校	2	77	3	80
31	2024年1月19日(金)	10:00～11:25	ろう学校	6	8	12	20
32	2024年1月19日(金)	10:00～11:30	桜小学校	2	51	4	55
33	2024年1月19日(金)	13:00～14:00	野比小学校	2	69	4	73
34	2024年1月22日(月)	13:00～15:00	衣笠小学校	2	79	4	83
35	2024年1月23日(火)	10:00～11:30	津久井小学校	2	69	3	72
36	2024年1月23日(火)	13:00～14:30	岩戸小学校	2	54	4	58
37	2024年1月24日(水)	10:00～11:30	追浜小学校	1	13	2	15
38	2024年1月24日(水)	13:10～14:30	大津小学校	2	76	3	79
39	2024年1月25日(木)	10:00～11:30	鴨居小学校	2	73	3	76
40	2024年1月25日(木)	13:00～14:15	高坂小学校	2	62	3	65
41	2024年1月26日(金)	10:00～11:30	武山小学校	2	76	4	80
42	2024年1月26日(金)	13:00～14:30	田浦小学校	1	24	3	27
43	2024年1月29日(月)	10:10～11:10	逸見小学校	1	14	2	16
44	2024年1月29日(金)	13:00～14:30	根岸小学校	3	89	5	94
45	2024年2月16日(金)	10:00～11:20	栗田小学校	2	48	4	52
46	2024年2月16日(金)	12:30～14:30	大楠小学校	3	90	5	95
47	2024年2月22日(木)	13:15～14:45	汐入小学校	1	20	3	23
合計				102	2,914	183	3,097

◆第76回児童生徒造形作品展団体来館（小学生美術鑑賞会以外）

No.	実施日	来館時間	学校名	生徒数(人)	教諭数(人)	合計(人)
1	2024年1月15日(月)	10:00～12:30	久里浜相談教室	3	3	6
2	2024年1月16日(火)	10:15～11:30	横須賀幼稚園(年少)	30	5	35
3	2024年1月16日(火)	12:00～14:00	川崎市立田島小学校4年	70	5	75
4	2024年1月17日(水)	10:00～11:30	市立養護学校(中学部1、2年)	5	8	13
5	2024年1月18日(木)	11:00～11:30	鴨居小学校5年	50	2	52
6	2024年1月19日(金)	10:00～11:30	市立養護学校(中学部3年)	8	9	17
7	2024年1月19日(金)	10:15～11:30	横須賀幼稚園(年中)	44	6	50
8	2024年1月19日(金)	10:40～11:30	走水小学校1、2、3、4年	19	4	23
9	2024年1月19日(金)	14:15～15:00	走水小学校5、6年	11	2	13
10	2024年1月22日(水)	10:00～11:30	鴨居小学校3年	42	4	46
11	2024年1月22日(水)	10:15～11:30	横須賀幼稚園(年長)	32	6	38
12	2024年1月22日(水)	10:30～11:30	うわまち幼稚園	56	10	66
13	2024年1月24日(水)	10:35～11:30	鴨居小学校1年	32	3	11
合計				402	67	445

◆その他の学校等対応（ガイダンスその他の鑑賞支援を実施した学校等）

No.	実施日	来館時間	学校名	生徒数(人)	教諭数(人)	合計(人)
1	2023年5月25日(木)	10:30～12:30	都立矢口特別支援学校(中学部2年)	29	15	44
2	2023年5月26日(金)	13:00～14:00	横浜市立大道小学校5年	51	7	58
3	2023年9月26日(火)	10:20～13:50	横須賀市立養護学校(小1～3年)	11	15	26
4	2023年11月28日(火)	10:15～14:20	聖坂支援学校(高等部専攻科1年)	8	5	13
5	2023年12月20日(金)	10:20～11:30	横須賀市立養護学校(小4～6年)	14	18	32
合計				113	60	173

◆保育園鑑賞会

平成24年度から、保育課との連携により、市立保育園の年中・年長児に対する鑑賞支援活動を始めた。作品をパネル化した教材をもって学芸員が保育園に出向く「出前」活動と、その後、保育園児が来館して対話鑑賞を行う「遠足」活動とをセットにして実施している。令和5年度は「出前」活動は希望する園にのみ実施した。

【内容】出前＝作品を使ったパズルやゲームなど（令和5年度は希望する園にのみ実施した）
遠足＝対話鑑賞をベースとした学芸員によるギャラリーツアー。展示作品を基にした作品づくりなどのアクティビティ。

実施状況

No.	実施日	実施時間	園名	対象	内容	人数(人)
1	2023年7月11日(火)	10:00～11:00	森崎保育園	年長・年中	出前	35
2	2023年7月12日(水)	10:00～11:00	津久井保育園	年長	遠足	16
3	2023年7月18日(火)	10:00～11:00	森崎保育園	年長	遠足	15
4	2023年7月19日(水)	10:00～11:00	ハイランド保育園	年長	遠足	17
5	2023年9月28日(木)	10:00～11:00	鴨居保育園	年長	遠足	16
6	2023年12月5日(火)	10:00～11:00 13:00～14:00	中央こども園	年長	遠足	26
7	2023年12月7日(木)	10:00～11:00	船越保育園	年長・年中	出前	26
8	2023年12月12日(火)	10:00～11:00	船越保育園	年長	遠足	15
9	2024年1月30日(火)	10:00～11:00	武山保育園	年長	遠足	13
10	2024年2月27日(火)、 28日(水)	10:00～11:00	追浜保育園	年長	遠足	29
全8園・10回						208

◆中学生のための美術鑑賞教室

例年、夏休み中の中学生を対象とした「中学生のための鑑賞教室」を開催している。美術館についての説明と展示室での自由鑑賞を中心に実施する。

教育普及事業の一環として、中学生のための美術鑑賞教室特別編「アートの最前線から」を開催した。令和5年度の「中学生のための美術鑑賞教室」は当日自由参加で開催した。「中学生のための横須賀美術館鑑賞ガイド」(P.63)を美術館受付で配布し、あわせて美術館HP、ツイッター、FacebookにPDFを掲載した。

実施状況

中学生のための美術鑑賞教室 特別編「アートの最前線から」

No.	実施日	時間	講師	人数(人)		
				中学生	その他 (先生・保護者)	合計
1	2023年7月28日(金)	13:30～14:30	齋藤精一(パノラマテイクス主宰)	22	11	33

中学生のための美術鑑賞教室

No.	実施日	時間	講師	人数(人)		
				中学生	その他 (先生・保護者)	合計
1	2023年8月11日(金・祝)	13:30～14:00	当館学芸員	3	0	3
2	2023年8月12日(土)	13:30～14:00		4	5	9
3	2023年8月13日(日)	13:30～14:00		4	3	7
4	2023年8月14日(月)	13:30～14:00		4	8	12
5	2023年8月15日(火)	13:30～14:00		3	2	5
				18	18	36

◆中学生職場(職業)体験の受け入れ

例年、横須賀市立中学校からの依頼にもとづき、2年生の職場(職業)体験の受け入れを行っている。

なお例年同様令和5年度も、受け入れ態勢を計画的に整備する必要上、前年度末に教育委員会を通して受け入れ希望校を集約することとした。受け入れ生徒数は1日6名以内(1校2名程度)で、美術に関心のある生徒に限定して受け入れる旨も、あらかじめ各校に伝えた。

実施状況

No.	実施日	日数	学校名	人数(人)
1	2023年6月6日(火)*1	1	長井中学校	2
2	2023年6月27日(火)～29日(水)	3	田浦中学校	2
3	2023年6月29日(木)～30日(金)	2	公郷中学校	1
4	2023年11月8日(水)～9日(木)	2	北下浦中学校	1
5	2023年11月15日(水)～16日(木)	2	野比中学校	1
6	2023年11月15日(水)～16日(木)	2	大楠中学校	2
7	2023年12月4日(月)～6日(水)	2	馬堀中学校	2
8	2023年12月7日(木)*2	1	大津中学校(1年)	3
9	2024年1月17日(水)～18日(木)	2	不入斗中学校	2
10	2024年1月25日(木)～26日(金)	2	鴨居中学校	2

18

*1 働くこと、仕事についてインタビューを受けた

*2 総合的な学習として美術館についてインタビューを受けた

◆高校生インターンシップの受入れ

例年、神奈川県内の高等学校からの依頼にもとづき、高校生インターンシップの受け入れを行っている。

実施状況

No.	実施日	日数	学校名	人数(人)
1	2023年8月9日(水)、10日(木)	2	神奈川県立津久井浜高等学校	1
			神奈川県立横浜清陵高等学校	1

◆学芸員実習の受入れ

実施日	日数	所属大学・専攻	人数(人)
2023年 7月26日(水)～28日(金)、 8月2日(水)～4日(金) 10時～17時	6	実践女子大学文学部美学美術史学科	7
		明治学院大学文学部芸術学科美術史学コース	
		八洲学園大学生涯学習学部	
		中央大学文学部人文社会学科フランス語文学文化専攻美術史美術館コース	
		立正大学文学部文学科日本語日本文学専攻	
		多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻	
東京造形大学造形学部美術学科彫刻専攻			

◆教員向け研修

例年、学校教員を対象とした、美術館活用促進のための講座「先生のための美術館‘もっと’活用講座」を開催し、美術館が提供する教材や、その所蔵作品情報を積極的に活用して学校生活を充実させる試みについて、現場の先生方による実践例を紹介している。令和5年度は、神奈川県共生推進本部室が「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の実現を目指して実施している「ともいきアートサポート事業」の一環として、横須賀美術館における県立総合教育センター 研修講座「アートを通じたインクルーシブな授業づくり」を開催した。

実施状況

No.	実施日	日数	内容	人数(人)
1	2023年8月21日(月) 13:30～16:30	1	横須賀美術館における県立総合教育センター 研修講座「アートを通じたインクルーシブな授業づくり」 講師：ドゥイ(造形ユニット) 対象：神奈川県内の特別支援教育に関わる教員等	19

◆アートカードの貸出

横須賀市立小・中学校の有志の先生方と美術館学芸員が1年以上の時間をかけて制作した「横須賀美術館アートカード」は、所蔵作品のうち64点がカード教材になっている。また、アートカードと同時に制作を行った指導案集には、学習指導要領に応じた学習のめあてや評価基準などがまとめられている。

横須賀市立小・中学校にはアートカード、指導案集、指導記録DVDが教材セットとして配布され、授業等で活用されている。その他教育機関等の要望に応じて貸出も行っており、令和5年度は2件2セットの貸出を行った。

また、一般公開していたWeb版アートカードは、サーバーを管理している国立情報学研究所のセキュリティ強化対策により令和4年9月より一時停止としている。現在、希望する学校等には、認証付ブラウザを案内し対応している。令和5年度は1件の利用があった。

令和5年度の実績

アートカード 2件

No.	貸出日	貸出先	貸出数(セット)
1	2023年4月25日(火)	西東京市立谷戸第2小学校	1
2	2024年1月5日(金)	横浜市立上郷中学校	1
			2

Web版アートカード 1件

No.	利用申込日	利用者
1	2023年12月23日(土)	福島県教育センター 研究・研修部 教員研修チーム

1-2-4 ボランティアの活動

横須賀美術館では、平成18年度から始まった「開館記念イベント企画実施ボランティア」の活動を基盤として、開館後は新たに「サポートボランティア」「プロジェクトボランティア」の2種のボランティアを募集した。

平成25年度に、ボランティアの活動実態と要望に合わせて、活動内容の見直しを行った。その結果、平成26年度から、次の5つの内容で活動を行うこととした。

1. ギャラリートークボランティア
2. 小学校鑑賞会ボランティア
3. みんなのアトリエボランティア
4. プロジェクトボランティア
5. プロジェクト当日ボランティア

以下に、それぞれの活動内容を掲載する。

◆ギャラリートークボランティアの活動

- ①活動内容—所蔵品展のギャラリートークを行う
- ②活動日時—ギャラリートークは毎週日曜日14時～15時
研修は毎月1回、日曜日10:30～12:00
- ③活動条件—資格：日曜日に活動できること
- ④募 集—隔年4～5月
- ⑤研 修—あり
- ⑥研修内容—所蔵品展レクチャー 4回+新規ボランティアメンバー向けのレクチャー 7回+館外研修1回
(日曜日とは限らない) 計12回(年)
- ⑦任 期—1年間(更新有)

所蔵品展ギャラリートークの記録

No.	年 月 日	時 間	内 容	参加者数 (人)	
				ボランティア	一般参加者
1	2023年11月5日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	9	30
2	2023年11月19日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	6
3	2023年11月26日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	7	20
4	2023年12月3日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	20
5	2023年12月10日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	4
6	2023年12月17日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	16
7	2023年12月24日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	2	6
8	2024年1月14日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	2	10
9	2024年1月21日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	2	10
10	2024年1月28日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	3	6
11	2024年2月4日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	8
12	2024年2月11日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	6
13	2024年2月12日(月)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	6	20
14	2024年2月18日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	3
15	2024年2月23日(金)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	3	30
16	2024年2月25日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	7	13
17	2024年3月3日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	1	3
合計				72	211

研修の記録

No.	年 月 日	時 間	内 容	参加者数 (人)
1	2023年5月11日(木)	14:00 ~ 16:00	第1期所蔵品展レクチャー	15
2	2023年5月25日(木)	14:00 ~ 16:00	朝井閑右衛門展レクチャー	14
3	2023年6月22日(木)	14:00 ~ 16:00	トークプラン作成	4
4	2023年7月13日(木)	14:00 ~ 16:00	荒井良二展レクチャー	2
5	2023年7月27日(木)	14:00 ~ 16:00	第2期所蔵品展レクチャー	10
6	2023年9月14日(木)	14:00 ~ 16:00	トークプランの作成	14
7	2023年9月28日(木)	14:00 ~ 16:00	ロイヤル・コペンハーゲン展レクチャー	3
8	2023年10月12日(木)	14:00 ~ 16:00	ギャラリートーク練習	17
9	2023年10月19日(木)	14:00 ~ 16:00	第3期所蔵品展レクチャー	5
10	2023年11月30日(木)	15:00 ~ 17:00	韓国イラストレーション展レクチャー	5
11	2023年12月14日(木)	15:00 ~ 16:30	トークプラン作成	1
12	2024年1月11日(木)	15:00 ~ 16:30	第4期所蔵品展レクチャー	17
13	2024年1月25日(木)	14:30 ~ 16:30	トークプラン作成	1
14	2024年2月15日(木)	14:00 ~ 16:00	ロボット展レクチャー	3
15	2024年2月21日(木)	14:00 ~ 16:00	館外研修 (HIRAKU)	12
16	2024年3月21日(木)	11:00 ~ 12:00 14:00 ~ 15:00	トークプラン作成	15
合計				138

◆小学生美術鑑賞会ボランティアの活動

- ①活動内容—小学生美術鑑賞会で来館する小学6年生の受入、鑑賞補助
- ②活動日時—月～翌年3月の各小学校が希望した日時（原則として平日）
- ③活動条件・資格—平日に活動できること
事前研修に参加できること
最低月1回は活動できること
- ④募 集—毎年4～5月
- ⑤研 修—あり
- ⑥研修内容—企画展レクチャー 6回+事前レクチャー 4回
- ⑦任 期—1年間（更新有）

小学生美術鑑賞会の記録

No.	日 時	学 校 名	参加者数 (人)
1	2023年9月1日(金) 10:00 ~ 11:45	望洋小学校	3
2	2023年9月1日(金) 12:10 ~ 13:30	沢山小学校	3
3	2023年9月19日(火) 13:25 ~ 14:55	走水小学校	2
4	2023年9月21日(木) 13:00 ~ 14:30	北下浦小学校	5
5	2023年10月11日(水) 10:30 ~ 12:00	夏島小学校	5
6	2023年10月24日(火) 13:00 ~ 14:30	豊島小学校	5
7	2023年11月2日(金) 10:30 ~ 14:00	浦郷小学校	7
8	2023年11月21日(火) 10:00 ~ 11:30	森崎小学校	5
9	2023年11月21日(火) 13:00 ~ 14:30	浦賀小学校	4
10	2023年11月24日(金) 13:00 ~ 14:30	大塚台小学校	4
11	2023年11月28日(火) 10:00 ~ 11:30	船越小学校	1
12	2023年11月30日(金) 13:00 ~ 14:30	城北小学校	6
13	2023年12月1日(金) 13:00 ~ 14:30	田戸小学校	3
14	2023年12月13日(水) 13:00 ~ 14:30	神明小学校	2
15	2023年12月14日(木) 10:00 ~ 11:30	明浜小学校	4
16	2023年12月14日(木) 13:00 ~ 14:30	鶴久保小学校	4
17	2023年12月15日(金) 13:00 ~ 14:30	公郷小学校	2

No.	日 時	学 校 名	参加者数 (人)
18	2023年12月19日(火) 10:00 ~ 11:30	諏訪小学校	4
19	2023年12月19日(火) 13:00 ~ 14:30	山崎小学校	3
20	2023年12月21日(木) 13:30 ~ 15:00	池上小学校	5
21	2024年1月11日(木) 10:00 ~ 11:30	野比東小学校	3
22	2024年1月11日(木) 13:20 ~ 14:40	富士見小学校	3
23	2024年1月12日(金) 10:00 ~ 11:30	萩野小学校	2
24	2024年1月15日(月) 10:00 ~ 11:00	長井小学校	1
25	2024年1月15日(月) 13:00 ~ 14:30	大矢部小学校	1
26	2024年1月16日(火) 10:00 ~ 11:30	馬堀小学校	3
27	2024年1月16日(火) 13:30 ~ 14:30	長浦小学校	2
28	2024年1月17日(水) 13:30 ~ 15:00	鷹取小学校	3
29	2024年1月18日(木) 10:00 ~ 11:30	久里浜小学校	3
30	2024年1月18日(木) 13:00 ~ 14:30	小原台小学校	2
31	2024年1月19日(金) 10:00 ~ 11:25	ろう学校	3
32	2024年1月19日(金) 10:00 ~ 11:30	桜小学校	4
33	2024年1月19日(金) 13:00 ~ 14:00	野比小学校	1
34	2024年1月22日(月) 13:00 ~ 15:00	衣笠小学校	4
35	2024年1月23日(火) 10:00 ~ 11:30	津久井小学校	3
36	2024年1月23日(火) 13:00 ~ 14:30	岩戸小学校	4
37	2024年1月24日(水) 10:00 ~ 11:30	追浜小学校	1
38	2024年1月24日(水) 13:10 ~ 14:30	大津小学校	3
39	2024年1月25日(木) 10:00 ~ 11:30	鴨居小学校	2
40	2024年1月25日(木) 13:00 ~ 14:15	高坂小学校	4
41	2024年1月26日(金) 10:00 ~ 11:30	武山小学校	3
42	2024年1月26日(金) 13:00 ~ 14:30	田浦小学校	1
43	2024年1月29日(月) 10:10 ~ 11:10	逸見小学校	1
44	2024年1月29日(金) 13:00 ~ 14:30	根岸小学校	5
45	2024年2月16日(金) 10:00 ~ 11:20	粟田小学校	2
46	2024年2月16日(金) 12:30 ~ 14:30	大楠小学校	3
47	2024年2月22日(木) 13:15 ~ 14:45	汐入小学校	1
合計			145

研修の記録

No.	日 時	内 容	参加者数 (人)
1	2023年5月11日(木) 14:00 ~ 16:00	第1期所蔵品展レクチャー	4
2	2023年5月25日(木) 14:00 ~ 16:00	朝井閑右衛門展レクチャー	5
3	2023年6月22日(木) 14:00 ~ 16:00	対話による鑑賞レクチャー	9
4	2023年7月13日(木) 14:00 ~ 16:00	荒井良二展レクチャー	15
5	2023年7月27日(木) 14:00 ~ 16:00	第2期所蔵品展レクチャー	4
6	2023年9月28日(木) 14:00 ~ 16:00	ロイヤル・コペンハーゲン展レクチャー	21
7	2023年10月19日(木) 14:00 ~ 16:00	第3期所蔵品展レクチャー	15
8	2023年11月30日(木) 15:00 ~ 17:00	韓国イラストレーション展レクチャー	17
9	2023年12月14日(木) 15:00 ~ 16:30	対話による鑑賞レクチャー	18
10	2024年1月11日(木) 15:00 ~ 16:30	第4期所蔵品展レクチャー	6
11	2024年1月25日(木) 14:30 ~ 16:30	対話による鑑賞レクチャー	16
12	2024年2月15日(木) 14:00 ~ 16:00	ロボット展レクチャー	14
13	2024年2月21日(木) 14:00 ~ 16:00	館外研修 (HIRAKU)	8
合計			152

◆みんなのアトリエボランティアの活動

- ①活動内容—障害児者向けワークショップ「みんなのアトリエ」の補助
- ②活動日時—毎月第3土曜日13:00～16:00
- ③活動条件・資格—18歳以上（高校生は不可）
土曜日の活動に参加できること。
- ④募 集—随時
- ⑤研 修—なし
- ⑥任 期—1年間（更新有）

ワークショップ補助活動の記録

No.	年 月 日	時 間	内 容	参加者数（人）
1	2023年6月17日(土)	14:00～15:00	「ハットするハット!〈紙を使った活動〉	2
2	2023年7月15日(土)	14:00～15:00	「手で読む絵本をつくろう」	3
3	2023年8月19日(土)	14:00～15:00	「えのぐのえ!〈絵具をつかった造形活動〉」	5
4	2023年9月16日(土)	14:00～15:00	「ヒラヒラルームへようこそ〈ビニール紐をつかった活動〉」	1
5	2023年10月21日(土)	14:00～15:30	「くんくんラボ・秋～季節のにおいを集めよう～」	2
6	2023年11月11日(土)	14:00～15:00	福祉とアートが出あうとき みんなでつくるぶらぶらゆらゆらガーラント	3
7	2023年12月16日(土)	14:00～15:00	「さわって楽しいワクワクBOXをつくろう」	3
8	2024年1月20日(土)	14:00～15:00	「おもしろ楽器で演奏会〈箱などをつかった造形活動〉」	3
9	2024年2月17日(土)	14:00～15:00	「スポンジロボ誕生!〈スポンジをつかった造形活動〉」	4
10	2024年3月16日(土)	14:00～15:30	「くんくんラボ・春～季節のにおいを集めよう～」	3
合計				29

◆プロジェクトボランティアの活動

- ①活動内容—ボランティアイベントの企画・準備・実施
- ②活動日時—原則として、毎月第2・4土曜日14:00～16:00。 ※ただし、この限りではない。
イベント前日および開催日
- ③活動条件・資格—18歳以上（高校生は不可）、土曜日の活動に参加できること。
ボランティアイベントの当日ボランティアを一度経験すること。
- ④募 集—随時
- ⑤研 修—なし
- ⑥任 期—1年間（更新有）

◆プロジェクト当日ボランティアの活動

- ①活動内容—プロジェクトボランティアが企画したボランティアイベントの補助
- ②活動日時—一年3回程度（春・秋・冬）
- ③活動条件・資格—15歳以上（中学生は不可）
- ④募 集—ボランティアイベントごと
- ⑤研 修—なし
- ⑥任 期—ボランティアイベント当日のみ

活動の記録

No.	年 月 日	時 間	活 動 内 容	参 加 者 数 (人)	
				プロジェクト ボランティア	プロジェクト 当日ボランティア
1	2023年4月8日	14:00～16:00	春イベント作業(ティーカップ&ケーキセット、ハウスの制作)	10	—
2	2023年4月15日	14:00～16:00	春イベント作業(ダンボールハウスの制作)	10	—
3	2023年4月22日	14:00～16:00	春イベント作業(ダンボールハウス仕上げ)	10	—
4	2023年4月29日	14:00～16:00	春イベント前日準備	14	—
5	2023年4月30日	8:45～17:00	春イベント「ダンボール1616～ダンボール箱にお絵かき」開催	15	1
6	2023年5月13日	14:00～16:00	春イベント振り返り、R5年度イベント日程決定	9	—
7	2023年5月27日	14:00～16:00	秋イベント：ダンボールタイル作り 冬：サークルカッターの試し切り	8	—
8	2023年6月10日	14:00～16:00	冬：雪だるまのパーツカット(プラダン、プラ板)	7	—
9	2023年6月24日	14:00～16:00	秋：ダンボールタイル作り 冬：雪だるまのパーツカット(プラダン、プラ板)	8	—
10	2023年7月8日	14:00～16:00	冬：雪だるまパーツカット(台座)	9	—
11	2023年7月22日	14:00～16:00	秋：ダンボールタイルデコレーションの見本制作	11	—
8月は活動休止					
12	2023年9月9日	14:00～16:00	秋：ダンボールタイル作り	10	—
13	2023年9月23日	14:00～16:00	秋イベント実施要項確認、前日準備で組み上げるもの(ハウス、滑り台)の確認	9	—
14	2023年10月14日	14:00～16:00	秋イベント前日準備	9	1
15	2023年10月15日	9:00～17:00	秋イベント「ダンボールタイルデコレーション」開催	10	1
16	2023年10月28日	14:00～16:00	秋イベント振り返り→SNS上での確認 冬イベント：雪だるまパーツ加工	3	—
17	2023年11月11日	14:00～16:00	冬イベント：雪だるまパーツ加工	4	—
18	2023年11月25日	12:00～16:00	冬イベント：雪だるまサンプル制作、パーツ加工、LEDランプ等土台の点検	8	—
19	2023年12月9日	14:00～17:00	冬イベント前日準備	8	—
20	2023年12月10日	8:40～17:00	冬イベント「光る雪だるまをつくろう」開催	9	—
21	2023年12月25日	10:00～11:00	冬イベント片付け(光る雪だるまの撤収)	4	—
22	2024年1月13日	14:00～16:00	冬イベント振り返り	9	—
23	2024年1月27日	14:00～16:00	来年度イベントの検討	7	—
24	2024年2月10日	14:00～16:00	今後の活動内容の検討、クリスマスハウスの提案	7	—
25	2024年2月24日	14:00～16:00	春イベント：シャボン玉道具試し 冬イベント：プラダン・プラ板カット	9	—
26	2024年3月9日	14:00～16:00	すべり台解体 春イベント：シャボン玉道具玉試し 冬イベント：プラダンカット	6	—
27	2024年3月23日	14:00～16:00	秋イベント：小物塗り直し、トイレ制作	8	—
				231	3

1-2-5 託児サービス

横須賀美術館では、講演会・ワークショップ等の参加者向けの託児サービスと、月1回の定期託児サービスを実施している。いずれの場合も対象は1歳から未就学児、事前申込制(各回5名まで)、無料。
 なお、定期託児について、平成22年度まで土・日曜日のみ実施、平成23年度から令和元年度まで土・日曜日及び平日に実施、令和4年度以降は平日に実施している。(令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
 令和5年度の実施状況は次の通りである。

実施状況

No.	月 日	種 別 / 催 事 名	時間数(時間)	受託児数(人)
1	2023年8月25日(金)	定期託児	2.25	4
2	2023年10月17日(火)	定期託児	1.75	1
合計			4	5

1-3 広報関連事業

美術館への来館を促進する広報活動の一環として、イベントを開催した。

◆コンサート

No.	実施日	時間	タイトル	講師・演者	場所	参加者数(人)
1	2023年 4月14日(金)	9:30 ~ 9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in April 2023	灘部早紀(第1ヴァイオリン)、 永田美智子(第2ヴァイオリン)、 山本珠里杏(ヴィオラ)、安 藤葉月(チェロ)	エントランス ホール	79
2	2023年 5月15日(月)	9:30 ~ 9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in May 2023	横森由有(ソプラノ)、下園 理恵(メゾソプラノ)、浅山裕 志(テノール)、宮本史利(バ リトン)、美里芽玖(ピアノ、 オルガン)	エントランス ホール	78
3	2023年 6月15日(木)	9:30 ~ 9:55	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in June 2023	亀井美好(ハープ)、甲斐麻 紗子(ヴァイオリン)、岩澤里 枝(フルート)	エントランス ホール	96
4	2023年 7月14日(金)	13:30 ~ 14:00	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in July 2023	渡邊達徳(ヴァイオリン)、荒 井一穂(ギター)、宮本史利(バ リトン)	地階 所蔵品展 展示室 (北側ギャラリー)	83
5	2023年 8月20日(日)	18:30 ~ 19:30	横須賀美術館 サマーコンサート 2023*	甲斐麻紗子(第1ヴァイオリ ン)、永田美智子(第2ヴァイ オリン)、飯田絢子(ヴィオラ)、 安藤葉月(チェロ)	エントランス ホール	67
6	2023年 9月15日(金)	13:00 ~ 13:30	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in September 2023	横森由有(ソプラノ)、島田 結衣(フルート)、西村和香(オル ガン)	地階 所蔵品展 展示室 (北側ギャラリー)	42
7	2023年 10月13日(金)	13:30 ~ 14:00	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in October 2023	甲斐麻紗子(第1ヴァイオリ ン)、永田美智子(第2ヴァイ オリン)、飯田絢子(ヴィオラ)、 安藤葉月(チェロ)	地階 所蔵品展 展示室 (北側ギャラリー)	85
8	2023年 12月15日(金)	13:30 ~ 14:00	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in December 2023	横森由有(ソプラノ)、下園 理恵(メゾソプラノ)、浅山裕 志(テノール)、宮本史利(バ リトン)、高梨壮一郎(ピアノ /オルガン)	地階 所蔵品展 展示室 (北側ギャラリー)	62
9	2024年 1月15日(月)	13:30 ~ 14:00	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in January 2024	甲斐麻紗子(第1ヴァイオリ ン)、永田美智子(第2ヴァイ オリン)、飯田絢子(ヴィオラ)、 安藤葉月(チェロ)	地階 所蔵品展 展示室 (北側ギャラリー)	58
10	2024年 2月15日(木)	13:30 ~ 14:00	“横須賀美術館 Monthly Welcome Music” in February 2024	クラリネットカルテット・ア クアミューズ 小田祐子(第1クラリネット・E ♭クラリネット)、澤目未樹(第 2クラリネット)、山本裕子(第 3クラリネット)、中村奈央(バ スクラリネット)	地階 所蔵品展 展示室 (北側ギャラリー)	101
11	2024年 3月2日(土)	18:30 ~ 19:30	横須賀美術館 スプリングコンサート 2024*	下園理恵(メゾソプラノ)、臼 井源太(フルート)、高梨壮 一郎(ピアノ/オルガン)	エントランス ホール	64

合計 815

*一般財団法人シティサポートよこすかとの共催

◆その他

No.	実施日	時間	タイトル	内容	場所	参加者数
1	2023年 9月2日(日)	10:00 ~ 17:00	筆ロックフェス 関東大会決勝	1 on 1 即興アートバトル、 ライブペイント	海の広場	約200名

*一般社団法人筆WORKとの共催

2 刊行物

令和5年度に発行した刊行物は下記の通りである。

2-1 出版物

◆ 展覧会図録

No.	図録の名称	発行年月日	販売価格(円)	発行	発行部数(部)
1	没後40年 朝井閑右衛門展	2023年4月	1,600	横須賀美術館	800
2	new born 荒井良二 いつも しらないところへ たびする きぶんだった	2023年7月	4,200	朝日新聞社	1,226
3	日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北欧デ ザインの煌めき アール・ヌーヴォーからモダンへ	2023年9月	2,500	「日欧プライベートコレクション ロイヤル コペンハーゲンと北 欧デザインの煌めき アール・ ヌーヴォーからモダンへ」カ タログ実行委員会	317
4	となりの国の絵本 躍動する韓国イラストレーションの 世界	2023年11月	2,640	株式会社イデッフ	311
5	日本の巨大ロボット群像	2023年9月	3,630	びあ株式会社	4,401
6	没後20年 若林奮	2023年7月	1,700	横須賀美術館	800
7	勝又豊子展 不在の向こう—白い余白	2023年10月	500	横須賀美術館	700

*2、3、4、5については取り扱い部数とする



1



2



3



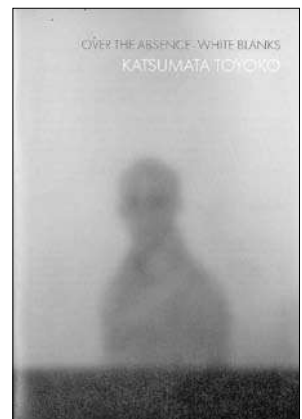
4



5



6



7

2-2 配布物

◆横須賀美術館ニュース「Corridart (コリダール)」

No.	名 称	発行年月	内 容
1	横須賀美術館ニュース Corridart Vol.29	2024年1月	<p>○特集 YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 往古来今／見えない泉をさまよいさがす 田浦の谷戸に集うアーティストのまなざしの先にあるものとは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 葉王子太一 (陶芸家/土器作家) 2 山本愛子 (美術家) 3 折原みと (漫画家/小説家) 4 水戸部春菜 (美術家) <p>YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKUとは? 市営住宅跡地で地域に向けたワークショップを開催 ○展覧会紹介 日本の巨大ロボット群像 —巨大ロボットアニメ、そのデザインと映像表現—</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 巨大ロボットの「メカニズム」に注目 2 ロボットの「大きさ」を体感できる 3 架空の存在であるロボットにリアリティを与えた「内部図解」 見どころ 横須賀出身 宮武一貴氏による巨大絵画2点を展示! <p>○この1点 上野泰郎《押し流される民族》 ○レポート アートに触れる鑑賞プログラム スカビでおしゃべり「絵から広がる初夏の香り」</p>



Corridart vol.29



A4 四つ折 (表面)

(中面)

◆中学生のための鑑賞教室 鑑賞ガイド2023 (2023年7月)



A4 二つ折り (表面)



(中面)

◆年間スケジュール (2023年3月)



A4 巻三つ折 (表面)



(中面)



A4 巻三つ折 (表面 鈴木敏夫とジブリ展)

3 調査・研究活動

令和5年度は、2. 刊行物に掲載した通り、展覧会図録のほか、『横須賀美術館ニュースCorridart』等の刊行物を発行した。このなかで成果を発表した学芸員による調査・研究活動について以下に掲載する。

3-1 論文等

図録および横須賀美術館の印刷物等で発表した論文、執筆した解説等は次のとおりである。

執筆者	内容	タイトル	掲載誌など
富田康子	論文	「朝井閑右衛門の陶磁器収集—横須賀美術館所蔵の朝井旧蔵品調査から」	『没後40年 朝井閑右衛門展』横須賀美術館、2023年4月
	解説等	コラム「朝井閑右衛門の古陶磁蒐集」、作品解説	『没後40年 朝井閑右衛門展』横須賀美術館、2023年4月
	解説等	作品解説、作家解説	『日欧プライベートコレクション ロイヤルコペンハーゲンと北欧デザインの煌めきアール・ヌーヴォーからモダンへ』『日欧プライベートコレクション ロイヤルコペンハーゲンと北欧デザインの煌めきアール・ヌーヴォーからモダンへ』カタログ実行委員会、2023年
	論文	「日本における韓国絵本の受容」	『となりの国の絵本 躍動する韓国イラストレーションの世界』株式会社イデッフ、2023年11月
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
工藤香澄	論文	「朝井閑右衛門の作品と旧蔵品」	『没後40年 朝井閑右衛門展』横須賀美術館、2023年4月
	解説等	章解説、コラム《丘の上》、「朝井閑右衛門と新樹会」、「描かれなかった肖像画」、作品解説、主要参考文献目録	『没後40年 朝井閑右衛門展』横須賀美術館、2023年4月
	論文	工藤香澄「勝又豊子—不在の向こう」	『勝又豊子展 不在の向こう—白い余白』横須賀美術館、2023年10月
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
日野原清水	論文	「『没後20年 若林奮』によせて」	『没後20年 若林奮』横須賀美術館 2023年7月
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
中村貴絵	解説等	特集・YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU 往古来今/見えない泉をさまよいさがす	横須賀美術館ニュース・Corridart Vol.29
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
立浪佐和子	論文	「『見ればわかる』を当たり前にしない 視覚障害者の美術鑑賞に関する教育普及活動の歩み」	『横須賀美術館年報 令和4年度版』横須賀美術館、2023年12月
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
杵沢耕介	解説等	作品解説	『没後40年 朝井閑右衛門展』横須賀美術館、2023年4月
	解説等	この1点・上野泰郎《押し流される民族》	横須賀美術館ニュース・Corridart Vol.29
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
栗林陵	解説等	展覧会紹介・日本の巨大ロボット群像	横須賀美術館ニュース・Corridart Vol.29
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」

4 収集・管理

4-1 作品収集

令和5年度の新収蔵品は、次のとおりである。

(1)購入

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1-1	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-2	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-3	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-4	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-5	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-6	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-7	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-8	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-9	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-10	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-11	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-12	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-13	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-14	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-15	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-16	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-17	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-18	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-19	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
1-20	写真	森山大道	ヨコスカ	1965 (昭和40) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)

※1-1～1-20 2024 (令和6) 年プリント

(2)寄贈

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2-1	写真	森山大道	東京環状・国道16号戦 オンザロード	1969 (昭和44) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
2-2	写真	森山大道	東京環状・国道16号戦 オンザロード	1969 (昭和44) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
3-1	写真	森山大道	写真・1970	1970 (昭和45) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
3-2	写真	森山大道	写真・1970	1970 (昭和45) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
3-3	写真	森山大道	写真・1970	1970 (昭和45) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
3-4	写真	森山大道	写真・1970	1970 (昭和45) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
3-5	写真	森山大道	写真・1970	1970 (昭和45) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
3-6	写真	森山大道	写真・1970	1970 (昭和45) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
3-7	写真	森山大道	写真・1970	1970 (昭和45) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)
4	写真	森山大道	ヨコスカ (もうひとつの国18)	1970 (昭和45) 年	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント	27.9×35.6 (紙寸、大四切)

※2-1～4 2024 (令和6) 年プリント

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
5	油彩	川田祐子	硯海	2006 (平成18) 年	アクリル、ガッシュ・画布	4枚組 各227.0×91.0
6	油彩	島田章三	ガラス器と人	1992 (平成4) 年	油彩・画布	130.0×162.0 (100F)
7	油彩	島田章三	ロビーにある二つの椅子	1992 (平成4) 年	油彩・画布	162.0×194.0 (130F)
8	油彩	石川忠一	DUO (two angels)	1988 (昭和63) 年	油彩・画布	162.0×194.0 (130F)
9	油彩	石川忠一	L'arc en Ciel	2008 (平成20) 年	油彩・画布	181.8×227.3 (150F)
10	工芸	中村光哉	追憶	1975 (昭和50) 年頃	ろう染め	100.0×80.5
11	工芸	中村光哉	雲とさざなみ	1975 (昭和50) 年	ろう染め	16.0×23.0
12-1	水彩	谷内六郎	習作絵本 ハマベノコ	1941 (昭和16) 年	水彩、インク、鉛筆・紙	26×18.5
12-2	水彩	谷内六郎	上総御宿	1944 (昭和19) 年	水彩・紙	56.5×162
12-3	水彩	谷内六郎	海辺の町	1945 (昭和20) 年	水彩、墨・紙	13.3×18
12-4	水彩	谷内六郎	海の駅	1945 (昭和20) 年1月	水彩、墨・紙	18.2×25.4
12-5	水彩	谷内六郎	北蟹谷道	1945 (昭和20) 年9月	水彩、墨・紙	12×13.7
12-6	水彩	谷内六郎	椿	1946 (昭和21) 年	水彩、墨・紙	12.6×17.6
12-7	水彩	谷内六郎	終戦の秋	1945 (昭和20) 年	水彩、墨・紙	41.5×30.5
12-8	水彩	谷内六郎	劇薬という言葉	1948 (昭和23) 年	水彩、墨、紙・紙	19.8×17.6
12-9	水彩	谷内六郎	こわーい話	1948 (昭和23) 年	水彩、墨・紙	38.3×27.0
12-10	水彩	谷内六郎	雪の空	1949 (昭和24) 年	水彩、墨・紙	25.8×36.3
12-11	水彩	谷内六郎	泣きながら帰った道	1949 (昭和24) 年	水彩、墨・紙	24.9×26
12-12	素描	谷内六郎	重患の室	1950 (昭和25) 年	インク・紙	30.8×34
12-13	水彩	谷内六郎	電気館	1950 (昭和25) 年	水彩、墨・紙	49.6×36
12-14	素描	谷内六郎	院長先生の来た日	1950 (昭和25) 年	インク・紙	28×40.2
12-15	水彩	谷内六郎	人買いの話	1950 (昭和25) 年	水彩、墨・厚紙	53×37.6
12-16	水彩	谷内六郎	九段坂	1950 (昭和25) 年	水彩、墨・紙	27.5×34.5
12-17	素描	谷内六郎	キャンデーの箱の悲しみ	1950 (昭和25) 年	インク・紙	27.0×36.7
12-18	水彩	谷内六郎	人さらいのあった晩	1950 (昭和25) 年 ※裏面1949 (昭和24) 年	水彩、墨・紙	27.0×38.5
12-19	水彩	谷内六郎	フィルムの中の二挺拳銃	1950 (昭和25) 年	水彩、インク・紙	24.2×34.4
12-20	水彩	谷内六郎	湯気	1950 (昭和25) 年	水彩、墨・紙	22.6×17.7
12-21	水彩	谷内六郎	マッチ売りの少女 (10枚)	1950 (昭和25) 年	インク、水彩、墨、クレヨン・紙	約31.0×約21.0
12-22	水彩	谷内六郎	変電所の池	1950 (昭和25) 年	水彩、墨・紙	26.7×19.0
12-23	水彩	谷内六郎	楽書 病院日記	1950-51 (昭和25-26) 年	インク、鉛筆、水彩、墨、クレヨン・紙	16×21
12-24	水彩	谷内六郎	雨後	1951 (昭和26) 年	水彩、墨・紙	27.0×38.0
12-25	素描	谷内六郎	病気の子	1951 (昭和26) 年	インク・紙	25.6×35
12-26	水彩	谷内六郎	幼い記憶	1951 (昭和26) 年8月	水彩、墨・紙	33.7×24.9
12-27	水彩	谷内六郎	熔接工場の青鬼	1951 (昭和26) 年	水彩、墨・厚紙	38.3×27.2
12-28	水彩	谷内六郎	春の来る音	1951 (昭和26) 年	水彩、墨・紙	38.2×53.8
12-29	水彩	谷内六郎	宿題	1951 (昭和26) 年	水彩、墨・紙	36.0×27.8
12-30	水彩	谷内六郎	電車カバンを買った夜	1951 (昭和26) 年 ※裏面1948 (昭和23) 年	水彩、墨・紙	34.1×24
12-31	水彩	谷内六郎	風船屋さん	1951 (昭和26) 年	水彩、墨・紙	52.8×36.8
12-32	水彩	谷内六郎	沼の中	1951 (昭和26) 年	水彩、インク、墨・紙	21.1×30.8
12-33	水彩	谷内六郎	タイトルなし	1951 (昭和26) 年12月	インク、墨、水彩・紙	24.4×17.6
12-34	水彩	谷内六郎	レントゲン室に行く道	1952 (昭和27) 年	水彩、墨、インク・紙	34.7×21.3

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-35	水彩	谷内六郎	色セロファンの中	1952 (昭和27) 年	水彩、インク、墨・厚紙	23.0×32.5
12-36	水彩	谷内六郎	ぬりえ	1953 (昭和28) 年	水彩、墨・紙	24.5×30.4
12-37	水彩	谷内六郎	タイトルなし	1953 (昭和28) 年	水彩、墨・紙	38.2×53.5
12-38	水彩	谷内六郎	砂町のタンポポ	1953 (昭和28) 年 ※裏面1947 (昭和22) 年	水彩、墨・紙	44.2×38.4
12-39	水彩	谷内六郎	鏡の中	1955 (昭和30) 年	水彩、墨、インク・紙	24.4×22.3
12-40	水彩	谷内六郎	北風	1955 (昭和30) 年	水彩、墨・紙	40.6×19.5
12-41	水彩	谷内六郎	しんせきに行った日	1955 (昭和30) 年頃	水彩、墨・紙	26.5×35
12-42	素描	谷内六郎	変な物語 (10枚)	不詳	インク、鉛筆・紙	39.3×27
12-43	工芸	谷内六郎	ろうけつ染ハンカチ	1949-57 (昭和24-32) 年頃	ろうけつ染・布	37.5×38.0
12-44	工芸	谷内六郎	ろうけつ染ハンカチ	1949-57 (昭和24-32) 年頃	ろうけつ染・布	38.0×38.0
12-45	工芸	谷内六郎	ろうけつ染帯 (壺と皿絵)	1949-57 (昭和24-32) 年頃	ろうけつ染・布	351×30.5
12-46	工芸	谷内六郎	ろうけつ染帯地 (壺と皿絵)	1949-57 (昭和24-32) 年頃	ろうけつ染・布	455×35.5
12-47	工芸	谷内六郎	ろうけつ染帯地 (壺と皿絵)	1949-57 (昭和24-32) 年頃	ろうけつ染・布	457×35.5
12-48	工芸	谷内六郎	ろうけつ染帯	1949-57 (昭和24-32) 年頃	ろうけつ染・布	336×29.5
12-49	工芸	谷内六郎	ろうけつ染風炉先屏風	1956 (昭和31) 年	ろうけつ染・布	51.5×154
12-50	工芸	谷内六郎	ろうけつ染風呂敷	1949-57 (昭和24-32) 年頃	ろうけつ染・布	90.0×90.0
12-51	工芸	らくだ工房	ろうけつ染ハンカチ	不詳	ろうけつ染・布	33.5×36.0
12-52	工芸	らくだ工房	ろうけつ染ハンカチ	不詳	ろうけつ染・布	38.5×37.0
12-53	工芸	らくだ工房	ろうけつ染風呂敷	不詳	ろうけつ染・布	86.0×85.0
12-54	水彩	谷内六郎	中村武志著『目白三平の日日』表紙原画	1958 (昭和33) 年4月	水彩・紙	18.0×11.5
12-55	水彩	谷内六郎	獅子文六著『東京の悪口』函原画	1959 (昭和34) 年	ろうけつ染、着色・布	21.6×31.5
12-56	水彩	谷内六郎	獅子文六著『東京の悪口』扉原画	1959 (昭和34) 年	ろうけつ染、着色・布	9.8×9.5
12-57	水彩	谷内六郎	獅子文六著『東京の悪口』表紙原画	1959 (昭和34) 年	ろうけつ染、着色・布	22.5×32.5
12-58	水彩	谷内六郎	源氏鶏太著『鬼課長』函原画	1960 (昭和35) 年	ろうけつ染・布	20.8×32.0
12-59	水彩	谷内六郎	源氏鶏太著『鬼課長』表紙原画	1960 (昭和35) 年	ろうけつ染・布	22.0×31.0
12-60	水彩	谷内六郎	源氏鶏太著『鬼課長』扉原画	1960 (昭和35) 年	ろうけつ染・布	22×15
12-61	水彩	谷内六郎	壺井栄著『二十四の瞳』表紙原画	1965 (昭和40) 年	水彩・ボードに紙	20.4×29.8
12-62	水彩	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』表紙原画	1967 (昭和42) 年	水彩・ボードに紙	21.0×33.0
12-63	水彩	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』扉原画	1967 (昭和42) 年	水彩・紙	19.4×13.2
12-64	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』 目次挿絵原画	1967 (昭和42) 年	インク、鉛筆・紙	9.4×13.6
12-65	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』 扉挿絵原画	1967 (昭和42) 年	鉛筆、インク・紙	9.7×13.0
12-66	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』 1章扉挿絵原画	1967 (昭和42) 年	インク、鉛筆・紙	13.7×9.6
12-67	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』 2章扉挿絵原画	1967 (昭和42) 年	鉛筆、インク・紙	9.7×13.7
12-68	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』 3章扉挿絵原画	1967 (昭和42) 年	インク、鉛筆・紙	13.3×9.6
12-69	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』 4章扉挿絵原画	1967 (昭和42) 年	インク、水彩・紙	9.6×12.7
12-70	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』 5章扉挿絵原画	1967 (昭和42) 年	鉛筆、インク・紙	13.5×9.2
12-71	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』 6章扉挿絵原画	1967 (昭和42) 年	インク、鉛筆・紙	9.8×13.5
12-72	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』関連原画	1967 (昭和42) 年	インク、鉛筆・紙	9.5×13.6

No.	分類	作家名	作 品 名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-73	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』関連原画	1967 (昭和42) 年	インク、鉛筆・紙	13.4×9.8
12-74	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』関連原画	1967 (昭和42) 年	インク、鉛筆・紙	13.3×10.0
12-75	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』関連原画	1967 (昭和42) 年	インク、鉛筆・紙	13.7×9.5
12-76	水彩	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』(文庫版)表紙原画	1977 (昭和52) 年	水彩、墨・ボード	31.3×21.7
12-77	水彩	谷内六郎	北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』表紙原画	1973 (昭和48) 年	水彩・厚紙	28.3×44.0
12-78	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』目次挿絵原画1, 2	1973 (昭和48) 年	墨・紙	19.4×27.0
12-79	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』目次挿絵原画3・裏表紙原画	1973 (昭和48) 年	墨・紙	19.5×13.3
12-80	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』扉絵原画、小扉絵1原画	1973 (昭和48) 年	墨・紙	19.2×13.2、 19.5×13.7
12-81	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』小扉絵2, 3原画	1973 (昭和48) 年	墨・紙	19.4×13.3、 19.0×13.8
12-82	水彩	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』表紙原画	1976 (昭和51) 年	水彩・厚紙	18.7×39.7
12-83	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』扉原画	1976 (昭和51) 年	墨・紙	22.7×15.7
12-84	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』(北杜夫著)目次挿絵原画	1976 (昭和51) 年	墨・紙	22.4×15.5
12-85	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』(北杜夫著)目次挿絵原画	1976 (昭和51) 年	墨、鉛筆・紙	4.7×29.8
12-86	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』(北杜夫著)目次挿絵原画	1976 (昭和51) 年	墨、鉛筆・紙	22.4×30.1
12-87	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』扉原画	1976 (昭和51) 年	墨・紙	22.6×15.5
12-88	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』扉原画	1976 (昭和51) 年	墨・紙	22.4×15.6
12-89	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』関連原画	1976 (昭和51) 年	墨、鉛筆・紙	26.8×19.2
12-90	素描	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』関連原画	1976 (昭和51) 年	墨・紙	22.2×15.5
12-91	水彩	谷内六郎	甘糟幸子著『野草の料理』表紙原画	1977 (昭和52) 年	水彩・厚紙	19.9×30.0
12-92	水彩	谷内六郎	甘糟幸子著『野草の料理』扉原画	1977 (昭和52) 年	水彩、墨、鉛筆・紙	21.0×29.8
12-93	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『どんぐりと山ねこ』(『どんぐりと山ねこ』)挿絵5原画	1968 (昭和43) 年	水彩・厚紙	22.2×19.0
12-94	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『ちゅうもの多い料理店』(『どんぐりと山ねこ』)挿絵6原画	1968 (昭和43) 年	水彩・厚紙	23.0×19.5
12-95	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『ほらくま学校を卒業した3人』(『どんぐりと山ねこ』)挿絵3原画	1968 (昭和43) 年	水彩・厚紙	40.3×40.3
12-96	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『ほらくま学校を卒業した3人』(『どんぐりと山ねこ』)挿絵6原画	1968 (昭和43) 年	水彩・厚紙	23.6×19.3
12-97	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』函原画	1971 (昭和46) 年	水彩・厚紙	21.0×34.0
12-98	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『雪渡り』(『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』)挿絵2原画	1971 (昭和46) 年	水彩・厚紙	31.4×30.0
12-99	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『雪渡り』(『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』)挿絵3原画	1971 (昭和46) 年	水彩・紙	31.6×30.3
12-100	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『雪渡り』(『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』)挿絵4原画	1971 (昭和46) 年	水彩・紙	28.8×53.8
12-101	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『いちょうの実』(『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』)扉原画	1971 (昭和46) 年	水彩・紙	17.8×17.0
12-102	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著『いちょうの実』(『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』)挿絵1原画	1971 (昭和46) 年	水彩・厚紙	50.5×50.5

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-103	水彩	谷内六郎	宮沢賢治著「いちょうの実」(『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』)挿絵2原画	1971 (昭和46) 年	水彩・紙	27.8×41
12-104	水彩	谷内六郎	森繁久彌著『森繁自伝』表紙原画 [新装版]	1978 (昭和53) 年	水彩、墨、鉛筆・紙	23.2×15.8、 22.9×15.6
12-105	水彩	谷内六郎	大宅壮一著『青春日記』上下巻表紙原画	1979 (昭和54) 年	水彩、墨、鉛筆、 コラージュ・紙	18.3×13.3、 18.0×13.1
12-106	水彩	谷内六郎	石濱恒夫著『メルヘン動物園1～3』装幀原画	1977 (昭和52) 年	水彩・紙	19×28.5
12-107	素描	谷内六郎	石濱恒夫著『メルヘン動物園2～3』化粧扉挿絵	1977 (昭和52) 年	墨・紙	19.2×27.0
12-108	素描	谷内六郎	石濱恒夫著『メルヘン動物園1』目次挿絵	1977 (昭和52) 年	墨・紙	19.2×27.0
12-109	素描	谷内六郎	赤鼻のライオン (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第1話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	22.7×16.1
12-110	素描	谷内六郎	ウグイスの笛 (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第2話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	22.5×15.8
12-111	素描	谷内六郎	大酒のみのワニ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第3話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	22.5×16.0
12-112	素描	谷内六郎	ペンギン鳥の旅 (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第4話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	22.5×16.1
12-113	素描	谷内六郎	カラスと虹(石濱恒夫著『メルヘン動物園』第5話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	22.5×15.8
12-114	素描	谷内六郎	ひとりぼっちのヒョウ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第6話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	22.7×16
12-115	素描	谷内六郎	ワニの子マーフィ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第7話)	1977 (昭和52) 年	墨、鉛筆・紙	22.7×15.8
12-116	素描	谷内六郎	ポップさんの山高帽子 (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第8話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	22.3×16.1
12-117	素描	谷内六郎	さんびきのサル (石濱恒夫著『メルヘン動物園1』第9話)	1977 (昭和52) 年	墨、水彩・紙	22.7×16.0
12-118	素描	谷内六郎	石濱恒夫著『メルヘン動物園2』目次ページ 挿絵	1977 (昭和52) 年	墨・紙	19.8×18.6
12-119	素描	谷内六郎	チーターと星くず (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第10話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.8×13.2
12-120	素描	谷内六郎	黄金のエビ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第12話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.8×13.0
12-121	素描	谷内六郎	こびとの幸福 (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第13話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.5×13.2
12-122	素描	谷内六郎	鬼婆あクロクロ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第14話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.6×13.3
12-123	素描	谷内六郎	学者犬のベス (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第15話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.7×13
12-124	素描	谷内六郎	塚のなかのキリギリス (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第16話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.6×12.9
12-125	素描	谷内六郎	よわむしとおこりむし (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第18話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.8×13.0
12-126	素描	谷内六郎	夢みるバク (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第20話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.6×13.2
12-127	素描	谷内六郎	ペリカンの舞踏会 (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第21話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.7×13
12-128	素描	谷内六郎	栗鼠射ち (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第22話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.8×13.3
12-129	素描	谷内六郎	春を鳴くウソ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第23話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	18.8×13.2

No.	分類	作家名	作 品 名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-130	素描	谷内六郎	石濱恒夫著『メルヘン動物園3』目次挿絵	1977 (昭和52) 年	墨・紙	26.5×19.0
12-131	素描	谷内六郎	象のオベル (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第24話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.7×15.5
12-132	素描	谷内六郎	白クジャク夫人 (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第25話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.5×14.7
12-133	素描	谷内六郎	森のできごと (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第26話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.4×14.7
12-134	素描	谷内六郎	大ぼらふきのワニ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第27話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.5×12.8
12-135	素描	谷内六郎	ゆきサギ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第28話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.3×14.3
12-136	素描	谷内六郎	クラリオネット吹きとコオロギ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第29話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.3×14.7
12-137	素描	谷内六郎	子熊のコロ (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第30話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.4×15.0
12-138	素描	谷内六郎	シェパード太郎 (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第31話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.8×15.2
12-139	素描	谷内六郎	はつかねずみのスケート靴 (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第32話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.0×14.3
12-140	素描	谷内六郎	ダチョウの怒り (石濱恒夫著『メルヘン動物園』第33話)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.3×14.5
12-141	素描	谷内六郎	ボール紙の王様 (石濱恒夫著『メルヘン動物園』ふろく)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.2×14.5
12-142	素描	谷内六郎	石濱恒夫著『メルヘン動物園』関連原画	1977 (昭和52) 年	墨・紙	20.0×26.9
12-143	素描	谷内六郎	『メルヘン動物園』関連スケッチブック(原画2点)	1977 (昭和52) 年	墨・紙	21.4×30.3
12-144	水彩	谷内六郎	『びんのそら』表紙・挿絵6原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.8×40.6
12-145	水彩	谷内六郎	『びんのそら』扉絵原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	20.1×25.0
12-146	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵1原画	1972 (昭和47) 年	水彩・紙	26.3×41.3
12-147	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵2原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.2×40.5
12-148	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵3原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.0×40.6
12-149	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵4原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.1×40.6
12-150	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵5原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.6×40.7
12-151	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵7原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	26.0×40.5
12-152	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵8原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.0×40.5
12-153	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵9原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.6×40.5
12-154	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵10原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.0×40.5
12-155	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵11原画	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.5×40.5
12-156	水彩	谷内六郎	『びんのそら』挿絵12原画	1972 (昭和47) 年	墨、水彩・紙	10.3×26.7
12-157	水彩	谷内六郎	『びんのそら』関連原画	不詳	水彩・ボード	24.6×24.6
12-158	水彩	谷内六郎	『びんのそら』関連原画 (No.11)	1972 (昭和47) 年	水彩・ボード	25.3×40.5
12-159	水彩	谷内六郎	「あまだれ ぼとぼと」表紙・挿絵11原画	1970 (昭和45) 年	水彩・厚紙	24.5×25.0
12-160	水彩	谷内六郎	「あまだれ ぼとぼと」挿絵1・裏表紙原画/『ぎんのわっか』挿絵1原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	28.5×28.6
12-161	水彩	谷内六郎	「あまだれ ぼとぼと」挿絵2原画/『ぎんのわっか』挿絵2原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	20.0×24.8
12-162	水彩	谷内六郎	「あまだれ ぼとぼと」/『ぎんのわっか』挿絵2背景原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.2×28.5
12-163	水彩	谷内六郎	「あまだれ ぼとぼと」挿絵3原画/『ぎんのわっか』挿絵3原画	1970 (昭和45) 年	水彩・厚紙	20.6×24.7

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-164	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 挿絵3背景原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.6×28.4
12-165	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」挿絵4原画 / 『ぎん のわっか』挿絵4原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	20.5×24.7
12-166	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 挿絵4背景原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.4×28.6
12-167	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」挿絵5原画 / 『ぎん のわっか』挿絵5原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	20.2×25.1
12-168	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 挿絵5背景原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.4×28.4
12-169	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」挿絵6原画 / 『ぎん のわっか』表紙・挿絵6原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	20.7 ×52.2
12-170	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 挿絵6背景 (左) 原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.3×28.7
12-171	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 挿絵6背景 (右) 原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.3×28.3
12-172	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」挿絵7原画 / 『ぎん のわっか』挿絵7原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	20.5×25.4
12-173	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 挿絵7背景原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.4×28.4
12-174	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」挿絵8原画 / 『ぎん のわっか』挿絵8原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	20.4×25.2
12-175	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 挿絵8背景原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.3×28.5
12-176	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」挿絵9原画 / 『ぎん のわっか』挿絵9原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	20.5×24.8
12-177	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 挿絵9背景原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.3×28.6
12-178	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」挿絵10原画 / 『ぎん のわっか』挿絵10原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	20.3×25.1
12-179	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 挿絵10背景原画	1970 (昭和45) 年	水彩・ボード	28.3×28.4
12-180	素描	谷内六郎	『ぎんのわっか』表見返し原画	1970-72 (昭和45-47) 年	墨・紙	26.9×51.3
12-181	水彩	谷内六郎	『ぎんのわっか』挿絵11原画	1970-72 (昭和45-47) 年	水彩・ボード	28.3×28.3
12-182	素描	谷内六郎	『ぎんのわっか』裏見返し原画	1970-72 (昭和45-47) 年	墨・紙	26.5×50.9
12-183	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 関連原画	1970-72 (昭和45-47) 年	水彩・紙	19.9×50.9
12-184	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 関連原画	不詳	水彩・厚紙	20.7×25.4
12-185	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 関連原画	不詳	水彩・ボード	16.9×22.5
12-186	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 関連原画	1970 (昭和45) 年	水彩・紙	28.0×28.7
12-187	水彩	谷内六郎	「あまだれ ほとほと」 / 『ぎんのわっか』 関連原画	不詳	水彩・厚紙	20.2×24.7
12-188	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』函原画1	1975 (昭和50) 年	水彩・ボード (板に貼付)	43.0×30.3
12-189	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』函原画2	1975 (昭和50) 年	水彩・ボード (板に貼付)	42.0×30.0
12-190	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』表紙原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	26.5×18.0
12-191	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 見返し原画	1975 (昭和50) 年	水彩・紙	27.9×19.8

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-192	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 見返し原画	1975 (昭和50) 年	水彩・紙	27.8×20.8
12-193	その他	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』「週刊新 潮」表紙絵の四季 扉文字	1975 (昭和50) 年	墨・紙	—
12-194	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 春 (扉原画)	1975 (昭和50) 年	鉛筆、水彩・紙	12.0×14.2
12-195	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 夏 (扉原画)	1975 (昭和50) 年	鉛筆、水彩・紙	13.5×12.0
12-196	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 秋 (扉原画)	1975 (昭和50) 年	鉛筆、水彩・紙	14.0×11.5
12-197	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 冬 (扉原画)	1975 (昭和50) 年	鉛筆・紙	11.5×14.0
12-198	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』「初期の 傑作集」扉原画	1975 (昭和50) 年	鉛筆、水彩・紙	16.3×12.1
12-199	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」 鉛の兵隊	1975 (昭和50) 年	水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)	29.5×25.5
12-200	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」 帰り道	1975 (昭和50) 年	水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)	22.0×29.0
12-201	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」 インデアン	1975 (昭和50) 年	水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)	26.0×30.4
12-202	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」 早くお家へ帰ろう	1975 (昭和50) 年	水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)	25.7×30.5
12-203	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」 月夜の夢	1975 (昭和50) 年	水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)	22.0×28.9
12-204	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」 星空もラムネ	1975 (昭和50) 年	水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)	30.8×24.0
12-205	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』「わたし の絵の世界」扉原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	9.5×8.7、 10.5×8.7
12-206	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』「わたし の絵の世界」挿絵	1975 (昭和50) 年	墨・紙	9.4×10.8
12-207	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』「わたし の絵の世界」挿絵	1975 (昭和50) 年	墨・紙	8.6×9.4
12-208	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』「わたし の絵の世界」挿絵	1975 (昭和50) 年	墨・紙	9.0×8.7
12-209	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』「わたし の絵の世界」挿絵	1975 (昭和50) 年	墨・紙	9.7×10.0
12-210	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』「わたし の絵の世界」挿絵	1975 (昭和50) 年	墨紙	8.5×8.7
12-211	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』「わたし の絵の世界」挿絵	1975 (昭和50) 年	墨・紙	8.1×8.7
12-212	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 裏見返し原画	1975 (昭和50) 年	水彩・紙	28.7×20.3
12-213	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 裏見返し原画	1975 (昭和50) 年	水彩・紙	29.0×20.4
12-214	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 裏表紙原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	26.5×18.0
12-215	素描	谷内六郎	『限定版 遠い日の絵本 谷内六郎画集』 限定版 函原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	38.2×54
12-216	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 限定版 表紙原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	26.9×19.0
12-217	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 限定版 見返し原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	26.9×19.0

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-218	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』限定版 見返し原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	27.3×19.4
12-219	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』限定版 扉絵原画	1975 (昭和50) 年	鉛筆・紙	27.3×19.4
12-220	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』限定版 裏見返し原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	27.2×18.9
12-221	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』限定版 裏見返し原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	27.0×19.5
12-222	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成 「遠い星」 関連原画 オモチャの映画	1975 (昭和50) 年	水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)	28.8×19.3
12-223	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成 「遠い星」 関連原画 陽なた	1975 (昭和50) 年	水彩・印画紙	26.0×30.4
12-224	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成 「遠い星」 関連原画 雪の精が帰る	1975 (昭和50) 年	水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)	19.4×28.8
12-225	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成 「遠い星」 関連原画 アラビアンナイト	1975 (昭和50) 年	水彩・印画紙	25.8×30.3
12-226	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成 「遠い星」 関連原画	1975 (昭和50) 年	水彩・印画紙	29.0×19.6
12-227	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成 「遠い星」 関連原画	1975 (昭和50) 年	水彩・印画紙	25.7×30.4
12-228	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成 「遠い星」 関連原画 瓦は昔々の波なの	1975 (昭和50) 年	水彩・印画紙	25.7×30.2
12-229	水彩	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成「遠い星」 関連原画	1975 (昭和50) 年	水彩・フィルム (印画紙に貼付)	25.0×30.3
12-230	素描	谷内六郎	『限定版 遠い日の絵本 谷内六郎画集』 限定版 関連原画	1975 (昭和50) 年	墨・紙	38.1×54
12-231	資料	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』関連 文字原稿 (6種)	1975 (昭和50) 年	—	—
12-232	素描	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 関連原画 (オープンケース用上のせ絵)	1975 (昭和50) 年	墨・紙	31.6×23.9
12-233	素描	谷内六郎	『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ) セコンドの工場	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	21.8×16.7
12-234	素描	谷内六郎	『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ) セコンドの工場	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	23.2×17.1
12-235	素描	谷内六郎	『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ) ぴろよん秋のぷうとる汽車	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	18.0×25.2
12-236	素描	谷内六郎	『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ) 虹色の電球	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	18.0×22.2
12-237	素描	谷内六郎	『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ) 虹色の電球	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	25.2×17.7
12-238	素描	谷内六郎	『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ) 逃げたバッチ	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	18.0×23.2
12-239	素描	谷内六郎	『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ) 逃げたバッチ	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	17.3×21.4
12-240	素描	谷内六郎	(風の中のぬりえ) さびたトロッコ	1970 (昭和45) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	25.7×17.9
12-241	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 さびたトロッコ	1970 (昭和45) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	24.8×18.0
12-242	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 さびたトロッコ	1970 (昭和45) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	18.3×22.8
12-243	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 高圧線と北風	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	18.3×23.7
12-244	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 高圧線と北風	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	22.4×18.0

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-245	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 くんしょう	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	21.0×17.9
12-246	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 まひるの夢	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	17.4×16.4
12-247	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 まひるの夢	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	23.7×18.0
12-248	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 乾草のにおい	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	18.0×23.0
12-249	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」 乾草のにおい	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	13.0×19.3
12-250	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 タイヤのない自転車	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	21.4×16.2
12-251	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 修学旅行	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	16.5×21.0
12-252	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 ポンポン船	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	20.9×15.7
12-253	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 虹色のタングステン	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	22.1 ×15.6
12-254	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 病める孤児	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	16.4×12.6
12-255	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 回転木馬	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	22.7×16.6
12-256	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 白い坂道	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	17.7×22.0
12-257	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 外房総	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	17.0×22.3
12-258	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 ぬりえ	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	16.7×22.0
12-259	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 遠い流れ星	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	18.6×22.5
12-260	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 朝の風呂屋	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	24.5×18.7
12-261	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 朝の風呂屋	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	18.3×24.0
12-262	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 ブリキの巡査	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	18.5×25.3
12-263	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 革靴	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	23.5×17.5
12-264	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 海の見える寺	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	18.8×15.0
12-265	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 玩具の船	1972 (昭和47) 年	鉛筆、インク・紙	18.5 ×25.7
12-266	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 玩具の船	1972 (昭和47) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	18.5×23.7
12-267	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 森林鉄道	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	15.0×23.2
12-268	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」 森林鉄道	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	12.8×16.7
12-269	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」 森林鉄道	1974 (昭和49) 年	鉛筆・紙	26.5×19.1
12-270	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」 盆の中の風景	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	20.0×15.2
12-271	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 盆の中の風景	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	23.8×16.5
12-272	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 汽車道の広告	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	22.3×17.8

No.	分類	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-273	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 汽車道の広告	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	15.0×21.0
12-274	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 火の見える見える窓	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク、水彩・紙	26.2×18.0
12-275	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 乾燥箱の底	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	25.2×17.9
12-276	素描	谷内六郎	「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』 乾燥箱の底	1974 (昭和49) 年	鉛筆、インク・紙	17.9×25.7
12-277	資料	谷内六郎	『北風とぬりえ』関連資料 表紙デザイン案、目次3枚	不詳	—	—
12-278	水彩	谷内六郎	赤い風船(青山 山陽堂書店 初代モザイク)	1963 (昭和38) 年 *壁画完成年	水彩・厚紙	74×21.8
12-279	水彩	谷内六郎	堀越ビル(元・金竜堂書店) モザイク壁画 砂山	1969 (昭和43) 年 *壁画完成年	水彩・厚紙	73.4×22
12-280	水彩	谷内六郎	清明堂書店本店モザイク壁画原画 立山早春	1972 (昭和47) 年 *壁画完成年	水彩・紙	65×39.5
12-281	水彩	谷内六郎	くまざわ書店八王子店モザイク壁画原画 水面のライト	1975 (昭和50) 年 *壁画完成年	水彩・厚紙	92.0×19.0
12-282	水彩	谷内六郎	山陽堂書店モザイク壁画原画 傘の穴は一番星	1975 (昭和50) 年 *壁画完成年	水彩・厚紙	76.0×22.2
12-283	水彩	谷内六郎	西洋館の思い出(静岡谷島屋モザイク壁 画原画)	1978 (昭和53) 年 1月14日*壁画完成日	水彩・紙	50.0×64.0
12-284	水彩	谷内六郎	西洋館の思い出(静岡谷島屋モザイク壁 画) 関連原画	1978 (昭和53) 年 1月14日*壁画完成日	水彩・紙	35.0×34.2
12-285	水彩	谷内六郎	夕やけちゃんデザイン画	1964 (昭和39) 年頃	水彩・紙	26.2×30.7
12-286	水彩	谷内六郎	夕やけちゃんデザイン画	1964 (昭和39) 年	水彩・紙	26.0×31.3
12-287	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』5月10日増大号新聞広告原画	1965 (昭和40) 年	水彩、墨・紙	20.6×37.6
12-288	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』新聞広告原画(週刊新潮 発行部数 一〇六万七千部)	1961 (昭和36) 年頃	水彩、墨・紙	20.5×37.3
12-289	素描	谷内六郎	『週刊新潮』新聞広告原画(六郎日記より)	不詳	墨、インク・紙	25.6×35.3
12-290	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 湖	1963 (昭和38) 年	タイル	47.0×58.0
12-291	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 山彦	1963 (昭和38) 年	タイル	47.0×58.0
12-292	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 月の出	1963 (昭和38) 年	タイル	47.0×58.0
12-293	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 冬の序曲	1963 (昭和38) 年	タイル	47.0×58.0
12-294	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 北国幻想	1963 (昭和38) 年	タイル	47.0×58.0
12-295	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 早春賦	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-296	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 桃の里	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-297	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 花びら	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-298	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 燈台	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-299	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 屋外映画会	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-300	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 海の夕焼	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-301	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 まつり日	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-302	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 聖火の見える道	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-303	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 波止場	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-304	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 クリスマス	1964 (昭和39) 年	タイル	47.0×58.0
12-305	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 雪国の早春	1965 (昭和40) 年	タイル	47.0×58.0
12-306	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 凍る月	1965 (昭和40) 年	タイル	47.0×58.0
12-307	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 ひなの季節	1965 (昭和40) 年	タイル	47.0×58.0
12-308	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 虹	1965 (昭和40) 年	タイル	47.0×58.0

No.	分類	作家名	作 品 名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
12-309	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 汽車道	1965 (昭和40) 年	タイル	47.0×58.0
12-310	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 雨のメリーゴーラウンド	1965 (昭和40) 年	タイル	47.0×58.0
12-311	工芸	谷内六郎	『伊奈だより』表紙絵 七月の埠頭	1965 (昭和40) 年	タイル	47.0×58.0
12-312	水彩	谷内六郎	樋屋製菓CM原画 春編	1970年代後半	水彩・ボード	36.2×51.5
12-313	水彩	谷内六郎	樋屋製菓CM原画 秋冬編	1970年代後半	水彩・ボード	46.2×57.0
12-314	水彩	谷内六郎	樋屋製菓CM原画 夏編	1970年代後半	水彩・紙	36.3×51.5
12-315	素描	谷内六郎	肖像画(熊谷達子)	1955-56 (昭和30-31) 年頃	鉛筆・紙	36.0×26.0
12-316	素描	谷内六郎	人生之 重荷背 歩くもの他他	1960年代	墨、鉛筆・和紙	26.8×37.6
12-317	素描	谷内六郎	七転八起	1960年代	墨、鉛筆・紙	39.4×29.7
12-318	素描	谷内六郎	太郎 1才10 ヶ月の言葉	1967 (昭和42) 年	インク・紙	31.2×22.4
12-319	資料	谷内六郎	人形 (5体、まごの手)	1970年代	水彩、墨・紙	高11.6 ~ 31.2
12-320	資料	谷内六郎	ミチ童話スタジオ看板	1970年代後半	水彩、紙・板	22.7×60.0
12-321	資料	谷内六郎	おもちゃ (9枚)	1970年代	インク・厚紙	各14.0×各5.5
12-322	資料	谷内六郎	ポロライドカメラ (6点)	1970年代	インク、鉛筆・紙	13.5 ~ 13.8× 5.6 ~ 9.7
12-323	資料	谷内六郎	ゆかりバス	1970 (昭和45) 年頃	クレヨン、インク・厚紙	15.8×42.7
12-324	資料	谷内六郎	たろうとちいちゃん	1970年代	水彩、墨・紙	13.5×8.0
12-325	資料	絵: 谷内六郎	くつ入れ	1967 (昭和42) 年頃	インク・合皮	36.0×17.5
12-326	資料	谷内六郎	鴨居アトリエ表札	1974 (昭和49) 年頃	ペンキ・板	58.3×71.5

(3)寄託

No.	分類	作家名	作 品 名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
13	油彩	朝井閑右衛門	大王崎	1944 (昭和19) 年	油彩・画布	128.0×203.0
14	油彩	嶋田しづ	〔ブルーのシンホニー〕	1963 (昭和38) 年	油彩・画布	89.4×114.8
15	油彩	嶋田しづ	小さい各空間領域での同時性	1973 (昭和48) 年	油彩・画布	130.0×130.0
16	油彩	嶋田しづ	モリニーの館に通じる道	1975 (昭和50) 年	油彩・画布	80.0×80.0
17	油彩	嶋田しづ	〔題不詳〕	1975 (昭和50) 年	油彩・画布	80.0×80.0
18	油彩	嶋田しづ	〔太陽が一杯〕	1975 (昭和50) 年	油彩・画布	116.0×89.0
19-1	油彩	嶋田しづ	8月の華 砂漠の風	1986 (昭和61) 年	油彩・画布	162.1×130.3
19-2	油彩	嶋田しづ	8月の華 罌粟の昇天	1986 (昭和61) 年	油彩・画布	162.1×130.3
19-3	油彩	嶋田しづ	8月の華 水底の恋	1986 (昭和61) 年	油彩・画布	162.1×130.3
20	油彩	嶋田しづ	野分さ	1990 (平成2) 年	油彩・画布	130.3×89.4
21	油彩	嶋田しづ	紫緑の風 呼ぶ春B	1990 (平成2) 年	油彩・画布	130.3×97.0
22	油彩	川田祐子	揺光の花	2015 (平成27) 年	油彩・画布	162.0×130.3

<p>No.1-1</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 	<p>No.1-2</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 	<p>No.1-3</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 
<p>No.1-4</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 	<p>No.1-5</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 	<p>No.1-6</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 
<p>No.1-7</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 	<p>No.1-8</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 / 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシルバープリント</p> 	<p>No.1-9</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 
<p>No.1-10</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 / 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシルバープリント</p> 	<p>No.1-11</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 / 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシルバープリント</p> 	<p>No.1-12</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 
<p>No.1-13</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 / 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 	<p>No.1-14</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 	<p>No.1-15</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、 大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシル バープリント</p> 
<p>No.1-16</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 / 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシルバープリント</p> 	<p>No.1-17</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 / 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシルバープリント</p> 	<p>No.1-18</p> <p>森山大道 ヨコスカ 1965 (昭和40) 年 / 2024 (令和6) 年プリント 27.9×35.6 (紙寸、大四切) 購入 写真 デジタルゼラチンシルバープリント</p> 

No.1-19



森山大道
ヨコスカ

1965 (昭和40) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
購入 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.1-20



森山大道
ヨコスカ

1965 (昭和40) 年
2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
購入 写真
デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.2-1



森山大道

東京環状・国道16号戦 オンザロード
1969 (昭和44) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.2-2



森山大道

東京環状・国道16号戦 オンザロード
1969 (昭和44) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.3-1



森山大道

写真・1970
1970 (昭和45) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.3-2



森山大道

写真・1970
1970 (昭和45) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.3-3



森山大道

写真・1970
1970 (昭和45) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.3-4



森山大道

写真・1970
1970 (昭和45) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.3-5



森山大道

写真・1970
1970 (昭和45) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.3-6



森山大道

写真・1970
1970 (昭和45) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.3-7



森山大道

写真・1970
1970 (昭和45) 年 / 2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真 デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.4

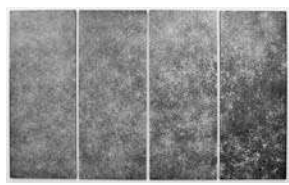


森山大道

ヨコスカ (もうひとつの国18)

1970 (昭和45) 年
2024 (令和6) 年プリント
27.9×35.6 (紙寸、大四切)
寄贈 写真
デジタルゼラチンシルバークラウドプリント

No.5



川田祐子
硯海

2006 (平成18) 年
4枚組 各227.0×91.0
寄贈 油彩
アクリル、ガッシュ・画布

No.6



島田章三

ガラス器と人
1992 (平成4) 年 130.0×162.0 (100F)
寄贈 油彩 油彩・画布

No.7



島田章三

ロビーにある二つの椅子
1992 (平成4) 年 162.0×194.0 (130F)
寄贈 油彩 油彩・画布

No.8



石川忠一

DUO (two angels)
1988 (昭和63) 年 162.0×194.0 (130F)
寄贈 油彩 油彩・画布

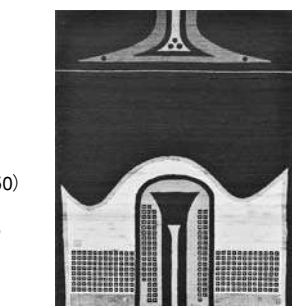
No.9



石川忠一

L' arc en Ciel
2008 (平成20) 年 181.8×227.3 (150F)
寄贈 油彩 油彩・画布

No.10



中村光哉

追憶
1975 (昭和50) 年頃
100.0×80.5
寄贈 工芸
ろう染め

※No.12の一部は、余白をトリミングし、絵柄部分のみ掲載している。

<p>No.11</p>  <p>中村光哉 雲とさざなみ 1975 (昭和50) 年 16.0×23.0 寄贈 工芸 ろう染め</p>	<p>No.12-1</p>  <p>谷内六郎 習作絵本 ハマベノコ 1941 (昭和16) 年 26×18.5 寄贈 水彩 水彩、インク、鉛筆・紙</p>	<p>No.12-2</p>  <p>谷内六郎 上総御宿 1944 (昭和19) 年 56.5×162 寄贈 水彩 水彩・紙</p>
<p>No.12-3</p>  <p>谷内六郎 海辺の町 1945 (昭和20) 年 13.3×18 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-4</p>  <p>谷内六郎 海の駅 1945 (昭和20) 年1月 18.2×25.4 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-5</p>  <p>谷内六郎 北蟹谷道 1945 (昭和20) 年9月 12×13.7 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>
<p>No.12-6</p>  <p>谷内六郎 椿 1946 (昭和21) 年 12.6×17.6 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-7</p>  <p>谷内六郎 終戦の秋 1945 (昭和20) 年 41.5×30.5 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-8</p>  <p>谷内六郎 劇業という言葉 1948 (昭和23) 年 19.8×17.6 寄贈 水彩 水彩、墨、紙・紙</p>
<p>No.12-9</p>  <p>谷内六郎 こわーい話 1948 (昭和23) 年 38.3×27.0 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-10</p>  <p>谷内六郎 雪の空 1949 (昭和24) 年 25.8×36.3 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-11</p>  <p>谷内六郎 泣きながら帰った道 1949 (昭和24) 年 24.9×26 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>
<p>No.12-12</p>  <p>谷内六郎 重恵の室 1950 (昭和25) 年 30.8×34 寄贈 素描 インク・紙</p>	<p>No.12-13</p>  <p>谷内六郎 電気飴 1950 (昭和25) 年 49.6×36 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-14</p>  <p>谷内六郎 院長先生の来た日 1950 (昭和25) 年 28×40.2 寄贈 素描 インク・紙</p>
<p>No.12-15</p>  <p>谷内六郎 人買いの話 1950 (昭和25) 年 53×37.6 寄贈 水彩 水彩、墨・厚紙</p>	<p>No.12-16</p>  <p>谷内六郎 九段坂 1950 (昭和25) 年 27.5×34.5 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-17</p>  <p>谷内六郎 キャンデーの箱の悲しみ 1950 (昭和25) 年 27.0×36.7 寄贈 素描 インク・紙</p>

No.12-18



谷内六郎
人さらいのあった晩
1950 (昭和25) 年 ※裏面1949 (昭和24) 年
27.0×38.5
寄贈 水彩 水彩、墨・紙

No.12-19



谷内六郎
フィルムの中の二挺拳銃
1950 (昭和25) 年 24.2×34.4
寄贈 水彩 水彩、インク・紙

No.12-20



谷内六郎
湯気
1950 (昭和25) 年
22.6×17.7
寄贈
水彩
水彩、墨・紙

No.12-21



谷内六郎
マッチ売りの少女 (10枚)
1950 (昭和25) 年 約31.0×約21.0
寄贈 水彩 インク、水彩、墨、クレヨン・紙

No.12-22



谷内六郎
変電所の池
1950 (昭和25) 年
26.7×19.0
寄贈
水彩
水彩、墨・紙

No.12-23



谷内六郎
楽書 病院日記
1950-51 (昭和25-26) 年 16×21
寄贈 水彩 インク、鉛筆、水彩、墨、クレヨン・紙

No.12-24



谷内六郎
雨後
1951 (昭和26) 年 27.0×38.0
寄贈 水彩 水彩、墨・紙

No.12-25



谷内六郎
病気の子
1951 (昭和26) 年 25.6×35
寄贈 素描 インク・紙

No.12-26



谷内六郎
幼い記憶
1951 (昭和26) 年
8月
33.7×24.9
寄贈
水彩
水彩、墨・紙

No.12-27



谷内六郎
熔接工場の青鬼
1951 (昭和26) 年
38.3×27.2
寄贈
水彩
水彩、墨・厚紙

No.12-28



谷内六郎
春の来る音
1951 (昭和26) 年 38.2×53.8
寄贈 水彩 水彩、墨・紙

No.12-29



谷内六郎
宿題
1951 (昭和26) 年
36.0×27.8
寄贈
水彩
水彩、墨・紙

No.12-30



谷内六郎
電車カバンを買った夜
1951 (昭和26) 年
※裏面1948 (昭和23) 年
34.1×24
寄贈
水彩
水彩、墨・紙

No.12-31



谷内六郎
風船屋さん
1951 (昭和26) 年
52.8×36.8
寄贈
水彩
水彩、墨・紙

No.12-32



谷内六郎
沼の中
1951 (昭和26) 年 21.1×30.8
寄贈 水彩 水彩、インク、墨・紙

No.12-33



谷内六郎
タイトルなし
1951 (昭和26) 年
12月
24.4×17.6
寄贈
水彩
インク、墨、水彩・紙

No.12-34



谷内六郎
レントゲン室に行く道
1952 (昭和27) 年
34.7×21.3
寄贈
水彩
水彩、墨、インク・紙

No.12-35



谷内六郎
色セロファンの中
1952 (昭和27) 年 23.0×32.5
寄贈 水彩 水彩、インク、墨・厚紙

<p>No.12-36</p>  <p>谷内六郎 ぬりえ 1953 (昭和28) 年 24.5×30.4 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-37</p>  <p>谷内六郎 タイトルなし 1953 (昭和28) 年 38.2×53.5 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-38</p>  <p>谷内六郎 砂町のタンポポ 1953 (昭和28) 年 ※裏面1947 (昭和22) 年 44.2×38.4 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>
<p>No.12-39</p>  <p>谷内六郎 鏡の中 1955 (昭和30) 年 24.4×22.3 寄贈 水彩 水彩、墨、インク・紙</p>	<p>No.12-40</p>  <p>谷内六郎 北風 1955 (昭和30) 年 40.6×19.5 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-41</p>  <p>谷内六郎 しんせきに行った日 1955 (昭和30) 年頃 26.5×35 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>
<p>No.12-42</p>  <p>谷内六郎 変な物語 (10枚) 不詳 39.3×27 寄贈 素描 インク、鉛筆・紙</p>	<p>No.12-43</p>  <p>谷内六郎 ろうけつ染ハンカチ 1949-57 (昭和24-32) 年頃 37.5×38.0 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>	<p>No.12-44</p>  <p>谷内六郎 ろうけつ染ハンカチ 1949-57 (昭和24-32) 年頃 38.0×38.0 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>
<p>No.12-45</p>  <p>谷内六郎 ろうけつ染帯 (壺と皿絵) 1949-57 (昭和24-32) 年頃 351×30.5 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>	<p>No.12-46</p>  <p>谷内六郎 ろうけつ染帯地 (壺と皿絵) 1949-57 (昭和24-32) 年頃 455×35.5 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>	<p>No.12-47</p>  <p>谷内六郎 ろうけつ染帯地 (壺と皿絵) 1949-57 (昭和24-32) 年頃 457×35.5 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>
<p>No.12-48</p>  <p>谷内六郎 ろうけつ染帯 1949-57 (昭和24-32) 年頃 336×29.5 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>	<p>No.12-49</p>  <p>谷内六郎 ろうけつ染風炉先屏風 1956 (昭和31) 年 51.5×154 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>	<p>No.12-50</p>  <p>谷内六郎 ろうけつ染風呂敷 1949-57 (昭和24-32) 年頃 90.0×90.0 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>
<p>No.12-51</p>  <p>らくだ工房 ろうけつ染ハンカチ 不詳 33.5×36.0 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>	<p>No.12-52</p>  <p>らくだ工房 ろうけつ染ハンカチ 不詳 38.5×37.0 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>	<p>No.12-53</p>  <p>らくだ工房 ろうけつ染風呂敷 不詳 86.0×85.0 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>

No.12-54

谷内六郎
中村武志著
『目白三平の日日』
表紙原画
1958(昭和33)年4月
18.0×11.5
寄贈
水彩
水彩・紙



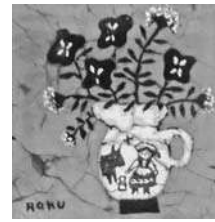
No.12-55

谷内六郎
獅子文六著『東京の悪口』函原画
1959(昭和34)年 21.6×31.5
寄贈 水彩 ろうけつ染、着色・布



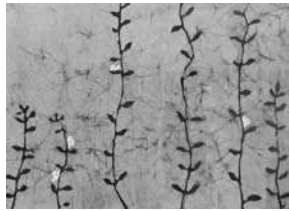
No.12-56

谷内六郎
獅子文六著『東京の悪口』扉原画
1959(昭和34)年 9.8×9.5
寄贈 水彩 ろうけつ染、着色・布



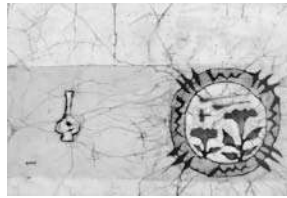
No.12-57

谷内六郎
獅子文六著『東京の悪口』表紙原画
1959(昭和34)年 22.5×32.5
寄贈 水彩 ろうけつ染、着色・布



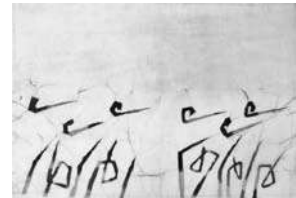
No.12-58

谷内六郎
源氏鶏太著『鬼課長』函原画
1960(昭和35)年 20.8×32.0
寄贈 水彩 ろうけつ染・布



No.12-59

谷内六郎
源氏鶏太著『鬼課長』表紙原画
1960(昭和35)年 22.0×31.0
寄贈 水彩 ろうけつ染・布



No.12-60

谷内六郎
源氏鶏太著
『鬼課長』
扉原画
1960(昭和35)年
22×15
寄贈
水彩
ろうけつ染・布



No.12-61

谷内六郎
壺井栄著『二十四の瞳』表紙原画
1965(昭和40)年 20.4×29.8
寄贈 水彩 水彩・ボードに紙



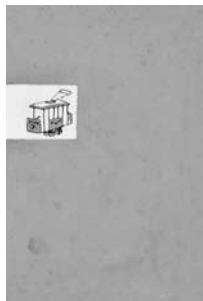
No.12-62

谷内六郎
北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』表紙原画
1967(昭和42)年 21.0×33.0
寄贈 水彩 水彩・ボードに紙



No.12-63

谷内六郎
北杜夫著
『マンボウおも
ちゃ箱』扉原画
1967(昭和42)年
19.4×13.2
寄贈
水彩
水彩・紙



No.12-64

谷内六郎
北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』
目次挿絵原画
1967(昭和42)年 9.4×13.6
寄贈 素描 インク、鉛筆・紙



No.12-65

谷内六郎
北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』
扉挿絵原画
1967(昭和42)年 9.7×13.0
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-66

谷内六郎
北杜夫著『マン
ボウおもちゃ箱』
1章扉挿絵原画
1967(昭和42)年
13.7×9.6
寄贈
素描
インク、鉛筆・紙



No.12-67

谷内六郎
北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』
2章扉挿絵原画
1967(昭和42)年 9.7×13.7
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



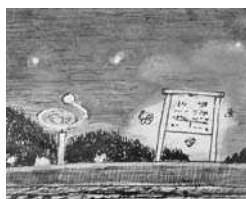
No.12-68

谷内六郎
北杜夫著『マン
ボウおもちゃ箱』
3章扉挿絵原画
1967(昭和42)年
13.3×9.6
寄贈
素描
インク、鉛筆・紙



No.12-69

谷内六郎
北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』
4章扉挿絵原画
1967(昭和42)年 9.6×12.7
寄贈 素描 インク、水彩・紙



No.12-70

谷内六郎
北杜夫著『マン
ボウおもちゃ箱』
5章扉挿絵原画
1967(昭和42)年
13.5×9.2
寄贈
素描
鉛筆、インク・紙

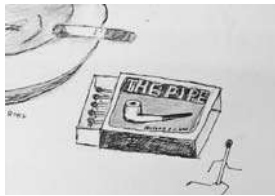


No.12-71

谷内六郎
北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』
6章扉挿絵原画
1967(昭和42)年 9.8×13.5
寄贈 素描 インク、鉛筆・紙



No.12-72



谷内六郎
北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』
関連原画
1967(昭和42)年 9.5×13.6
寄贈 素描 インク、鉛筆・紙

No.12-73



谷内六郎
北杜夫著
『マンボウおもちゃ箱』関連原画
1967(昭和42)年 13.4×9.8
寄贈 素描
インク、鉛筆・紙

No.12-74



谷内六郎
北杜夫著
『マンボウおもちゃ箱』関連原画
1967(昭和42)年 13.3×10.0
寄贈 素描
インク、鉛筆・紙

No.12-75



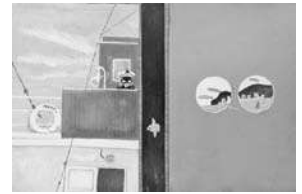
谷内六郎
北杜夫著
『マンボウおもちゃ箱』関連原画
1967(昭和42)年 13.7×9.5
寄贈 素描
インク、鉛筆・紙

No.12-76



谷内六郎
北杜夫著
『マンボウおもちゃ箱』(文庫版)表紙原画
1977(昭和52)年 31.3×21.7
寄贈 水彩
水彩、墨・ボード

No.12-77



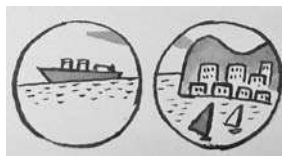
谷内六郎
北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』
表紙原画
1973(昭和48)年 28.3×44.0
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-78



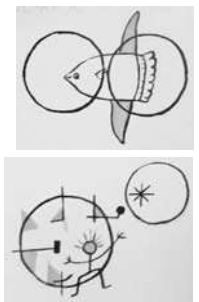
谷内六郎
北杜夫著
『マンボウぼうえんきょう』目次挿絵原画1,2
1973(昭和48)年 19.4×27.0
寄贈 素描
墨・紙

No.12-79



谷内六郎
北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』目次挿絵原画3・裏表紙原画
1973(昭和48)年 19.5×13.3
寄贈 素描 墨・紙

No.12-80



谷内六郎
北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』扉絵原画、小扉絵1原画
1973(昭和48)年 19.2×13.2、19.5×13.7
寄贈 素描 墨・紙

No.12-81



谷内六郎
北杜夫著『マンボウぼうえんきょう』小扉絵2,3原画
1973(昭和48)年 19.4×13.3、19.0×13.8
寄贈 素描
墨・紙

No.12-82



谷内六郎
北杜夫著『マンボウ周遊券』表紙原画
1976(昭和51)年 18.7×39.7
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-83



谷内六郎
北杜夫著『マンボウ周遊券』扉原画
1976(昭和51)年 22.7×15.7
寄贈 素描 墨・紙

No.12-84



谷内六郎
北杜夫著『マンボウ周遊券』(北杜夫著)目次挿絵原画
1976(昭和51)年 22.4×15.5
寄贈 素描 墨・紙

No.12-85



谷内六郎
北杜夫著『マンボウ周遊券』(北杜夫著)目次挿絵原画
1976(昭和51)年 4.7×29.8
寄贈 素描
素描 墨、鉛筆・紙

No.12-86



谷内六郎
北杜夫著『マンボウ周遊券』(北杜夫著)目次挿絵原画
1976(昭和51)年 22.4×30.1
寄贈 素描
素描 墨、鉛筆・紙

No.12-87



谷内六郎
北杜夫著『マンボウ周遊券』扉原画
1976(昭和51)年 22.6×15.5
寄贈 素描 墨・紙

No.12-88



谷内六郎
北杜夫著『マンボウ周遊券』扉原画
1976(昭和51)年 22.4×15.6
寄贈 素描 墨・紙

No.12-89



谷内六郎
北杜夫著『マンボウ周遊券』関連原画
1976(昭和51)年 26.8×19.2
寄贈 素描 墨、鉛筆・紙

No.12-90



谷内六郎
北杜夫著『マンボウ周遊券』関連原画
1976(昭和51)年 22.2×15.5
寄贈 素描 墨・紙

No.12-91



谷内六郎
甘糟幸子著『野草の料理』表紙原画
1977(昭和52)年
19.9×30.0
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-92



谷内六郎
甘糟幸子著『野草の料理』扉原画
1977(昭和52)年 21.0×29.8
寄贈 水彩 水彩、墨、鉛筆・紙

No.12-93



谷内六郎
宮沢賢治著「どんぐりと山ねこ」
『どんぐりと山ねこ』挿絵5原画
1968(昭和43)年
22.2×19.0
寄贈 水彩
水彩・厚紙

No.12-94



谷内六郎
宮沢賢治著
「ちゅうもの多い料理店」
『どんぐりと山ねこ』挿絵6原画
1968(昭和43)年
23.0×19.5 寄贈
水彩 水彩・厚紙

No.12-95



谷内六郎
宮沢賢治著「ほらくま学校を卒業した3人」
『どんぐりと山ねこ』挿絵3原画
1968(昭和43)年
40.3×40.3 寄贈
水彩 水彩・厚紙

No.12-96



谷内六郎
宮沢賢治著「ほらくま学校を卒業した3人」
『どんぐりと山ねこ』挿絵6原画
1968(昭和43)年
23.6×19.3 寄贈
水彩 水彩・厚紙

No.12-97



谷内六郎
宮沢賢治著『宮沢賢治童話集4 雪渡り
/いちょうの実』函原画
1971(昭和46)年 21.0×34.0
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-98



谷内六郎
宮沢賢治著『雪渡り』
『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』挿絵2原画
1971(昭和46)年 31.4×30.0
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-99



谷内六郎
宮沢賢治著『雪渡り』
『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』挿絵3原画
1971(昭和46)年 31.6×30.3
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-100



谷内六郎
宮沢賢治著『雪渡り』
『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』挿絵4原画
1971(昭和46)年
28.8×53.8
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-101



谷内六郎
宮沢賢治著『いちょうの実』
『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』扉原画
1971(昭和46)年 17.8×17.0
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-102



谷内六郎
宮沢賢治著『いちょうの実』
『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』挿絵1原画
1971(昭和46)年 50.5×50.5
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-103



谷内六郎
宮沢賢治著『いちょうの実』
『宮沢賢治童話集4 雪渡り/いちょうの実』挿絵2原画
1971(昭和46)年 27.8×41
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-104



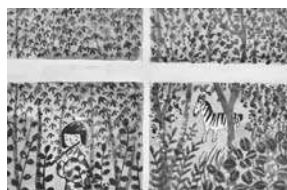
谷内六郎
森繁久彌著『森繁自伝』表紙原画[新装版]
1978(昭和53)年
23.2×15.8、22.9×15.6
寄贈 水彩 水彩、墨、鉛筆・紙

No.12-105



谷内六郎
大宅壮一著『青春日記』上下巻
表紙原画
1979(昭和54)年
18.3×13.3、18.0×13.1
寄贈 水彩 水彩、墨、鉛筆、コラージュ・紙

No.12-106



谷内六郎
石濱恒夫著『メルヘン動物園1～3』
装幀原画
1977(昭和52)年 19×28.5
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-107



谷内六郎
石濱恒夫著『メルヘン動物園2～3』
化粧扉挿絵
1977(昭和52)年 19.2×27.0
寄贈 素描 墨・紙

No.12-108



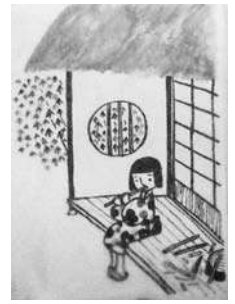
谷内六郎
石濱恒夫著『メルヘン動物園1』
目次挿絵
1977(昭和52)年 19.2×27.0
寄贈 素描 墨・紙

No.12-109



谷内六郎
赤鼻のライオン
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第1話)
1977(昭和52)年
22.7×16.1
寄贈 素描
墨・紙

No.12-110



谷内六郎
ウグイスの笛
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第2話)
1977(昭和52)年
22.5×15.8
寄贈 素描
墨・紙

No.12-111



谷内六郎
大酒のみのワニ
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第3話)
1977(昭和52)年
22.5×16.0
寄贈 素描
墨・紙

No.12-112



谷内六郎
ペンギン鳥の旅
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第4話)
1977(昭和52)年
22.5×16.1
寄贈 素描
墨・紙

No.12-113



谷内六郎
カラスと虹
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第5話)
1977(昭和52)年
22.5×15.8
寄贈 素描
墨・紙

No.12-114



谷内六郎
ひとりぼっちの
ヒョウ(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第6話)
1977(昭和52)年
22.7×16
寄贈 素描
墨・紙

No.12-115



谷内六郎
ワニの子マー
フィ(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第7話)
1977(昭和52)年
22.7×15.8
寄贈 素描
墨、鉛筆・紙

No.12-116



谷内六郎
ポップさんの山
高帽子(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第8話)
1977(昭和52)年
22.3×16.1
寄贈 素描
墨・紙

No.12-117



谷内六郎
さんびきのサル
(石濱恒夫著『メルヘン動物園1』
第9話)
1977(昭和52)年
22.7×16.0
寄贈 素描
墨、水彩・紙

No.12-118



谷内六郎
石濱恒夫著『メルヘン動物園2』
目次ページ 挿絵
1977(昭和52)年 19.8×18.6
寄贈 素描 墨・紙

No.12-119



谷内六郎
チーターと星く
ず(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第10話)
1977(昭和52)年
18.8×13.2
寄贈 素描
墨・紙

No.12-120



谷内六郎
黄金のエビ(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第12話)
1977(昭和52)年
18.8×13.0
寄贈 素描
墨・紙

No.12-121



谷内六郎
こびとの幸福
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第13話)
1977(昭和52)年
18.5×13.2
寄贈 素描
墨・紙

No.12-122



谷内六郎
鬼婆あクロクロ
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第14話)
1977(昭和52)年
18.6×13.3
寄贈 素描
墨・紙

No.12-123



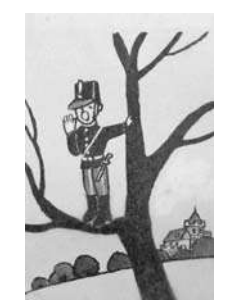
谷内六郎
学者犬のペス
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第15話)
1977(昭和52)年
18.7×13
寄贈 素描
墨・紙

No.12-124



谷内六郎
塚のなかのキリ
ギリス(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第16話)
1977(昭和52)年
18.6×12.9
寄贈 素描
墨・紙

No.12-125



谷内六郎
よわむしとおこ
りむし(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第18話)
1977(昭和52)年
18.8×13.0
寄贈 素描
墨・紙

No.12-126

谷内六郎
夢みるバク
(石濱恒夫著
『メルヘン動物園』第20話)
1977(昭和52)年
18.6×13.2
寄贈
素描 墨・紙



No.12-127

谷内六郎
ペリカンの舞踏
会(石濱恒夫著
『メルヘン動物園』第21話)
1977(昭和52)年
18.7×13
寄贈
素描 墨・紙



No.12-128

谷内六郎
栗鼠射ち(石濱
恒夫著『メルヘン動物園』第
22話)
1977(昭和52)年
18.8×13.3
寄贈
素描 墨・紙



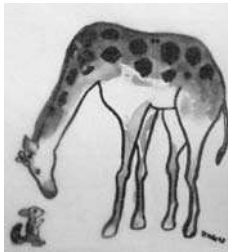
No.12-129

谷内六郎
春を鳴くウソ
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』
第23話)
1977(昭和52)年
18.8×13.2
寄贈
素描 墨・紙



No.12-130

谷内六郎
石濱恒夫著
『メルヘン動物園3』目次挿絵
1977(昭和52)年
26.5×19.0
寄贈
素描 墨・紙



No.12-131

谷内六郎
象のオペル
(石濱恒夫著『メルヘン動物園』第24話)
1977(昭和52)年
20.7×15.5 寄贈 素描 墨・紙



No.12-132

谷内六郎
白クジャク夫人
(石濱恒夫著
『メルヘン動物園』第25話)
1977(昭和52)年
20.5×14.7
寄贈
素描 墨・紙



No.12-133

谷内六郎
森のできごと
(石濱恒夫著
『メルヘン動物園』第26話)
1977(昭和52)年
20.4×14.7
寄贈
素描 墨・紙



No.12-134

谷内六郎
大ぼらふきのワ
ニ(石濱恒夫著
『メルヘン動物園』第27話)
1977(昭和52)年
20.5×12.8
寄贈
素描 墨・紙



No.12-135

谷内六郎
ゆきサギ(石濱
恒夫著『メルヘン動物園』第
28話)
1977(昭和52)年
20.3×14.3
寄贈
素描 墨・紙



No.12-136

谷内六郎
クラリオネット吹き
とコロログ(石濱
恒夫著『メルヘン動物園』第29話)
1977(昭和52)年
20.3×14.7
寄贈
素描 墨・紙



No.12-137

谷内六郎
子熊のコロ(石
濱恒夫著『メルヘン動物園』
第30話)
1977(昭和52)年
20.4×15.0
寄贈
素描 墨・紙



No.12-138

谷内六郎
シェパード太郎
(石濱恒夫著
『メルヘン動物園』第31話)
1977(昭和52)年
20.8×15.2
寄贈
素描 墨・紙



No.12-139

谷内六郎
はつかねずみのス
ケート靴(石濱恒
夫著『メルヘン動物園』第32話)
1977(昭和52)年
20.0×14.3
寄贈
素描 墨・紙



No.12-140

谷内六郎
ダチョウの怒り
(石濱恒夫著
『メルヘン動物園』第33話)
1977(昭和52)年
20.3×14.5
寄贈
素描 墨・紙



No.12-141

谷内六郎
ボール紙の王様
(石濱恒夫著
『メルヘン動物園』ふろく)
1977(昭和52)年
20.2×14.5
寄贈
素描 墨・紙



No.12-142

谷内六郎
石濱恒夫著『メルヘン動物園』
関連原画
1977(昭和52)年
20.0×26.9 寄贈 素描 墨・紙



No.12-143

谷内六郎
『メルヘン動物園』関連スケッチブック
(原画2点)
1977(昭和52)年
21.4×30.3
寄贈 素描 墨・紙



No.12-144



谷内六郎
『びんのそら』表紙・挿絵6原画
1972 (昭和47) 年
25.8×40.6
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-145



谷内六郎
『びんのそら』扉絵原画
1972 (昭和47) 年 20.1×25.0
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-146



谷内六郎
『びんのそら』挿絵1原画
1972 (昭和47) 年
26.3×41.3
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-147



谷内六郎
『びんのそら』挿絵2原画
1972 (昭和47) 年
25.2×40.5
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-148



谷内六郎
『びんのそら』挿絵3原画
1972 (昭和47) 年
25.0×40.6
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-149



谷内六郎
『びんのそら』挿絵4原画
1972 (昭和47) 年
25.1×40.6
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-150



谷内六郎
『びんのそら』挿絵5原画
1972 (昭和47) 年
25.6×40.7
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-151



谷内六郎
『びんのそら』挿絵7原画
1972 (昭和47) 年
26.0×40.5
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-152



谷内六郎
『びんのそら』挿絵8原画
1972 (昭和47) 年
25.0×40.5
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-153



谷内六郎
『びんのそら』挿絵9原画
1972 (昭和47) 年
25.6×40.5
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-154



谷内六郎
『びんのそら』挿絵10原画
1972 (昭和47) 年
25.0×40.5
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-155



谷内六郎
『びんのそら』挿絵11原画
1972 (昭和47) 年
25.5×40.5
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-156



谷内六郎
『びんのそら』挿絵12原画
1972 (昭和47) 年 10.3×26.7
寄贈 水彩 墨、水彩・紙

No.12-157



谷内六郎
『びんのそら』関連原画
不詳 24.6×24.6
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-158



谷内六郎
『びんのそら』関連原画 (No.11)
1972 (昭和47) 年
25.3×40.5
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-159



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」表紙・挿絵11原画
1970 (昭和45) 年 24.5×25.0
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-160



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵1・裏表紙
原画／『ぎんのわっか』挿絵1原画
1970 (昭和45) 年 28.5×28.6
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-161



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵2原画／
『ぎんのわっか』挿絵2原画
1970 (昭和45) 年 20.0×24.8
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-162



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵2背景原画
1970 (昭和45) 年 28.2×28.5
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-163



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵3原画／
『ぎんのわっか』挿絵3原画
1970 (昭和45) 年 20.6×24.7
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-164



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵3背景原画
1970 (昭和45) 年 28.6×28.4
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-165



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵4原画／
『ぎんのわっか』挿絵4原画
1970 (昭和45) 年 20.5×24.7
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-166



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵4背景原画
1970 (昭和45) 年 28.4×28.6
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-167



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵5原画／
『ぎんのわっか』挿絵5原画
1970 (昭和45) 年 20.2×25.1
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-168



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵5背景原画
1970 (昭和45) 年 28.4×28.4
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-169



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵6原画／
『ぎんのわっか』表紙・挿絵6原画
1970 (昭和45) 年 20.7×52.2
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-170



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵6背景(左)原画
1970 (昭和45) 年 28.3×28.7
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-171



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵6背景(右)原画
1970 (昭和45) 年 28.3×28.3
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-172



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵7原画／
『ぎんのわっか』挿絵7原画
1970 (昭和45) 年 20.5×25.4
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-173



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵7背景原画
1970 (昭和45) 年 28.4×28.4
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-174



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵8原画／
『ぎんのわっか』挿絵8原画
1970 (昭和45) 年 20.4×25.2
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-175



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵8背景原画
1970 (昭和45) 年 28.3×28.5
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-176



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵9原画／
『ぎんのわっか』挿絵9原画
1970 (昭和45) 年 20.5×24.8
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-177



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵9背景原画
1970 (昭和45) 年 28.3×28.6
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-178



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」挿絵10原画／
『ぎんのわっか』挿絵10原画
1970 (昭和45) 年 20.3×25.1
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-179



谷内六郎
「あまだれ ぼとぼと」／『ぎんのわっか』
挿絵10背景原画
1970 (昭和45) 年 28.3×28.4
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-180



谷内六郎
『ぎんのわっか』表見返し原画
1970-72 (昭和45-47) 年 26.9×51.3
寄贈 素描 墨・紙

No.12-181



谷内六郎
『ぎんのわっか』挿絵11原画
1970-72 (昭和45-47) 年 28.3×28.3
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-182



谷内六郎
『ぎんのわっか』裏見返し原画
1970-72 (昭和45-47) 年 26.5×50.9
寄贈 素描 墨・紙

No.12-183



谷内六郎
『あまだれ ぼとぼと』／『ぎんのわっか』
関連原画
1970-72 (昭和45-47) 年 19.9×50.9
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-184



谷内六郎
『あまだれ ぼとぼと』／『ぎんのわっか』
関連原画
不詳 20.7×25.4
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-185



谷内六郎
『あまだれ ぼとぼと』／『ぎんのわっか』
関連原画
不詳 16.9×22.5
寄贈 水彩 水彩・ボード

No.12-186



谷内六郎
『あまだれ ぼとぼと』／『ぎんのわっか』
関連原画
1970 (昭和45) 年 28.0×28.7
寄贈 水彩 水彩・紙

No.12-187



谷内六郎
『あまだれ ぼとぼと』／『ぎんのわっか』
関連原画
不詳 20.2×24.7
寄贈 水彩 水彩・厚紙

No.12-188



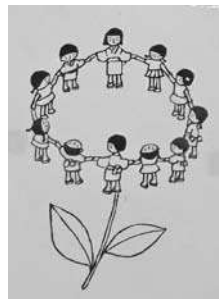
谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
函原画1
1975 (昭和50) 年
43.0×30.3
寄贈 水彩
水彩・ボード (板に
貼付)

No.12-189



谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
函原画2
1975 (昭和50) 年
42.0×30.0
寄贈 水彩
水彩・ボード (板に
貼付)

No.12-190



谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
表紙原画
1975 (昭和50) 年
26.5×18.0
寄贈 素描
墨・紙

No.12-191



谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
見返し原画
1975 (昭和50) 年
27.9×19.8
寄贈 水彩
水彩・紙

No.12-192



谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
見返し原画
1975 (昭和50) 年
27.8×20.8
寄贈 水彩
水彩・紙

No.12-193



谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
『週刊新潮』
表紙絵の四季
扉文字
1975 (昭和50) 年
寄贈 その他
墨・紙

No.12-194



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 春
(扉原画)
1975 (昭和50) 年 12.0×14.2
寄贈 水彩 鉛筆、水彩・紙

No.12-195



谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
夏 (扉原画)
1975 (昭和50) 年
13.5×12.0
寄贈 水彩
鉛筆、水彩・紙

No.12-196



谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
秋 (扉原画)
1975 (昭和50) 年
14.0×11.5
寄贈 水彩
鉛筆、水彩・紙

No.12-197



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 冬
(扉原画)
1975 (昭和50) 年 11.5×14.0
寄贈 素描 鉛筆・紙

No.12-198

谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
「初期の傑作
集」扉原画
1975 (昭和50) 年
16.3×12.1
寄贈 水彩
鉛筆、水彩・紙



No.12-199

谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
写真構成「遠い
星」鉛の兵隊
1975 (昭和50) 年
29.5×25.5
寄贈 水彩
水彩・透明フィルム
(印画紙に貼付)



No.12-200

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
写真構成「遠い星」帰り道
1975 (昭和50) 年 22.0×29.0 寄贈
水彩 水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)



No.12-201

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
写真構成「遠い星」インディアン
1975 (昭和50) 年 26.0×30.4 寄贈
水彩 水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)



No.12-202

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
写真構成「遠い星」早くお家へ帰ろう
1975 (昭和50) 年 25.7×30.5 寄贈
水彩 水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)



No.12-203

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
写真構成「遠い星」月夜の夢
1975 (昭和50) 年 22.0×28.9 寄贈
水彩 水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)



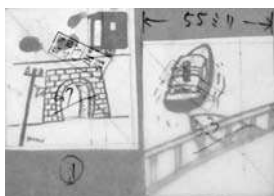
No.12-204

谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
写真構成「遠い
星」星空もラムネ
1975 (昭和50) 年
30.8×24.0
寄贈 水彩
水彩・透明フィルム
(印画紙に貼付)



No.12-205

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
「わたしの絵の世界」扉原画
1975 (昭和50) 年 9.5×8.7、10.5×8.7
寄贈 素描 墨・紙



No.12-206

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
「わたしの絵の世界」挿絵
1975 (昭和50) 年 9.4×10.8
寄贈 素描 墨・紙



No.12-207

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
「わたしの絵の世界」挿絵
1975 (昭和50) 年 8.6×9.4
寄贈 素描 墨・紙



No.12-208

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
「わたしの絵の世界」挿絵
1975 (昭和50) 年 9.0×8.7
寄贈 素描 墨・紙



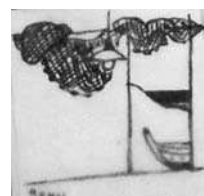
No.12-209

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
「わたしの絵の世界」挿絵
1975 (昭和50) 年 9.7×10.0
寄贈 素描 墨・紙



No.12-210

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
「わたしの絵の世界」挿絵
1975 (昭和50) 年 8.5×8.7
寄贈 素描 墨紙



No.12-211

谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
「わたしの絵の
世界」挿絵
1975 (昭和50) 年
8.1×8.7
寄贈 素描
墨・紙



No.12-212

谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
裏見返し原画
1975 (昭和50) 年
28.7×20.3
寄贈 水彩
水彩・紙



No.12-213

谷内六郎
『遠い日の絵本
谷内六郎画集』
裏見返し原画
1975 (昭和50) 年
29.0×20.4
寄贈 水彩
水彩・紙



No.12-214

谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
裏表紙原画
1975 (昭和50) 年 26.5×18.0
寄贈 素描 墨・紙



No.12-215

谷内六郎
『限定版 遠い日の絵本 谷内六郎画集』
限定版 函原画
1975 (昭和50) 年 38.2×54
寄贈 素描 墨・紙



No.12-216



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 限定版
表紙原画
1975 (昭和50) 年 26.9×19.0
寄贈 素描 墨・紙

No.12-217



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 限定版
見返し原画
1975 (昭和50) 年 26.9×19.0
寄贈 素描 墨・紙

No.12-218



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 限定版
見返し原画
1975 (昭和50) 年 27.3×19.4
寄贈 素描 墨・紙

No.12-219



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
限定版 扉絵
原画
1975 (昭和50) 年
27.3×19.4
寄贈 素描
鉛筆・紙

No.12-220



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 限定版
裏見返し原画
1975 (昭和50) 年 27.2×18.9
寄贈 素描 墨・紙

No.12-221



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 限定版
裏見返し原画
1975 (昭和50) 年 27.0×19.5
寄贈 素描 墨・紙

No.12-222



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成
「遠い星」 関連原画
オモチャの映画
1975 (昭和50) 年
28.8×19.3 寄贈
水彩 水彩・透明
フィルム (印画紙に
貼付)

No.12-223



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成
「遠い星」 関連原画 陽なた
1975 (昭和50) 年 26.0×30.4
寄贈 水彩 水彩・印画紙

No.12-224



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成
「遠い星」 関連原画 雪の精が帰る
1975 (昭和50) 年 19.4×28.8 寄贈
水彩 水彩・透明フィルム (印画紙に貼付)

No.12-225



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成
「遠い星」 関連原画 アラビアンナイト
1975 (昭和50) 年 25.8×30.3
寄贈 水彩 水彩・印画紙

No.12-226



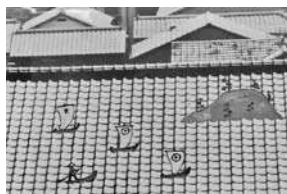
谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成
「遠い星」 関連原画
1975 (昭和50) 年
29.0×19.6
寄贈 水彩
水彩・印画紙

No.12-227



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
写真構成「遠い星」 関連原画
1975 (昭和50) 年 25.7×30.4
寄贈 水彩 水彩・印画紙

No.12-228



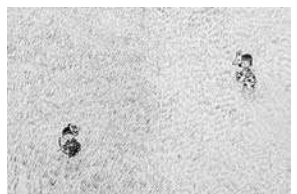
谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』 写真構成
「遠い星」 関連原画 瓦は昔々の波なの
1975 (昭和50) 年 25.7×30.2
寄贈 水彩 水彩・印画紙

No.12-229



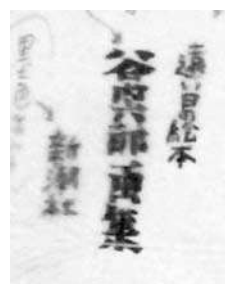
谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
写真構成「遠い星」 関連原画
1975 (昭和50) 年 25.0×30.3
寄贈 水彩 水彩・フィルム (印画紙に貼付)

No.12-230



谷内六郎
『限定版 遠い日の絵本 谷内六郎画集』
限定版 関連原画
1975 (昭和50) 年 38.1×54
寄贈 素描 墨・紙

No.12-231



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
関連 文字原
稿 (6種)
1975 (昭和50) 年
寄贈 資料 —

No.12-232



谷内六郎
『遠い日の絵本 谷内六郎画集』
関連原画 (オー
プンケース用上
のせ絵)
1975 (昭和50) 年
31.6×23.9 寄贈
素描 墨・紙

No.12-233



谷内六郎
『北風とぬりえ』
(風の中のぬり
え) セコンドの
工場
1974 (昭和49) 年
21.8×16.7
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙

No.12-234

谷内六郎
『北風とぬりえ』
(風の中のぬりえ)
セコンドの工場
1974 (昭和49) 年
23.2×17.1
寄贈 素描
鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-235

谷内六郎
『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ)
びろよん秋のぷうとる汽車
1974 (昭和49) 年 18.0×25.2
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-236

谷内六郎
『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ)
虹色の電球
1974 (昭和49) 年 18.0×22.2
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



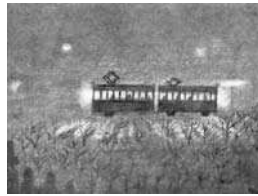
No.12-237

谷内六郎
『北風とぬりえ』
(風の中のぬりえ)
虹色の電球
1974 (昭和49) 年
25.2×17.7
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-238

谷内六郎
『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ)
逃げたバッチ
1974 (昭和49) 年 18.0×23.2
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-239

谷内六郎
『北風とぬりえ』(風の中のぬりえ)
逃げたバッチ
1974 (昭和49) 年 17.3×21.4
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-240

谷内六郎
『風の中のぬりえ』
(風の中のぬりえ) さびたトロッコ
1970 (昭和45) 年
25.7×17.9
寄贈 素描
鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-241

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
さびたトロッコ
1970 (昭和45) 年
24.8×18.0
寄贈 素描
鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-242

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
さびたトロッコ
1970 (昭和45) 年 18.3×22.8
寄贈 素描 鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-243

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
高圧線と北風
1974 (昭和49) 年 18.3×23.7
寄贈 素描 鉛筆、インク、水彩・紙



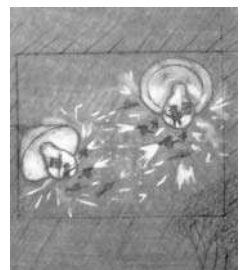
No.12-244

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
高圧線と北風
1974 (昭和49) 年
22.4×18.0
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-245

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
くんしょう
1974 (昭和49) 年
21.0×17.9
寄贈 素描
鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-246

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
まひるの夢
1974 (昭和49) 年
17.4×16.4
寄贈 素描
鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-247

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
まひるの夢
1974 (昭和49) 年
23.7×18.0
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-248

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
乾草のにおい
1974 (昭和49) 年 18.0×23.0
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-249

谷内六郎
『風の中のぬりえ』 乾草のにおい
1974 (昭和49) 年 13.0×19.3
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



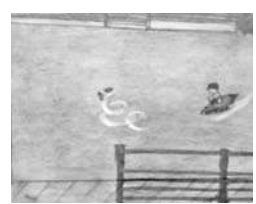
No.12-250

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
タイヤのない自転車
1974 (昭和49) 年
21.4×16.2
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-251

谷内六郎
『風の中のぬりえ』『北風とぬりえ』
修学旅行
1974 (昭和49) 年 16.5×21.0
寄贈 素描 鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-252

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
ポンポン船
1974 (昭和49) 年
20.9×15.7
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-253

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
虹色のタングステン
1974 (昭和49) 年
22.1×15.6
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-254

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
病める孤児
1974 (昭和49) 年 16.4×12.6
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-255

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
回転木馬
1974 (昭和49) 年
22.7×16.6
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-256

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
白い坂道
1974 (昭和49) 年 17.7×22.0
寄贈 素描 鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-257

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
外房総
1974 (昭和49) 年 17.0×22.3
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-258

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
ぬりえ
1974 (昭和49) 年 16.7×22.0
寄贈 素描 鉛筆、インク、水彩・紙



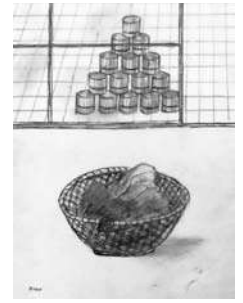
No.12-259

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
遠い流れ星
1974 (昭和49) 年 18.6×22.5
寄贈 素描 鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-260

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
朝の風呂屋
1974 (昭和49) 年
24.5×18.7
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-261

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
朝の風呂屋
1974 (昭和49) 年 18.3×24.0
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-262

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
ブリキの巡査
1974 (昭和49) 年 18.5×25.3
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-263

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
革靴
1974 (昭和49) 年
23.5×17.5
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-264

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
海の見える寺
1974 (昭和49) 年
18.8×15.0
寄贈 素描
鉛筆、インク、水彩・紙



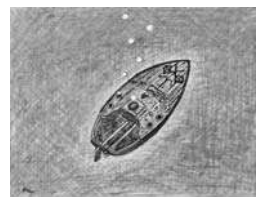
No.12-265

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
玩具の船
1972 (昭和47) 年 18.5×25.7
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-266

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
玩具の船
1972 (昭和47) 年 18.5×23.7
寄贈 素描 鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-267

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
森林鉄道
1974 (昭和49) 年 15.0×23.2
寄贈 素描 鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-268

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
森林鉄道
1974 (昭和49) 年 12.8×16.7
寄贈 素描 鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-269

谷内六郎
「風の中のぬりえ」『北風とぬりえ』
森林鉄道
1974 (昭和49) 年
26.5×19.1
寄贈
素描
鉛筆・紙



No.12-270

谷内六郎
「風の中のぬりえ」
盆の中の風景
1974 (昭和49) 年
20.0×15.2
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-271

谷内六郎
「風の中のぬりえ」
「北風とぬりえ」
盆の中の風景
1974 (昭和49) 年
23.8×16.5
寄贈 素描
鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-272

谷内六郎
「風の中のぬりえ」
「北風とぬりえ」
汽車道の広告
1974 (昭和49) 年
22.3×17.8
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-273

谷内六郎
「風の中のぬりえ」
「北風とぬりえ」
汽車道の広告
1974 (昭和49) 年 15.0×21.0
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-274

谷内六郎
「風の中のぬりえ」
「北風とぬりえ」
火の見の見える窓
1974 (昭和49) 年
26.2×18.0
寄贈 素描
鉛筆、インク、水彩・紙



No.12-275

谷内六郎
「風の中のぬりえ」
「北風とぬりえ」
乾燥箱の底
1974 (昭和49) 年
25.2×17.9
寄贈 素描
鉛筆、インク・紙



No.12-276

谷内六郎
「風の中のぬりえ」
「北風とぬりえ」
乾燥箱の底
1974 (昭和49) 年 17.9×25.7
寄贈 素描 鉛筆、インク・紙



No.12-277

谷内六郎
『北風とぬりえ』
関連資料
表紙デザイン案、目次3枚
不詳
寄贈 資料



No.12-278

谷内六郎
赤い風船 (青山山陽堂書店
初代モザイク)
1963 (昭和38) 年
*壁画完成年
74×21.8
寄贈 水彩
水彩・厚紙



No.12-279

谷内六郎
堀越ビル(元・金竜堂書店)
モザイク壁画
砂山
1969 (昭和43) 年
*壁画完成年
73.4×22
寄贈 水彩
水彩・厚紙



No.12-280

谷内六郎
清明堂書店本店
モザイク壁画原画
立山早春
1972 (昭和47) 年
*壁画完成年
65×39.5
寄贈 水彩
水彩・紙



No.12-281

谷内六郎
くまざわ書店八王子店モザイク
壁画原画
水面のライト
1975 (昭和50) 年
*壁画完成年
92.0×19.0
寄贈 水彩
水彩・厚紙



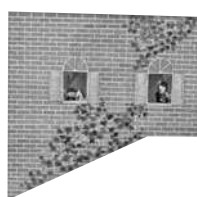
No.12-282

谷内六郎
山陽堂書店モザイク壁画原画
傘の穴は一番星
1975 (昭和50) 年
*壁画完成年
76.0×22.2
寄贈 水彩
水彩・厚紙



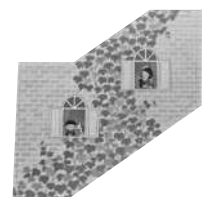
No.12-283

谷内六郎
西洋館の思い出
(静岡谷島屋モザイク壁画原画)
1978 (昭和53) 年1月14日*壁画完成日
50.0×64.0 寄贈 水彩 水彩・紙



No.12-284

谷内六郎
西洋館の思い出(静岡谷島屋モザイク壁画) 関連原画
1978 (昭和53) 年1月14日*壁画完成日
35.0×34.2 寄贈 水彩 水彩・紙



No.12-285

谷内六郎
タヤけちゃんデザイン画
1964 (昭和39) 年頃 26.2×30.7
寄贈 水彩 水彩・紙



No.12-286





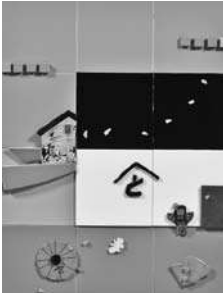
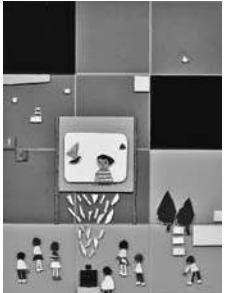


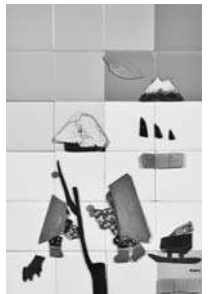
谷内六郎
タヤけちゃんデザイン画
1964 (昭和39) 年 26.0×31.3
寄贈 水彩 水彩・紙



No.12-287

谷内六郎
『週刊新潮』5月10日増大号新聞広告原画
1965 (昭和40) 年
20.6×37.6
寄贈 水彩
水彩・墨・紙



<p>No.12-288</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』新聞広告原画(週刊新潮 発行部数 一〇六万七千部) 1961(昭和36)年頃 20.5×37.3 寄贈 水彩 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-289</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』新聞広告原画 (六郎日記より) 不詳 25.6×35.3 寄贈 素描 墨、インク・紙</p>	<p>No.12-290</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 湖 1963(昭和38)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>
<p>No.12-291</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 山彦 1963(昭和38)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-292</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 月の出 1963(昭和38)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-293</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 冬の序曲 1963(昭和38)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>
<p>No.12-294</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 北国幻想 1963(昭和38)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-295</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 早春賦 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-296</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 桃の里 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>
<p>No.12-297</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 花びら 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-298</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 燈台 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-299</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 屋外映画会 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>
<p>No.12-300</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 海の夕焼 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-301</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 まつり日 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-302</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 聖火 の見える道 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>
<p>No.12-303</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 波止場 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-304</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 クリスマス 1964(昭和39)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>	<p>No.12-305</p>  <p>谷内六郎 『伊奈だより』 表紙絵 雪国の早春 1965(昭和40)年 47.0×58.0 寄贈 工芸 タイル</p>

No.12-306

谷内六郎
『伊奈だより』
表紙絵
凍る月
1965 (昭和40) 年
47.0×58.0
寄贈
工芸
タイル



No.12-307

谷内六郎
『伊奈だより』
表紙絵
ひなの季節
1965 (昭和40) 年
47.0×58.0
寄贈
工芸
タイル



No.12-308

谷内六郎
『伊奈だより』
表紙絵 虹
1965 (昭和40) 年
47.0×58.0
寄贈
工芸
タイル



No.12-309

谷内六郎
『伊奈だより』
表紙絵
汽車道
1965 (昭和40) 年
47.0×58.0
寄贈
工芸
タイル



No.12-310

谷内六郎
『伊奈だより』
表紙絵 雨の
メリーゴーラウ
ンド
1965 (昭和40) 年
47.0×58.0
寄贈
工芸
タイル



No.12-311

谷内六郎
『伊奈だより』
表紙絵
七月の埠頭
1965 (昭和40) 年
47.0×58.0
寄贈
工芸
タイル



No.12-312

谷内六郎
樋屋製菓CM原画 春編
1970年代後半 36.2×51.5
寄贈 水彩 水彩・ボード



No.12-313

谷内六郎
樋屋製菓CM原画 秋冬編
1970年代後半 46.2×57.0
寄贈 水彩 水彩・ボード



No.12-314

谷内六郎
樋屋製菓CM原画 夏編
1970年代後半 36.3×51.5
寄贈 水彩 水彩・紙



No.12-315

谷内六郎
肖像画
(熊谷達子)
1955-56 (昭和30-
31) 年頃
36.0×26.0
寄贈
素描
鉛筆・紙



No.12-316

谷内六郎
人生之 重荷背 歩くもの他他
1960年代 26.8×37.6
寄贈 素描 墨、鉛筆・和紙



No.12-317

谷内六郎
七転八起
1960年代
39.4×29.7
寄贈 素描
墨、鉛筆・紙



No.12-318

谷内六郎
太郎 1才10ヶ
月の言葉
1967 (昭和42) 年
31.2×22.4
寄贈 素描
インク・紙



No.12-319

谷内六郎
人形 (5体、
まごの手)
1970年代
高11.6 ~ 31.2
寄贈 資料
水彩、墨・紙



No.12-320

谷内六郎
ミチ童話スタジオ看板
1970年代後半 22.7×60.0
寄贈 資料 水彩、紙・板



No.12-321

谷内六郎
おもちゃ (9枚)
1970年代 各14.0×各5.5
寄贈 資料 インク・厚紙



No.12-322

谷内六郎
ポロライドカメラ (6点)
1970年代 13.5 ~ 13.8×5.6 ~ 9.7
寄贈 資料 インク、鉛筆・紙



No.12-323

谷内六郎
ゆかりバス
1970 (昭和45) 年頃 15.8×42.7
寄贈 資料 クレヨン、インク・厚紙



<p>No.12-324</p>  <p>谷内六郎 たろうと ちいちゃん 1970年代 13.5×8.0 寄贈 資料 水彩、墨・紙</p>	<p>No.12-325</p>  <p>絵：谷内六郎 くつ入れ 1967(昭和42)年頃 36.0×17.5 寄贈 資料 インク・合皮</p>	<p>No.12-326</p>  <p>谷内六郎 鴨居アトリエ表札 1974(昭和49)年頃 58.3×71.5 寄贈 資料 ペンキ・板</p>
<p>No.13</p>  <p>朝井閑右衛門 大王崎 1944(昭和19)年 128.0×203.0 寄託 油彩 油彩・画布</p>	<p>No.14</p>  <p>嶋田しづ 〔ブルーのシンホニー〕 1963(昭和38)年 89.4×114.8 寄託 油彩 油彩・画布</p>	<p>No.15</p>  <p>嶋田しづ 小さい各空間領域での同時性 1973(昭和48)年 130.0×130.0 寄託 油彩 油彩・画布</p>
<p>No.16</p>  <p>嶋田しづ モリニーの館に通じる道 1975(昭和50)年 80.0×80.0 寄託 油彩 油彩・画布</p>	<p>No.17</p>  <p>嶋田しづ 〔題不詳〕 1975(昭和50)年 80.0×80.0 寄託 油彩 油彩・画布</p>	<p>No.18</p>  <p>嶋田しづ 〔太陽が一杯〕 1975(昭和50)年 116.0×89.0 寄託 油彩 油彩・画布</p>
<p>No.19-1</p>  <p>嶋田しづ 8月の華 砂漠の風 1986(昭和61)年 162.1×130.3 寄託 油彩 油彩・画布</p>	<p>No.19-2</p>  <p>嶋田しづ 8月の華 嬰粟の昇天 1986(昭和61)年 162.1×130.3 寄託 油彩 油彩・画布</p>	<p>No.19-3</p>  <p>嶋田しづ 8月の華 水底の恋 1986(昭和61)年 162.1×130.3 寄託 油彩 油彩・画布</p>
<p>No.20</p>  <p>嶋田しづ 野分 1990(平成2)年 130.3×89.4 寄託 油彩 油彩・画布</p>	<p>No.21</p>  <p>嶋田しづ 紫緑の風 呼ぶ春B 1990(平成2)年 130.3×97.0 寄託 油彩 油彩・画布</p>	<p>No.22</p>  <p>川田祐子 揺光の花 2015(平成27)年 162.0×130.3 寄託 油彩 油彩・画布</p>

4-2 保存・修復

4-2-1 保存

作品保存の観点から、収蔵・展示施設内の環境調査を年2回実施した。

期 間	第 1 回	第 2 回
	5月8日～6月5日	7月10日～8月8日
①昆虫類調査	各展示室を除き、昆虫類の影響は少ない。閉架書庫でジンサンシバンムシを捕獲、ただし直ちに被害の出る恐れはない。各展示室、閉架書庫では不快害虫の侵入がある。	各展示室を除き、昆虫類の影響は少ない。各展示室、閉架書庫では不快害虫の侵入が第1回より増加。各展示室でチャタテムシの捕獲が増加。
②菌類調査	浮遊菌は収蔵庫では採取なし。前室、保管庫ではわずかにあり、温湿度管理の徹底、定期的な清掃が望まれる。	浮遊菌は各室で少数確認。温湿度管理の徹底、定期的な清掃が望まれる。
③気相調査	すべての測定箇所良好。	すべての測定箇所良好。

①昆虫類調査

		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫	荷解室
粘着式 トラップ (歩行性 昆虫)	設置箇所	18	12	3	4	3
	第1回	捕獲なし	チョウバエ 1	チョウバエ 1	クモ 1	チョウバエ 12 アリ 3 ゴミムシ 3 クモ 2 ムカデ 1
	第2回	チャタテムシ 1	アリ 1	チャタテムシ 1 アリ 1 チョウバエ 1	チャタテムシ 2	チャタテムシ 34 コバエ 2 ゲジゲジ 2 チョウバエ 1
	設置箇所	1F展示室 (1～3)	1Fギャラリー (1～3)	BF展示室 (4～8)	BFギャラリー (南)	BFギャラリー (西)
	設置箇所	8	4	6	4	3
	第1回	捕獲なし	クモ 3 その他 2	チャタテムシ 6 チョウバエ 4 アリ 3	チャタテムシ 7 クモ 2 その他 3	クモ 1
	第2回	クロゴキブリ 1 チャタテムシ 1	チャタテムシ 6 アリ 5 コバエ 4 クモ 2 その他 2	チャタテムシ 82 コバエ 4 チョウバエ 1	チャタテムシ 47 チョウバエ 4 その他 2	チャタテムシ 22 クモ 3 コバエ 1
	設置箇所	BFギャラリー (北)	谷内館展示室1	谷内館展示室2	閉架書庫1	閉架書庫2
	設置箇所	4	4	1	3	3
	第1回	チャタテムシ 18 チョウバエ 3 コバエ 4 アリ 6 その他 2	コバエ 3 その他 2	捕獲なし	ヤスデ 2 ジンサンシバンムシ 1 その他 3	チャタテムシ 7 コバエ 2
第2回	チャタテムシ 12 コバエ 9 クモ 4 アリ 4 その他 2	チャタテムシ 33 アリ 4 コバエ 3 その他 2	捕獲なし	チャタテムシ 4 コバエ 2 その他 3	チャタテムシ 13 クモ 1	
		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫	荷解室
フェロモン トラップ (タバコシバン ムシ・ジン サンシバンム シ・カツオブ シムシ類)	設置箇所	3種×2	3種×2	—	3種	—
	第1回	捕獲なし	捕獲なし	—	捕獲なし	—
	第2回	捕獲なし	捕獲なし	—	捕獲なし	—

②菌類調査 (空中浮遊菌)

		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫	荷解室
第1回	調査箇所	4	3	1	1	1
	一般真菌	0	0	3	5	50
	好稠性真菌	0	0	2	6	40
	第2回	一般真菌	1	1	3	1
好稠性真菌	2	2	3	1	5	

※数値は、一定時間空気中に曝露したサンプル (アガーストリップ) に付着した菌の数

※好稠性真菌：乾燥を好む種類の真菌 (カビ)

③気相調査

		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫
第1回	測定箇所	5	3	1	1
	有機酸	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	アンモニア	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
第2回	有機酸	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下
	アンモニア	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下

※基準濃度→有機酸 (酢酸) : 170ppb アンモニア : 30ppb

4-2-2 修復・額装

令和3年度に購入した矢崎千代二作品について、軽微な画面の故障を修復するとともに、オリジナルの木枠、額装を温存しながら作品保護のためのグレージング、裏板を補った。

朝井閑右衛門の油彩作品6点(No.2～7)について、固定状態や映り込みの改善を目的とした額の改修を行った。また、当年度の企画展のために一時的に額から外して展示した朝井による小品について、もとの額に再装丁するとともに固定状態の改善を行い(No.8～14)、一部については、もとの額の一部を再利用しながらより展示しやすい装丁に改めた(No.15～20)当年度に購入及び寄贈により受け入れた写真作品30点(No.21～50)について、ブックマット装を施したうえ、新規の写真用汎用額に装丁した。

No.	内 容	作家名	作 品 名	制作年	作品種別
1	修復	矢崎千代二	秋の園	1900年	油彩
2	額改修	朝井閑右衛門	電線風景1	1952年	油彩
3	額改修	朝井閑右衛門	電線風景	不詳	油彩
4	額改修	朝井閑右衛門	電線風景3	1950年	油彩
5	額改修	朝井閑右衛門	電線風景4	1951年頃	油彩
6	額改修	朝井閑右衛門	電線風景	1951年頃	油彩
7	額改修	朝井閑右衛門	電線風景6	1851年頃	油彩
8	額調整	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩
9	額調整	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	1969年頃	油彩
10	額調整	朝井閑右衛門	サーカス	1975年頃	油彩
11	額調整	朝井閑右衛門	ピエロ	不詳	油彩
12	額調整	朝井閑右衛門	サーカス	1973年	油彩
13	額調整	朝井閑右衛門	シラノ・ド・ベルジュラック	1951年頃	油彩
14	額調整	朝井閑右衛門	あそび	不詳	油彩
15	新規額装	朝井閑右衛門	パン	不詳	油彩
16	新規額装	朝井閑右衛門	パン	1963年頃	油彩
17	新規額装	朝井閑右衛門	パン	不詳	油彩
18	新規額装	朝井閑右衛門	パン	不詳	油彩
19	新規額装	朝井閑右衛門	牧神と天使	不詳	油彩
20	新規額装	朝井閑右衛門	パン	不詳	油彩
21	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
22	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
23	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
24	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
25	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
26	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
27	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
28	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
29	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
30	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
31	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
32	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
33	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
34	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
35	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
36	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
37	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
38	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
39	新規額装	森山大道	ヨコスカ	1965年/2024年プリント	写真
40	新規額装	森山大道	東京環状・国道16号戦 オンザロード	1969年/2024年プリント	写真
41	新規額装	森山大道	東京環状・国道16号戦 オンザロード	1969年/2024年プリント	写真
42	新規額装	森山大道	写真・1970	1970年/2024年プリント	写真
43	新規額装	森山大道	写真・1970	1970年/2024年プリント	写真
44	新規額装	森山大道	写真・1970	1970年/2024年プリント	写真
45	新規額装	森山大道	写真・1970	1970年/2024年プリント	写真
46	新規額装	森山大道	写真・1970	1970年/2024年プリント	写真
47	新規額装	森山大道	写真・1970	1970年/2024年プリント	写真
48	新規額装	森山大道	写真・1970	1970年/2024年プリント	写真
49	新規額装	森山大道	写真・1970	1970年/2024年プリント	写真
50	新規額装	森山大道	ヨコスカ(もうひとつの国18)	1970年/2024年プリント	写真

4-3 作品の貸出

所蔵作品について、下記のとおり5件、18点の貸出を行った。

No.	作 品	点数	展 覧 会	会場（会期）
1	麻生三郎《赤い空と人》《裸C》	2	麻生三郎展 三軒茶屋の頃 1948-1972	世田谷美術館（4月22日～6月18日）
2	山崎省三《川べり》岡鹿之助 《魚》清宮質文《ある空間(蝶)》 《泳ぐ人》《九月の海辺》《早 春の静物》《壇の中の魚》《キ リコ（カットグラス）》	8	「春陽会誕生100年 それぞ れの闘い 岸田劉生、中川 一政から岡鹿之助へ」展	東京ステーションギャラリー（9月16日～11月12日） 栃木県立美術館（2024年1月13日～3月3日） 長野県立美術館（3月16日～5月12日） 碧南市藤井達吉現代美術館（5月25日～7月7日）
3	児島善三郎《独立美術首途； 第2の誕生》《磯犬吠埼》	2	生誕130年 児島善三郎展	福岡県立美術館（10月7日～12月10日）
4	須田国太郎《河原》	1	生誕130年没後60年を越えて 「須田国太郎の芸術 —三つのまなざし—」展	碧南市藤井達吉現代美術館（10月28日～12月17日） 大分市美術館（2024年1月5日～2月18日） 西宮市大谷記念美術館（3月2日～4月21日） 三野瀬御本陣芸術文化館（5月1日～6月24日） 世田谷美術館（7月13日～9月8日）
5	矢崎千代二《瀬戸内海》《瀬 戸内海 夕映》《宮島》《海 岸風景》《別府・観海寺温泉》	5	瀬戸内海国立公園指定90周年 わたしのうみ ART/LIFE	愛媛県美術館（2024年2月7日～3月24日）

計 18 点

5 図書室

5-1 図書室

日本近代美術史研究者として知られる匠秀夫氏（1924～1994）から寄贈を受けた旧蔵書をもとに、美術専門の図書室として一般に公開している。美術に関する図書資料を収集、整理、保存、公開することを活動の目的とする。

5-1-1 所蔵資料数

図書室の所蔵資料数及び令和5年度の受入登録数は次の通りである。

■図書・カタログ登録冊数

	受入登録数（冊）		収蔵総数（冊）			
図書	259	和書	230	19,332	和書	18,688
		洋書	29		洋書	644
カタログ	472	和書	448	15,574	和書	15,153
		洋書	24		洋書	421
合計		731			34,906	

■逐次刊行物タイトル数

	受入登録数（誌）	収蔵総数（誌）
雑誌	5	547
年報・紀要類	1	258

■他所蔵点数

	受入登録数（点）	収蔵総数（点）
AV資料（DVD、CD）	1	115

5-1-2 利用統計

年 月	開室日数（日）	入室者数（人）	コピー機利用（枚）
2023年4月	29	935	9
5月	30	1,228	6
6月	29	802	29
7月	29	1,969	30
8月	30	3,324	17
9月	29	1,628	19
10月	30	1,314	57
11月	29	1,241	8
12月	23	820	59
2024年1月	25	1,180	7
2月	27	1,774	11
3月	30	4,193	54
令和5年度合計	340	20,408	306

6 記録

6-1 組織

6-1-1 外部委員会

■運営評価委員会

横須賀美術館の運営・事業計画および実績が適切なものであるかについて評価し、適正化を図るため、平成19年度より横須賀美術館評価委員会を設置していた。平成25年4月1日から、横須賀美術館運営評価委員会条例を施行し、名称を「横須賀美術館運営評価委員会」と改めた。

令和5年度の委員は次の通りである。

～令和5年9月30日

委員長	小林 照夫	関東学院大学名誉教授
副委員長	菊池 匡文	横須賀商工会議所専務理事
委員	柏木 智雄	横浜美術館副館長
委員	三浦 匡	横須賀市立根岸小学校校長
委員	川口 香世	市民委員
委員	鈴木 優子	市民委員

令和5年10月1日～令和7年9月30日

委員長	小林 照夫	関東学院大学名誉教授
副委員長	菊池 匡文	横須賀商工会議所専務理事
委員	柏木 智雄	横浜美術館副館長
委員	関口 洋輔	ラビスタ観音崎テラス支配人
委員	三浦 匡	横須賀市立根岸小学校校長
委員	倉田 睦	市民委員
委員	前波 美雪	市民委員

■美術品評価委員会

本市における美術品取得について、適正かつ円滑な選定評価を行うため、美術品選定評価委員会を設置していた。平成25年4月1日から、横須賀美術館美術品評価委員会条例を施行し、名称を「横須賀美術館美術品評価委員会」と改めた。

令和5年度の委員は次の通りである。

【委員名簿】

委員長	新畑 泰秀	(石橋財団アーティゾン美術館教育普及部長)
委員	小泉 淳一	(豊島区立熊谷守一美術館館長)
委員	長門 佐季	(神奈川県立近代美術館企画課長)
委員	光田 由里	(多摩美術大学教授)
委員	山梨絵美子	(千葉市美術館館長)

6-1-2 委員会の開催記録

■運営評価委員会

令和5年度第1回会議

日時：令和5年8月16日(水) 10:00～11:00

場所：横須賀美術館 ワークショップ室

令和5年度第2回会議

日時：令和5年11月8日(水) 10:00～11:15

場所：横須賀美術館 ワークショップ室

令和5年度第3回会議

日時：令和6年3月25日(木) 13:00～14:30

場所：横須賀美術館 ワークショップ室

■美術品評価委員会

令和5年度会議

日時：令和6年1月26日(木) 14:00～17:00

場所：横須賀美術館 ワークショップ室／収蔵庫

6-1-3 職員等

令和5年度のおもな美術館職員は次のとおりである。

【名簿】

館長	倉林 孝英	学芸員(課長補佐)	富田 康子	図書スタッフ	北峰 直美
美術館運営課長	岡本 剛彦	学芸員(主査)	工藤 香澄		嘉山久美子
総務係長(課長補佐)	下田 哲央	学芸員(主任)	日野原清水		立花 恵子
主任	八島 裕子		中村 貴絵		中原 直子
	安陪萌菜美		立浪佐和子		河本 静
	下田 優美		杳沢 耕介		
広報スタッフ	池田 早苗	学芸スタッフ	林田ゆみ子		
管理事務スタッフ	秋田 正司		栗林 陵		
	石井 敦子				

6-2 開館日数・観覧者数

令和5年度の美術館開館日数、観覧者数は次の通りである。

開館日数 342日

観覧者数 162,022人(うち有料105,561人、無料56,461人)

6-3 歳入・歳出

令和5年度の美術館に関わる歳入・歳出は次のとおりである。

6-3-1 歳入

美術館観覧料	117,080,740円
美術館駐車場使用料	15,519,400円
特別利用料	6,300円
美術品等取得基金収入	3,677円
美術館展覧会事業指定寄附	500,000円
美術品等取得基金事業指定寄附	15,507,029円
美術品等取得基金繰入金	3,300,000円
図録売払代等雑入	28,581,321円
(計)	180,498,467円

6-3-2 歳出

給与費	126,149,286円
美術館展覧会事業費	131,852,452円
美術館教育普及事業費	5,335,426円
美術品収集管理保管事業費	8,062,558円
美術館運営事業費	5,280,167円
美術館管理事業費	297,973,756円
美術品等取得基金積立金	15,510,706円
(計)	590,164,351円

7 資料

7-1 条例等

7-1-1 美術館条例

平成18年6月14日
条例第35号
改正 平成25年12月17日条例第76号
令和元年9月25日条例第11号
令和3年12月17日条例第74号

美術館条例をここに公布する。

美術館条例

(設置)

第1条 美術を通じたさまざまな交流の機会を提供し、市民の美術に対する理解と親しみを深め、もって文化の向上を図るため、本市に博物館法(昭和26年法律第285号)に基づく美術館を設置する。

(位置及び名称)

第2条 美術館の位置及び名称は、次のとおりとする。

位置 横須賀市鴨居4丁目1番地
名称 横須賀美術館

(休館日等)

第3条 美術館の休館日等は、次に掲げるとおりとする。

(1)美術館棟

ア 毎月の第1月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときを除く。)

イ 12月29日から翌年の1月3日までの日

(2)屋上広場及び駐車場 無休

2 市長は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に美術館棟の休館日を変更し、若しくは設け、又は屋上広場若しくは駐車場の休場日を設けることができる。

3 臨時に休館し、又は休場するときは、その都度美術館前にその旨を掲示するものとする。

(令3条例74・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び開場時間は、次に掲げるとおりとする。ただし、市長において特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(1)美術館棟

ア 1月から5月まで(4月29日から5月5日までの日を除く。)及び10月から12月まで 午前10時から午後6時まで

イ 6月から9月まで(土曜日を除く。) 午前10時から午後7時まで

ウ 6月から9月までの土曜日及び4月29日から5月5日までの日 午前10時から午後8時まで

(2)屋上広場 午前9時から午後9時30分まで

(3)駐車場 午前8時から午後10時まで

(令3条例74・一部改正)

(観覧料及び使用料)

第5条 展示室に展示する美術作品又は美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を観覧しようとする者は、観覧料を納付しなければならない。

2 駐車場を使用しようとする者は、使用料を納付しなければならない。

3 観覧料及び使用料の額は、別表のとおりとする。

4 前項の規定にかかわらず、市制施行記念日(その日が日曜日以外の日に当たるときは、その日に最も近い日曜日)又は国民の祝日に関する法律第2条に規定する文化の日に美術作品等を観覧する場合は、観覧料を無料とする。

5 観覧料は、市長が特別の理由があると認めるもののほか、前納しなければならない。

6 市長は、特別の理由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

(令3条例74・一部改正)

(特別利用許可)

第6条 美術館に収蔵されている美術作品等の営利を目的とした模写、模造若しくは撮影又は当該美術作品等の写真の原版若しくは電磁的記録の使用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、管理上必要があると認めるときは、特別利用の許可について条件を付することができる。

3 市長は、管理上支障があると認めるときは、特別利用の許可を取り消し、特別利用を制限し、又は特別利用の停止を命じなければならない。

(令3条例74・一部改正)

(特別利用料)

第7条 特別利用の許可を受けた者については、1点1回につき2,100円の特別利用料を徴収する。

2 特別利用料は、市長が特別の理由があると認めるもののほか、前納しなければならない。

3 市長は、特別の理由があると認めるときは、特別利用料を減免することができる。

(平25条例76・令元条例11・令3条例74・一部改正)

(観覧料等の還付)

第8条 既納の観覧料及び特別利用料は、還付しない。ただし、観覧又は特別利用をする者の責めによらない理由により観覧又は特別利用ができない場合は、その全部又は一部を還付することができる。

(行為の禁止)

第9条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

(1)物品の販売、寄付金の募集その他これらに類する行為(市長の許可を受けたときを除く。)

(2)その他市長において管理上支障があると認める行為

(令3条例74・一部改正)

(入館の禁止)

第10条 次に掲げる者は、入館することができない。

(1)他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる物品を携帯する者

(2)他人に迷惑を及ぼし、又は秩序を乱すおそれのある者

(3)その他市長において管理上支障があると認める者

(令3条例74・一部改正)

(その他の事項)

第11条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理について必要な事項は、市長が定める。

(令3条例74・一部改正)

附 則

この条例の施行期日は、規則で定める。

(平成19年4月25日規則第64号により平成19年4月28日から施行)

附 則(平成25年12月17日条例第76号)抄

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(令和元年9月25日条例第11号)抄

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。

附 則(令和3年12月17日条例第74号)抄

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

別表(第5条第3項関係)

(平25条例76・令元条例11・令3条例74・一部改正)

1 観覧料

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
常 設 展	15歳以下の者(高校生を除く。)	0円	
	高校生、大学生及び65歳以上の者	280円	220円
	一般	380円	300円
企 画 展	15歳以下の者(高校生を除く。)	0円	
	上記以外の者	その都度市長が定める額	

備考

1 企画展の観覧料には、常設展の観覧料を含むものとする。

2 次に掲げる者の観覧料は、無料とする。

(1)規則で定める障害者及びその者を介助する者(障害者1人につき1人を限度とする。)

(2)本市の区域内に住所を有する高校生

(3)本市の区域内に存する高校に在学する者

2 使用料

区 分	使 用 料	
普通自動車	1回1時間まで	320円
	1回1時間を超えた場合は、320円に1時間を超えた時間30分までごとに160円を加算する。ただし、1,600円を超えるときは、1,600円とする。	
自動二輪車及び原動機付自転車	1回につき	210円
上記以外の自動車	1回につき	1,570円

備考

1 普通自動車とは、道路交通法(昭和35年法律第105号)第3条に規定する普通自動車をいう。

2 自動二輪車とは、道路交通法第3条に規定する大型自動二輪車及び普通自動二輪車をいう。

3 原動機付自転車とは、道路交通法第2条第1項第10号に規定する原動機付自転車をいう。

7-1-2 美術館条例施行規則

令和4年4月1日
規則第25号

美術館条例施行規則を次のように定める。

美術館条例施行規則

(休館日、開館時間等の変更)

第1条 美術館条例(平成18年横須賀市条例第35号。以下「条例」という。)第3条第2項に規定する特に必要があると認めるとき及び条例第4条ただし書に規定する特別の理由があると認めるときは、次のとおりとする。

- (1)美術館の施設の維持管理に係る行為を行うとき。
- (2)美術館に展示する美術作品又は美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)の展示替えを行うとき。
- (3)その他市長が必要と認めるとき。

(観覧の手続)

第2条 市長は、条例第5条の規定による観覧料の手続を経た者に対して、観覧券を交付するものとする。

- 2 前項の規定により観覧券の交付を受けた者がその日に再入館する場合は、美術館の入口において前項の観覧券を提示するものとする。

(使用の手続)

第3条 市長は、駐車場を使用しようとする者が駐車場に入場する際に、駐車券を交付するものとする。

- 2 前項の駐車券の交付を受けた者は、駐車場を使用した後、駐車場を出場する際に当該駐車券に使用料を添えて、提出しなければならない。

(高校生)

第4条 条例別表第1項の表に規定する高校生とは、次項に規定する高校に在学する者をいう。

- 2 条例別表第1項の表備考に関する部分第2項第3号に規定する高校とは、次に掲げるものをいう。
 - (1)学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第1条に規定する高等学校
 - (2)法第1条に規定する中等教育学校の後期課程
 - (3)法第1条に規定する高等専門学校
 - (4)法第1条に規定する特別支援学校の高等部
 - (5)法第124条に規定する専修学校の高等課程
 - (6)法第134条に規定する各種学校のうち高等学校に相当するもの
 - (7)その他高等学校に相当する教育施設

(大学生)

第5条 条例別表第1項の表に規定する大学生とは、法第1条に規定する大学、法第124条に規定する専修学校(高等課程を除く。)、法第134条に規定する各種学校(高等学校に相当するものを除く。)又はこれらに相当する教育施設に在学する者をいう。

(障害者)

第6条 条例別表第1項の表備考に関する部分第2項第1号に規定する規則で定める障害者は、次に掲げる者とする。

- (1)身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者
- (2)療育手帳制度要綱(昭和48年厚生省発児第156号)の規定による療育手帳の交付を受けている者
- (3)精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者

(観覧料及び使用料の減免)

第7条 条例第5条第6項に規定する特別の理由があると認めるとき及び減免の割合又は額は、次のとおりとする。

- (1)学校等(次に掲げるものをいう。以下同じ。)の職員又はこれに準ずる者が当該学校等の教育活動として当該学校等に在学し、又は在籍する者を引率して観覧するとき 観覧料及び使用料の10割
 - ア 法第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、幼稚園又はこれらに相当する教育施設
 - イ 法第1条に規定する中等教育学校の前期課程
 - ウ 法第1条に規定する特別支援学校の小学部、中学部又は幼稚部
 - エ 本市の区域内に存する第4条第2項に規定する高校
 - オ 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する児童福祉施設
- (2)前条各号のいずれかに該当する者が駐車場を使用するとき 使用料の10割
- (3)観覧券の交付を受けた者(前条各号のいずれかに該当する者を除く。)が駐車場を使用するとき。
 - ア 普通自動車 320円
 - イ 自動二輪車及び原動機付自転車 使用料の10割
- (4)その他市長が特に必要と認めるとき 市長が定める割合

(観覧料及び使用料の減免手続)

第8条 条例第5条第6項の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(第1号様式)に減免の理由を証する書類を添えて市長に提出しなければならない。

- 2 条例第5条第6項の規定による使用料の減免を受けようとする者は、使用料減免申請書(第2号様式)に減免の理由を証する書類を添えて市長に提出しなければならない。
- 3 前項の規定にかかわらず、前条第2号の場合にあっては身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の提示をもって、前条第3号の場合にあっては当該駐車場を使用する日付けの観覧券の提示をもって前項の申請書の提出に

代えることができる。

- 4 市長は、第1項の規定による申請を受けた場合において、観覧料の減免を決定したときは、観覧料減免決定通知書（第3号様式）を交付するものとする。
- 5 市長は、第2項の規定による申請を受けた場合において、使用料の減免を決定したときは、使用料減免決定通知書（第4号様式）を交付するものとする。
- 6 市長は、第3項の提示を受けたときは、減免決定の旨を口頭により伝えるものとする。
- 7 前各項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、観覧料及び使用料の減免に係る手続の一部を省略することができる。

（特別利用の許可手続）

第9条 条例第6条第1項の規定により美術作品等の特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書（第5号様式）を市長に提出しなければならない。この場合において、特別利用をしようとする美術作品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面を添付しなければならない。

- 2 市長は、前項の規定による申請を受けた場合において、特別利用を許可したときは、特別利用許可決定通知書（第6号様式）を交付するものとする。

（特別利用料の減免）

第10条 条例第7条第3項に規定する特別の理由があると認めるとき及び減免割合は、次のとおりとする。

- (1)当該特別利用が美術館の広報に資するとき 10割
- (2)教育活動又は学術研究を目的として写真の原板又は電磁的記録を使用するとき 10割
- (3)その他市長が特に必要と認めるとき 市長が定める割合

（特別利用料の減免手続）

第11条 条例第7条第3項の規定による特別利用料の減免を受けようとする者は、特別利用料減免申請書（第7号様式）を市長に提出しなければならない。

- 2 市長は、前項の規定による申請を受けた場合において、特別利用料の減免を決定したときは、特別利用料減免決定通知書（第8号様式）を交付するものとする。

（観覧料及び特別利用料の還付手続）

第12条 条例第8条ただし書の規定による観覧料又は特別利用料の還付を受けようとする者は、観覧料については観覧券を、特別利用料については特別利用許可決定通知書を市長に提示しなければならない。

（行為の禁止）

第13条 条例第9条第2号に規定するその他市長において管理上支障があると認める行為は、次に掲げる行為とする。

- (1)所定の場所以外の場所における飲食、喫煙又は火気の使用
- (2)所定の場所以外の場所における動物（身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。）の類の携帯
- (3)美術作品等に触れる行為（市長の許可を受けたときを除く。）
- (4)美術作品等の近くでのインク等の使用（市長の許可を受けたときを除く。）
- (5)展示室内でのフラッシュによる撮影
- (6)その他管理上支障があると認められる行為

（寄託）

第14条 市長は、美術作品等の寄託を受けることができる。

- 2 市長に美術作品等を寄託しようとする者は、寄託申込書（第9号様式）に当該美術作品等の内容を説明する書類を添えて市長に提出しなければならない。
- 3 市長は、前項の申込みによる寄託を受けたときは、受託証（第10号様式）を交付するものとする。
- 4 寄託品の寄託の条件、内容及び期間は、市長が寄託をしようとする者と協議して定める。ただし、寄託の期間については、最長2年間とする。
- 5 寄託した者が寄託の期間を更新しようとするときは、寄託期間終了の15日前までに寄託申込書を市長に提出しなければならない。
- 6 第3項及び第4項の規定は、前項の規定による寄託の期間の更新について準用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

第1号様式（第8条第1項関係）

第2号様式（第8条第2項関係）

第3号様式（第8条第4項関係）

第4号様式（第8条第5項関係）

第5号様式（第9条第1項関係）

第6号様式（第9条第2項関係）

第7号様式（第11条第1項関係）

第8号様式（第11条第2項関係）

第9号様式（第14条第2項関係）

第10号様式（第14条第3項関係）

7-1-3 横須賀美術館運営評価委員会条例

平成25年3月29日

条例第26号

改正 令和3年12月17日条例第74号

横須賀美術館運営評価委員会条例をここに公布する。

横須賀美術館運営評価委員会条例

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第9条の規定に基づき、横須賀美術館の運営の状況の評価及びその評価の結果に基づく改善策に関し、市長の諮問に応ずるため、本市に地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定による附属機関として、横須賀美術館運営評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(令3条例74・一部改正)

(組織)

第2条 委員会は、委員7人以内をもって組織する。

2 委員は、市民、学識経験者、関係団体の代表者、学校教育関係者、社会教育関係者及びその他市長が必要と認める者のうちから市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(令3条例74・一部改正)

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(その他の事項)

第6条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱された委員の任期は、平成25年9月30日までとする。

附 則(令和3年12月17日条例第74号)抄

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

4 この条例の施行日の前日において前項の規定による改正前の横須賀美術館運営評価委員会条例第1条に規定する横須賀美術館運営評価委員会(以下「旧運営評価委員会」という。)の委員である者は、施行日に前項の規定による改正後の横須賀美術館運営評価委員会条例(以下「新運営評価委員会条例」という。)第2条第2項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。

5 前項の規定により委嘱されたものとみなされる横須賀美術館運営評価委員会の委員の任期は、新運営評価委員会条例第2条第3項の規定にかかわらず、施行日におけるその者の旧運営評価委員会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

7-1-4 横須賀美術館美術品評価委員会条例

平成25年3月29日

条例第27号

改正 令和3年12月17日条例第74号

横須賀美術館美術品評価委員会条例をここに公布する。

横須賀美術館美術品評価委員会条例

(設置)

第1条 横須賀美術館における美術品の取得において、当該美術品の評価に関し、市長の諮問に応ずるため、本市に地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定による附属機関として、横須賀美術館美術品評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(令3条例74・一部改正)

(組織)

第2条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者その他の美術品の評価に関し専門的知識を有する者のうちから市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(令3条例74・一部改正)

(臨時委員)

第3条 委員会に、特別の事項を調査させるため必要があるときは、臨時委員若干人を置くことができる。

2 臨時委員は、市長が委嘱する。

3 臨時委員の任期は、第1項に係る事案の調査期間とする。

(令3条例74・一部改正)

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(その他の事項)

第7条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱された委員の任期は、平成26年9月30日までとする。

附 則(令和3年12月17日条例第74号)抄

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

7 この条例の施行日の前日において前項の規定による改正前の横須賀美術館美術品評価委員会条例第1条に規定する横須賀美術館美術品評価委員会(以下「旧美術品評価委員会」という。)の委員である者は、施行日に前項の規定による改正後の横須賀美術館美術品評価委員会条例(以下「新美術品評価委員会条例」という。)第2条第2項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。

8 前項の規定により委嘱されたものとみなされる横須賀美術館美術品評価委員会の委員の任期は、新美術品評価委員会条例第2条第3項の規定にかかわらず、施行日におけるその者の旧美術品評価委員会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

8 紀要

8-1 横須賀美術館の谷内六郎コレクション：その成立と充実

立浪佐和子

当館において、谷内六郎(1921-81)は、朝井閑右衛門(1901-83)と並んでコレクションの核と言える作家である。谷内六郎コレクションの大部分は遺族による寄贈であるが、そのはじめは1998(平成10)年にさかのぼる。本稿では、この当初の収集を振り返った後、2023(令和5)年度に寄贈された作品資料の概要を記す。

1. 谷内六郎遺族による第一次寄贈から開館まで

谷内六郎遺族から初めて一括寄贈を受けたのは、当館が開館する以前の1998(平成10)年のことで、谷内の代表作である『週刊新潮』表紙絵原画1,316点を中心とするものであった。

谷内六郎は『週刊新潮』創刊号(1956年2月19日号)から表紙絵を手がけた。彼が1981年1月に死去した後も、生前に描きためていた原画が使用され続け、最終的に1981年12月24・31日合併号まで谷内の原画が表紙を飾った。その結果、谷内の原画が表紙となった号数は計1,336号にのぼる(ただし、通巻1,000号[1975年6月5日号]の『週刊新潮』表紙には創刊号の原画が再び使用されたため、原画の総数は1,335点となる)。原画は表紙に使われた後、長い間新潮社に保管されていたが、谷内の没後に現存するすべての原画が遺族に返却された。これらの原画が、1998年の一括寄贈の中心となるものである。

ここで、寄贈のきっかけとなった谷内六郎と横須賀のつながりについて記しておきたい。そもそも、谷内六郎が横須賀に足を運びはじめたのは、1960年代半ばのことで、喘息があった長女(1962-)の療養が目的であった¹。長女や長男(1966-)が小学生となってからは、子ども達の夏休みに三浦市三戸にある新潮社の保養所「新潮社ステラマリス」にたびたび滞在したが、三浦半島は岩場が多く、干潮時には足の裏が痛くて遊泳できないため、谷内は子ども達がより快適に過ごすことができる場所を探すようになった。そして、行き着いたのが、京浜急行電鉄が経営する観音崎ビーチホテルであった²。ホテルにはプールもあり、子ども達に好評であったため、谷内はこのホテルに何度も滞在するうちに、鴨居を含む横須賀市南東の観音崎エリアに慣れ親しみ、そして、1975年鴨居にアトリエを構えることとなった(写真1)³。



写真1 鴨居にあった谷内六郎のアトリエ。谷内は手描きの看板(No.12-326)を手にしている。

こうした縁があったため、横須賀市では1997年に、市の文化発信拠点であった文化会館において「谷内六郎展」(8月30日～9月15日)を開催している。会期中には8,415人が会場を訪れ、それまで本市が開催してきた美術展において最高入場者数であったという。多くの横須賀市民が谷内六郎の表紙絵原画を目にする貴重な機会だったと思われる。

この展覧会をきっかけに、遺族と横須賀市との間で寄贈について話されるようになり、既述したように、1998年に表紙原画1,316点を中心とする寄贈が完了した。

表1で示すとおり、当館の作品収集は1995年にはじまり、1996年に洋画家・朝井閑右衛門の作品が寄贈され、美術

表1 横須賀美術館の沿革

1995年	作品収集開始
1996年	朝井閑右衛門の作品、匠秀夫の蔵書が寄贈される 特色ある美術館基本構想策定委員会を設置
1998年	谷内六郎の作品が寄贈される
1999年	(仮称)横須賀市美術館基本構想を策定 美術品収集のための基金が設置され、本格的な収集を開始 (仮称)横須賀市美術館基本計画策定委員会を設置
2000年	(仮称)横須賀市美術館基本計画を策定 QBS(資質評価)方式により山本理顕を設計者に選考し、基本設計開始 美術館フォーラム開催
2003年	基本設計終了 実施設計開始 若林奮より《Valleys》が寄贈される
2004年	実施設計終了
2005年	着工
2006年	美術館条例公布 竣工
2007年	横須賀美術館開館(4月28日)

館基本構想策定委員会が同年に設置された。谷内六郎作品資料の寄贈はこれに続くもので、寄贈の翌年には横須賀市美術館基本構想が策定され、美術品収集のための基金が設置された。これにより本格的な収集が開始されるが、この原動力となったのは朝井閑右衛門および谷内六郎作品の一括寄贈である。そして、2007年の開館にあたり、谷内六郎の作品資料を恒常的に展示するために建設されたのが、横須賀美術館敷地内にある別館・谷内六郎館である。

2. 谷内六郎遺族による第二次寄贈

谷内六郎館では2007年の開館以降、『週刊新潮』表紙絵原画約1,300点の中からテーマごとに約50点の作品を選び、年4回展示替えを行いながら常設展示を行ってきた。そうした中で、2018年3月に谷内六郎遺族より、展示と調査研究の充実を目的とする一括寄贈の申し出を再びいただいた。そして、予備調査を経て同年9月より本格的に、東京都内にある自宅から当館への作品資料の移動を開始した。移動の対象は、12畳ほどの収蔵室と書庫に保管されていた原画や染色作品約1,200点、図書やポスターなどの印刷物約300点、アルバムやスクラップブックなど約80冊などで、内容は多岐にわたるものであった。

美術館への移動を完了した後、学芸員2名を中心に整理・データ化作業を進め、その成果として、2021(令和3)年に本館地下の所蔵品展示室を会場として「生誕100年 谷内六郎展」(9月25日～12月12日)が開催された⁴。この展覧会の段階では、遺族から託された作品資料はまだ個人蔵という状態であったが、展覧会を通して、その重要性や価値が内部で広く認識されたことが後押しとなり、2023年度から複数年にわたって正式に寄贈手続きを進めることとなった。本年報のp.66～76、79～97に掲載されている新収蔵作品は、この展覧会に出品したものが中心となっている。

次に、新収蔵作品326点を「初期水彩画、素描」「ろうけつ染作品」「書籍の装画、挿絵」「新潮社および企業の仕事」「家族の素描、子どものためのおもちゃ」と大きく分類し、代表的作品を取り上げながら制作年代や特徴を述べていく。

3. 2023年度新収蔵作品

3-1 初期水彩画、素描

新収蔵作品には、谷内六郎が『週刊新潮』表紙絵を手がける以前に描かれた絵本(漫画)や水彩画、素描が含まれる。最も古いものは《習作絵本 ハマベノコ》(No.12-1)である。絵本というより手製の漫画本と言うべきもので、表紙には谷内による「ハマベノコ 昭和十六年作 日米戦争のはじまるハワイ海戦の頃の習作絵本」との書き入れがある。本文は15頁あり、各頁に1枚の漫画原画が貼られている。各コマに通し番号が振られていて、全体で55コマとなっている。表見返し、本文6頁目、裏見返しにはコマ割りされていない原画が貼られているが、コマ漫画部分とは異なる筆致のため同時代に描かれたものであるか不明である。主人公は海辺に住む子ども達3人で、当初いじわるをする子もいたが、次第に打

ち解け、最後は協力して都会に住む老人に魚を届けるといった良心的児童漫画となっている。谷内が漫画家を目指していたことを示す、最も早い作例(漫画原稿)である。

また、《上総御宿》(1944年)(No.12-2)も特徴ある初期作品のうちの1点である。画面右には題字「上総御宿」と「浜辺の歌」1-2番の歌詞が貼られていて、画面左には「二千六百四年三月 谷内六郎筆」との書き入れがある。題字にあるとおり、千葉県南部に位置する御宿町を高台から見下ろす構図で描かれている。御宿は、身体の弱かった谷内が17歳の頃に療養をした地で、生涯くり返し描いた場所である。本作は、谷内と御宿のつながりを示す一例で、作家にしてはめずらしい大作である。

さらに、谷内の画業をたどる上で重要な作品群が含まれる。戦後、谷内は行李一杯にもなる水彩画を描き溜めていて、1954年暮れに、これらの作品を漫画・写真批評家の伊藤逸平(1912-92、漫画風刺雑誌『VAN』元編集長)に見せたとされる。続いて谷内は、伊藤の紹介を受けて『文藝春秋』編集部作品を持ち込み、そのうち10点が『文藝春秋 臨時増刊 漫画読本』(1955年3月)に掲載された(新収蔵作品のうち、No.12-11, 13, 15, 28, 30)。同年5月、この掲載作品は第1回「文藝春秋漫画賞」を受賞することとなり、12月には受賞を記念した『谷内六郎画集』(文藝春秋社、1955年)が刊行された。新収蔵作品には、記念すべき初画集に収録された作品も多く含まれている(No.12-7～13, 15～16, 18～20, 22, 27～28, 30, 32, 34, 38)。文藝春秋漫画賞の受賞は谷内の存在を一躍全国区へ押し上げ、結果として谷内は翌年創刊される『週刊新潮』の表紙を描く画家に抜擢されることとなった。行李に詰められていた初期水彩画は、谷内の画業の分岐点となる作品群である。

全ての作品に言及することは難しいが、《終戦の秋》(No.12-7)は敗戦の焼け跡とバラックが描かれ、太陽に見立てたラッキーストライクとMPのジープとの対比が鮮明な風刺的な作品である。このような、当時の社会を題材とした作品に加え、雲を綿菓子に見立てた《電気飴》(No.12-13)、風呂屋近くの側溝から出る白い湯気を汽車が吐く煙に見立てた《湯気》(No.12-20)のような、後に『週刊新潮』表紙絵で発揮されるほのぼのとした見立てが活かした作品も多く見られる。また、1950年から51年にかけて入院した国立熱海病院での体験を題材にした《重患の室》(No.12-12)、《レントゲン室に行く道》(No.12-34)など、死を間近に感じさせるほの暗い作品も、病床で過ごす時間が長かった谷内生来の感覚を表した特徴的な作品である。

3-2 ろうけつ染作品 一染色工房「らくだ工房」の活動

らくだ工房は、谷内の兄・四郎が中心となって営んでいた染色工房で、谷内自身や五郎と八郎に加え、知人友人らも参加していた(写真2)⁵。工房ではろうけつ染の技法を用いて、帯や風呂敷、のれん、ハンカチなどの染色小物、風炉先屏風などが作られた。



写真2

(左) らくだ工房に携わった人々。中央最後列の黒いシャツの男性が谷内。前列右から2番目が四郎、2列目右から2番目が八郎、同列右から4番目が五郎。
(中) 溶けた蠟に筆を浸す谷内。
(右) ハンカチを伸子で張り、乾燥させているところ。

立ち上げの年など工房の歴史は正確に分からないが、親族の証言によると、1950-51年頃には工房は原宿にあったとされ、1956年頃に立ち退きにより喜多見に移転したという。谷内は当初、上馬の自宅から工房に通っていたが、1956年に『週刊新潮』表紙絵が始まり(同年、砧に転居)、1958年に結婚して別家庭を持ったことで、らくだ工房に通う機会は自然と少なくなっていた⁶。

《ろうけつ染ハンカチ》(No.12-43,44)は、谷内が得意としていた女の子柄のろうけつ染で、らくだ工房の商品の中でも特に売れ行きが良かったとされる。《ろうけつ染帯》(No.12-45)および《ろうけつ染帯地》(No.12-46, 47)は壺と皿絵を題材としたものだが、谷内と四郎が登場し、ろうけつ染の技法や柄を教える「初心者向きの蠟染集」(『染色工芸』主婦の友社、1957年)で紹介されている柄であり、らくだ工房において定番柄であったことが伺える。また、同書には縞や丸などの模様の他、「埴輪模様」「古代文字」「古代模様(銅鐸に見る古代人の生活)」、グリム童話やアンデルセンの童話にちなんだ柄も紹介され、それらは《ろうけつ染風呂敷》(No.12-50)や《ろうけつ染ハンカチ》(No.12-51)、《ろうけつ染帯》(No.12-48)に見ることができる。なお、新収蔵となったろうけつ染のうち、「六郎」「ROKU」といった書き入れ(染め抜き)があるもの、谷内が専ら手がけたという女の子柄のものは作者を谷内六郎として受け入れ、それ以外の作品はらくだ工房製として区別した。

ろうけつ染の技法は、のちに『週刊新潮』表紙絵においても多用される、谷内作品を特徴づける制作方法の1つである。表紙絵のような一枚絵とは異なる、販売を前提として制作されたろうけつ染がどのようなものであったか伝える作品群である。

3-3 書籍の装画、挿絵

(1) 自著以外

谷内六郎は100冊以上の書籍の装画や挿絵を手がけており、その原画の一部が新収蔵作品に含まれている。自著以外の書籍では、作家本人と関わりがあり原画を担当した場合もあれば、出版社を通じた依頼までさまざまな経緯があったようである。ここでは、谷内が公私ともに長く交流していた、北杜夫(1927-2011)、石濱恒夫(1923-2004)との仕事

を取り上げる。北杜夫との関わりは、1965年から『オール読物』に連載された小説「怪盗ジバゴ」に始まる。『週刊新潮』表紙絵のファンであった北が、谷内に挿絵を依頼したことがきっかけであった⁷。谷内は怪盗ジバゴの他、小説『父っちゃんは大変人』の挿絵、エッセイ「マンボウシリーズ」の装画や挿絵を手がけた(No.12-62～90)。そのほか、谷内は北が自宅を領土としてつくったミニ独立国「マンボウ・マブセ共和国」の紙幣にイラストを提供するなど、個人的な依頼にも答えていた。

大阪在住の石濱恒夫との出会いは、大阪のラジオ番組「大阪ふあんたじあ 通天閣の夢」(1957年)であった。谷内はこの番組に原画を提供し、石濱は脚本を担当していた。『メルヘン動物園』は、動物が登場するショートストーリーをまとめた全3冊の作品集で、谷内は表紙絵や扉絵のほか、1話につき1点の挿絵を描いている(No.12-106～143)。公私ともに交流が続き、石濱と娘・紅子が無寄港大西洋横断を達成した際の手記『海よ、私はくじけない』(1979年、光文社)の表紙も谷内手がけているが、原画は現存していない。

宮沢賢治の著作に関連する原画も新収蔵作品に多く含まれ、谷内が感じていた宮沢賢治との精神的つながりを知るきっかけとなる。谷内がはじめて宮沢賢治の童話を読んだのは、図案社にいた18-19歳の頃であった⁸。賢治の童話について、谷内は「土のおいにする本能のようなもの」があると言い、それを「ボクはボクなりにリアルにたどって行きたい」と語っている。両者の作品は土地や生活に根差した人間の本能を表現していると感じていた谷内は、宮沢賢治の挿絵をたびたび手がけている。最初の関わりは、1967年に講談社が発行した英語版の宮沢賢治童話集(『WINDS AND WILDCAT PLACES』)であった。谷内は、「どんぐりと山猫」「注文の多い料理店」「よだかの星」「獅子踊りのはじまり」など収録された6編全ての挿絵を描いているが、この原画は現時点では確認できていない。

翌年刊行の『子ども図書館 どんぐりと山ねこ』(大日本図書、1968年)では、表題作に加えて、「ちゅうもんの多い料理店」「ほらくま学校を卒業した3人」の挿絵を描いている(どんぐりと山ねこ: No.12-93、ちゅうもんの多い料理店: No.12-94、ほらくま学校を卒業した3人: No.12-95～96)。1971年刊行の『宮沢賢治童話集4』(中央公論社)では、「雪渡り」

「いちょうの実」の挿絵を描き下ろしている(雪渡り: No.12-97~100、いちょうの実: No.12-101~103)。なお、「雪渡り」については、『太陽』(1976年5月[14巻5号]、平凡社)のために改めて描いた挿絵一式も存在している⁹。いずれの書籍についても、挿絵を担当することになった経緯は判然としないが、谷内にとって、宮沢賢治への敬意をもって取り組んだ思い入れのある仕事であったと想像できる。

(2) 自著

画集や自伝の小説、絵本など、自著の装画や挿絵も新収蔵作品に含まれる。絵本『あまだれぼとぼと』は、至光社が毎月発行する絵本シリーズ「こどものせかい」において1970年に発表された。翌年には『ぎんのわっか』と名を変え、1冊の絵本として同社から刊行された(No.12-159~187)。周囲の子ども達が持っている鉄のわっかを羨んでいた女の子の元に、赤い魚がやって来て水の波紋を示す。その波紋が、空も飛ぶことができる不思議なわっかになるという、谷内らしい大胆な空想が元になった物語である。絵本『びんのそら』も、「こどものせかい」で1972年に発表されたお話で、翌年同タイトルで至光社から刊行された(No.12-144~158)。青い夜空と星がサイダーの瓶と泡に見立てられ、サイダー瓶を追う子どもの目線を通して夜空の繊細な変化が神秘的に描かれる。

『北風とぬりえ』は、谷内が自身の幼少期をもとに書いた自伝的小説と言える内容で、鉛筆やペンによるモノクロの繊細な挿絵が添えられている(No.12-233~277)。「文藝春秋 漫画読本」(1970年9月号)や『漫画集団漫画集』(1972年)、『新潟日報』(1974年)で一部が発表され、2001年に全編が書籍として刊行された。谷内は、主人公の「虫郎」を通して「どんな子どもにも内に秘められた可能性、燃えるエネルギーがあること、また不思議な感覚性で大人を見ていること」を語りかけたかったという¹⁰。

『遠い日の絵本』(1975年)には、初期作品と『週刊新潮』表紙絵に加えて、写真構成「遠い星」が収録されており、多くの原画が残されている(No.12-189~232)。写真構成は、写真の上に透明なシートをかけ、そこに谷内が絵を描き加えたものが原画となっている。写真に写った現実と、谷内が描いた空想が混ざり合う珍しい作例で、この画集以外で同制作方法をとった作品は見られない。

なお、上記のとおり書籍に関する多くの原画が新収蔵作

品となったが、同時に書籍(刊行物)そのものも遺族からの寄贈を受け、128冊を図書として受け入れた。これにより、原画と合わせて書籍を展示することが可能となった。

3-4 新潮社および企業の仕事

谷内六郎の原画は、『週刊新潮』あるいは新潮社のさまざまな宣伝媒体に利用された。『週刊新潮』新聞広告の原画(No.12-287~289)、新潮社のマスコット人形として制作されたソフトビニール製の「タやけちゃん」原画(No.12-285~286)、書店壁面に設置されたモザイク壁画の原画(No.12-278~284)が残されている。

高さ約36cmの人形「タやけちゃん」が作られたのは1964年のことで、新収蔵作品となった原画2点のうち1種(No.12-286)が採用された。300個が作られ、100円で販売されたという記録が残っている(写真3)¹¹。同時期に約10cmの人形「こやけちゃん」が配布用として10万個作られたというが、この原画は現存していない。



写真3
「タやけちゃん」人形

書店の壁面に設置されたモザイク壁画は、新潮社が新しい屋外広告を模索する中で思いついたもので、書店が新しくビルを建てる際に設置された。多くは『週刊新潮』表紙絵を元にした絵柄で、谷内は壁面の大きさや形に合わせて原画を描き下ろしている。一番初めに作られたモザイク壁画は、山陽堂書店(東京都港区・表参道)の《赤い風船》(1963年、原画No.12-278)であった。このモザイク壁画は道路拡張のため山陽堂書店が減築した際に取り壊され、現在は《傘の穴は一番星》(1975年、原画No.12-282)となっている。他に、書店の外壁に設置されたモザイクとして、元・金竜堂書店の《砂山》(東京都北区・赤羽、1969年、原画No.12-279)、くまざわ書店八王子店の《水面のライト》(東京都八王子市・旭町、1975年、原画No.12-281)が現存している¹²。その他、静岡には《西洋館の思い出》(1978年、原画No.12-283~284)、富山には《立山早春》(1972年、原画No.12-280)が残されており、現在もお書店の後継店舗内で見ることができる。



写真4 各地に残るモザイク壁画
左から、《傘の穴は一番星》、《砂山》、《水面のライト》、《西洋館の思い出》、《立山早春》。

新潮社に限らず、他の企業の広報誌にも谷内の作品が登場する。1963年から2年間、谷内は伊奈製陶が発行する月刊PR誌『伊奈だより』の表紙絵を手がけた¹³。原画の所在は長く不明であったが、1992年に窯のある広場・資料館（愛知県常滑市）で発見された。24点のうち破損していた2点を除き、22点が遺族に返還された（No.12-290～311）。原画には、伊奈製陶から送られてきた磁器タイルやそのサンプルが材料として使われている¹⁴。海や空、地面など面積の広い部分は、未加工のタイルをモザイク状に組み合わせて作られている。その上に、割ったタイルや切り抜いた厚紙で造形した子どもや建物、樹木などが貼られている。また、《月の出》（No.12-292）に顕著であるが、「FFタイル」と呼ばれる半硬質ビニールタイルも使用されている。遺族によると、谷内が手ずからタイルを割り、慣れないながらも熱心に材料と向き合い、制作を進める姿を覚えているという。絵具ではなく、タイルを主な素材とした原画は『伊奈だより』の他に例がない。

《樋屋製薬CM原画》は、谷内がテレビコマーシャルの分野でも活躍したことを示している（No.12-312～314）。樋屋製薬によると、1970年代後半にこの3枚の原画を用いて春・夏・秋冬編の3本のCMが作られ、関西で放映された。原画にはトレーシングペーパーなどのカバーが掛けられていて、谷内によって各モチーフにズームアップする順番、コマ撮りによって動かしたいモチーフの指示、入れて欲しい効果音などが書き込まれており、谷内が演出に積極的に関わっていたことがわかる（写真5）。



写真5 原画に掛けられたカバーの書き入れ例

3-4 家族の素描、子どものためのおもちゃ

谷内の妻・達子は、劇作家の飯沢匡（1909-94）や童画家の土方重巳（1915-86）らが制作したトッパンの人形絵本シリーズのうち、『まっとうりの少女』（1956年）『七ひきのこやぎ』（1957年）『へんぜるとぐれーてる』（1957年）に登場する人形を手がけた人形作家であった。1958年、谷内は達子と結婚して新たな家庭を築き、その後、40歳の時に長女が、その4年後に長男が誕生した。達子は結婚後も制作が続けたが、しばらくすると人形制作から身を引き、マネージャー的存在となって谷内を公私両面から支えた。子どもを主人公とする作品を描く谷内にとって、子ども達はインスピレーションを与えてくれる存在であり、時には作品を見せて感想を求めたり、取材旅行に連れていくこともあった。このように谷内にとって家族の存在は大きく、家族を描いた素描、子ども達のためのおもちゃなどが残されている（No.12-315～325）。

4. おわりに

今後、当館では複数年をかけて、本稿で言及したような谷内六郎の幅広い活躍を裏付ける作品資料を受け入れていくこととなる。谷内六郎遺族からお預かりしている作品資料の中には、原画はもちろん、原画を使って制作された印刷物や広報宣伝グッズ、ノベルティなどが多く含まれている。コマースなど商業分野における仕事については、制作元に断片的にしか記録が残っていない場合や、あるいは依頼した会社そのものが既に存在しない場合もあり、制作時期や目的を明確にすることが困難なものもある。しかし、谷内六郎を知る上では欠かせない調査研究であり、丁寧に事実を確認してゆくことは今後の課題であると言える。また、文筆にも優れていた谷内が残した文字原稿、写真、スクラップ帖も同定していかなければならない。

なお、本稿では遺族による一括寄贈のみ紹介し、親族や生前谷内六郎と交流のあった個人、そうした方から作品を受け継いだ世代からの寄贈について割愛したが、これらの寄贈も谷内六郎の活動を知る上で貴重な情報を含んでいる。遺族による一括寄贈であれ、個人による寄贈であれ、谷内六郎に関する作品資料が年々充実してゆくと、常設の展示場所があることの意義に気づかされる。現在は、作品資料の受け入れに集中する時期であるが、いずれ寄贈目録を公開するなどして多くの方に利用してもらえるよう整備し、寄贈者の善意に応えるべく、谷内六郎を次世代に伝えてゆく必要性を感じている。

¹ 谷内六郎が横須賀市に通うようになった経緯は、遺族からのヒアリング、平川嗣朗「出会い、たから」（『かみふうせんニュース vol.1』横須賀美術館、2008年）を参照した。

² 観音崎ビーチホテルは1966年7月19日竣工（のち「観音崎ビーチホテル」と改称）。1985年7月に建て替えられて「観音崎京急ホテル」となった。同ホテルは2022年9月に営業を終え、翌年8月から他社が経営する「ラビスタ観音崎テラス」として営業を再開した。

³ 居住は東京都世田谷区だったため、横須賀市鴨居のアトリエには子ども達の学校が長期休みの時などに滞在した。アトリエは、現在は残っていない。

⁴ 本館地階にて本展を開催中、谷内六郎館は休館し（9月20日～12月17日）、屋根および建具の改修を実施した。

⁵ 兄弟たちにろうけつ染を教えたのは、長兄の一郎とされる。一郎自身はらくだ工房には参加せず、自宅で革の小物を染めていた。また、二郎は発明家、三郎はその助手をつとめていたため工房に参加していない。なお、註6、7の内容は、谷内八郎氏、谷内六郎ご遺族、谷内四郎ご遺族にご教示いただいた。

⁶ らくだ工房自体は1967年頃に解散し、その後、四郎は自宅を拠点として個人で染色を続けた。

⁷ 北杜夫「とっておきの話」（『THE SHINCHO-MOOK 愛・郷愁・抒情の画家 谷内六郎の世界』新潮社、1981年7月）

⁸ 谷内六郎と宮沢賢治の童話との出会いは、「はくと童話」（研究社書籍編集部編『わたしのなかの童話』研究社、1971年）「おそろしい天才」（日本児童文学者協会編『すばる児童文学研究 宮沢賢治童話の世界』すばる書房、1977年）、「少年の日の栄養剤—『宮沢賢治童話集』」（PHP研究所編・発行『PHP青春の本（4） 若き日の思索』1972年）などに詳しい。

⁹ 12枚の原画は、第二次寄贈以前に当館所蔵となっている。

¹⁰ 谷内六郎「執筆者のことば」（『新潟日報』1974年10月14日号）

¹¹ 「『週刊新潮』から飛び出た「こやけちゃん」秘話」（『週刊新潮』2006年2月23日号）

¹² くまざわ書店によると、モザイク壁画《水面のライト》は老朽化の問題から、現在は同柄のシートで覆われている。

¹³ 『伊奈だより』は当時、東和広告の企画・編集でつくられており、谷内六郎のタイル絵を表紙に使うという企画案も東和広告から提案され、伊奈製陶がこれを採用して実現したとされる。なお、註14、15について、INAXライブミュージアムの後藤泰男氏、立花嘉乃両氏にご教示いただいた。

¹⁴ 床材の「FFタイル」の他、ガラスや岩を割ったような表面が特徴的な「イワキモザイク（テッセラタイプ）」、「セラミックテッセラ」、外装に適した「デヤータイル」「TCタイル」、内装用に適した「半磁器タイル」「ホームタイル」、内外装ともに使用可能な「カラコンモザイク」「ポリコンモザイク」が原画に使用された。外装用は厚く存在感があり、内装用は薄くて加工しやすいなどの特徴がある。

横須賀美術館年報 令和5年度版

編集：横須賀美術館（日野原清水、林田ゆみ子）

発行者：横須賀美術館

〒239-0813 横須賀市鴨居4-1 電話 046-845-1211

印刷：文明堂印刷株式会社

発行：令和6年12月25日

横須賀
美術館

YOKOSUKA
MUSEUM OF ART